

TU Library

Tsukuba Urban Transportation Center

2023年度レポート

50

令和6年3月発行
Published in March 2024
by Tsukuba Urban Transportation Center

一般財団法人 つくば都市交通センター

はじめに

当財団は、昭和63年6月に設立された当初から調査研究等の成果をTUTCライブラリーとして発刊して参りましたが、当レポートで第50号の発刊に至りました。節目となる発刊に当たり、今回は2つの企画を実施することとしました。

一つ目は、これまでの50号の経過を振り返り総括する企画と併せ、成果をより広範に共有可能になるよう電子データで提供する事に取り組むことです。まず、本誌面において、50号までの歩みを年表形式で整理し、筑波研究学園都市の街の歩みとライブラリーで取り上げてきたテーマの変遷を振り返る形で整理することと併せ、これまでのライブラリーに関わっていただいた有識者の代表として筑波大学の谷口教授にインタビューを行い、50号に至る経過へのご感想や今後への期待についてお話を伺うこととしました。また、これと並行して、発刊済みの過去のライブラリーについて、一括して電子データ(PDF)の形で当財団のHP上において公開することに取り組みました。

二つ目は、当号から、複数のテーマをレポートで取り上げるアニュアルレポート形式に編集方式を改めることです。これまでは、ワンレポート・ワンテーマ形式で発行してきましたが、複数のテーマが平行して進行する場合にも、よりタイムリーに成果を公開できるような形式に移行することとし、表紙のデザインも一新したライブラリーに模様替えしました。

当号では、50号の歩みを振り返る企画と併せ、第48号以降継続して実施している「つくばセンター地区における都市活動実態調査」についての経過報告、音楽を通じた地域形成に係る実践的調査として行ってきた「音の宝箱・つくば」についての成果報告、の3点を内容として取り上げています。

当財団も創設から34年が経過しライブラリーも50号という節目の数に至りましたが、当財団の業務の拠点であり調査研究の対象ともなっている筑波研究学園都市についても、街として歩み始めてから約半世紀が経過しました。我が国の高度成長期の時代背景の中から生み出され、高度な研究機能と高等教育機能を備え、独自の成長を遂げてきたこの街にとっても節目のタイミングを迎えつつあります。当財団は、今後もつくばセンター地区を中心としたまちの変化を把握し記録することや、その時に応じたテーマを検討することを通じて、筑波研究学園都市とその都心機能を担うつくばセンター地区のまちづくりのあり方について検討を進めていく所存です。決して大きな存在ではありませんが、今後も末永く調査研究活動を継続し定期的にレポートを発刊できるよう取り組んでいきたいと思っております。これまでライブラリーの蓄積や、今後の発刊が、まちづくりに関心をお持ちの皆様や、まちの活動に関わる方々の参考となれば幸いです。

最後に、これまでの50号の発刊に対して、多くの関係者の皆様にご協力を頂きました。この誌面を通じて、改めて深く感謝申し上げますとともに、今後のレポートの発刊に対しても、ご理解とご協力を賜りますことを心よりお願い申し上げます。

令和6年3月

一般財団法人 つくば都市交通センター
理事長 茂木 貴志

— 目 次 —

I TUTC ライブラリーのあゆみ(1990-2023)	1
1. 筑波研究学園都市とTUTCライブラリーのあゆみを振り返って	4
— 筑波大学 谷口教授 インタビュー	
2. TUTC ライブラリーのあゆみ	8
II つくばセンター地区における都市活動実態調査(2018-2022) ...	25
1. 調査概要	27
2. 2022年度のコロナ禍及びつくばセンター地区の都市活動の動向	29
3. 分野別調査データ	36
3-1 人流	36
(1)鉄道	36
(2)バス	38
(3)駐車場	44
(4)駐輪場	55
(5)歩行者交通量	57
3-2 生活・余暇活動	62
(1)イベント開催状況	62
(2)文化施設利用状況	64
(3)市民活動	68
(4)屋外活動	69
3-3 人口・住宅	73
(1)人口の動向	73
(2)住宅供給動向	78
(3)地価	79
3-4 産業・経済	80

(1)商業施設	80
(2)オフィス	83
(3)観光・交流	84
(4)市財政	87
3-5 研究・教育	88
(1)研究活動	88
(2)交流活動	90
(3)創業活動	92
(4)普及活動	93
Ⅲ 音楽によるつくばセンター地区活性化のための実践調査 (2015-2023)	95
1. 「音の宝箱・つくば」について	98
2. 「音の宝箱・つくば」活動の記録	100
3. 「音の宝箱・つくば」についての考察と今後に向けて	124



TUTC ライブラリーのあゆみ
(1990－2023)

1988年に発足した当財団では、1990年より公益事業の一環として「TUTCライブラリー」の刊行を開始、本号で50号を迎えました。

当初は、バス輸送や駐車場など交通に係るテーマを中心としていましたが、つくばエクスプレスの着工、研究学園都市の建設事業の完了とまちのステージの変化や、少子高齢化、持続可能なまちづくりなど、社会課題の変化に応じ、多様なテーマを取り上げてきました。



筑波研究学園都市とともにあゆんだTUTCライブラリーの33年のあゆみを振り返り、筑波大学 谷口教授にお話を伺うとともに、これまでのライブラリーの概要をまとめました。

また、初期の冊子を電子化し、当財団のホームページ (<https://www.tutc.or.jp/company/library/>) で全号を閲覧できるようにしました。筑波研究学園都市のアーカイブとしてぜひご活用ください。

1. 筑波研究学園都市とTUTCライブラリーのあゆみを振り返って

ー筑波大学 谷口教授 インタビュー

TUTC ライブラリーの 33 年のあゆみを振り返り、TUTC ライブラリーの座談会にもこれまで何度かご参加頂いている筑波大学 谷口守教授に、つくばのまちの変遷とライブラリーのこれからについてお話を伺いました。

谷口 守教授 プロフィール

1984 年京都大学工学部卒業。1989 年京都大学大学院工学研究科博士後期課程単位取得退学。京都大学助手。以降、カリフォルニア大学バークレイ校客員研究員、筑波大学社会工学系講師、ノルウェー王立都市地域研究所文部省在外研究員、岡山大学環境理工学部助教授、同教授などを経て、2009 年筑波大学システム情報系社会工学域教授。専門は都市・地域計画、交通計画、環境計画。

当初のつくばの印象

初めてつくばを訪れたのは大学院修士の時、学会の発表で来ました。つくば万博(EXPO'85)が開催された頃で、まだあちこちに造成地が目立つような状況でした。関西人ですので、この辺りに来るのは初めてでしたが、「こんなところに絶対に住みたくない」というのが最初の印象でした(笑)。しかしその後、縁あって 1992 年に筑波大学に講師として着任することになりました。

最初は、道路の広い計画的な市街地が何とも変な感じがしていたのですが、2 年ぐらい住むと慣れてきて、京都に帰ると今まで当たり前だと思っていた道が狭くごちゃごちゃしているように感じるんですね。そのような意味で、都市の形ができあがるには時間がかかりますが、やはり基盤がしっかりしているのは大事なことだと思います。

子どもが生まれたばかりだったこともあり、自動車さえ持っていればつくばは暮らしやすく、同じ世代も多く非常に風通しがよいまちだと感じました。東京や京都など伝統的な都市は組織もヒエラルキーがしっかりしていますが、つくばはまちが若く年長者をあまり気にしなくてよい雰囲気があり、大学も、若い研究者でも対等に扱ってくれ、若い人にとってはとてもよいところだと思いました。

国家プロジェクトとしての筑波研究学園都市

筑波研究学園都市は、東京等の国の試験研究機関等を計画的に移転することにより東京の過密緩和を図るとともに、高水準の研究と教育を行うための拠点を形成することを目的に国家プロジェクトとして建設されました。

学園都市の入り口には「都市ゲート」のモニュメントがあり、東西南北に位置する 4 基は、「四神相応」にちなんだ色(青龍、白虎、朱雀、玄武)に塗られているようですが、京都に住んでいた私には、つくばは首都の「鬼門」にあるようにも感じました。



京都では鬼門の方角に比叡山を置き、宗教でまちを治めていましたが、現代では鬼門に科学技術都市を置き、テクノロジーでまちを治める。そして我々研究者は、よるべない現世を科学技術で鎮護することを託された僧侶のようなものかもしれないなどと思ったりもしました。

筑波研究学園都市は2兆円を投資してつくられています、それを高いと考えるか安いと考えるか。そんな雑談をしたことがありました。国内の工業団地で、分譲初日に完売したのは富士山が見えるところとつくばの名前が付いたところの2か所しかなく、2兆円で富士山は作れないので、2兆円の投資効果は十分にあったのではないかと、というのが先輩の先生の意見で、なるほどそういう考え方もあるのかなと思ったことを覚えています。

TUTC ライブラリーとの関わり

筑波大に来て最初にさせていただいた仕事らしい仕事が、このライブラリーにもなっているつくばの交通アンケート調査の分析です。分析結果より、最初は公共交通で暮らそうと思っていた人が諦めて自動車移動に変わっていくなど、なかなか面白いことがわかりました。つくばに来る前に1年程住んでいたカリフォルニアでも自動車がなくても生活ができていましたが、つくばに来たら自動車がないと生活ができませんでした。その頃のつくばは他のまちとは違って、非常に個性がありました。逆に言うと、最近はその個性がなくなってきたとも言えます。

つくばをめぐる状況の変化

つくばで3年、その後岡山で14年過ごし、2009年にまたつくばに戻ってきました。2005年につくばエクスプレスが開通して4年経った頃ですが、鉄道で東京へ行くようになり、西武百貨店の撤退などが起きてくるようになります。

図に示すような周辺のショッピングセンターの立地の変遷を見ると、1980年頃までは百貨店に行きたいと思ったら柏まで行かないといけませんでした。その後、牛久や土浦など常磐線の駅前に大型店が出来、つくばにも西武百貨店ができました。2005年につくばエクスプレスが開通

■ 図 ショッピングセンター (SC) 立地状況の変遷
(閉店記号×については2013~2017年に閉じた店舗のみ表記)

開店時期(年)

- 1967-1984
- 1985-1999
- 2004-2005
- 2006-2009
- 2011-2013
- 2015-2016

× : 閉店

店舗面積 (㎡)

- 50,001~85,000
- 30,001~50,000
- 10,001~30,000
- 1,500~10,000



筑波大学谷口守研究室作成
データ出典：日本ショッピングセンター協会

すると、もっと大きな店舗が流山、柏の葉、研究学園などつくばエクスプレスの駅前に、しかも駐車場を備えた形で開業するわけです。私が戻ってきたのはちょうどこのタイミングですね。その後、幹線道路沿いに車移動を前提としたイオンなどの大型店も出来、これをピークに2013年頃からは特に常磐線沿線の店舗で閉店が始まりました。

つくばエクスプレスができて便利になりましたが、それによって百貨店は東京に行くようになったことに加え、消費構造自体が安いものを求める生活スタイルになり、それらが相まって西武百貨店の撤退につながりました。つくばエクスプレス沿線では、鉄道の整備とセットで区画整理をきちんとしたことで、逆に駅の周りにマンションが増えて東京のベッドタウン化が進み、それが他のまちと同じような、個性がなくなっていきっかけになってしまっています。

つくばは新しいまちだと言われますが、実はもう老朽化が始まっていて、大学や公務員宿舎の建物は手を加えないといけない時期が来ています。つくばセンターもそうかもしれませんが、課題が時代の流れに応じて変わってきています。

つくばやセンター地区のこれから

西武百貨店があった頃は、センター地区は普通の買い物をするというより、贈答品などを買う少し特別なハレの場でしたが、なくなってからは価格帯が安いものを中心に、ほかのスーパーがあるような場所と差別化ができなくなっています。

それから、つくばだけではないのですが、鉄道駅周辺のような交通の要衝といえる場所で、本来はショッピングセンターやオフィスなどがあった場所が住宅に変わり、都市の構造自体が溶解してしまっています。つくばは人口が増えており、茨城県南の中心も土浦からつくばに変わってきている中で、つくばセンターの広域的な中心性をどのように発揮するかということですね。

それにはやはり、自動車だけを相手にしてよいのかを考えた方がよいでしょう。研究学園（葛城地区）は、センター地区から活力を奪っていると言われますが、渋滞してしまい車が動きませんよね。

つくば市は人口を増やすことにエネルギーを費やしているように見えるのですが、これ以上東京の衛星都市としての人口を増やすことにどのようなメリットがあるのかよく考えた方がよいと思います。これからつくばにも高齢化の波がやってきます。その時に、他のまちがやったような失敗をしないよう対策を取らねばなりません。

TUTC ライブラリーへの期待

初期のTUTCライブラリーを見返してみると、結構記録として面白いですよ。その当時の人が何を一生懸命考えていたのか、ここを計画するのにこんなことがあったのかと感心する興味深い話が多く残されています。

ライブラリーでは、まちの変化、課題を追いかけてこられたと理解しておりますが、その記録としてバックナンバーに価値が出てきています。執筆された時には想像していなかった価値が、時代を経て出てきているのではないかと思います。



それから、データを提供するという意識されておりましたので、今の数値をとると過去の比較検証ができますね。

ライブラリーの発行はコストもかかりますし大変だと思いますが、ぜひ続けて頂きたいですね。続けていくためには、あまり頑張りすぎないことも大事です。負担が大きいと息切れして続きません。むしろ細々でもよいので続けていってほしいと思います。

財団の役割、プレゼンス

自治体の組織の中に地域研究センターなどの研究部署を持つところがありますが、つくば市のような 20 万人規模の都市で、地域の調査研究費が確保されているというのは稀有な事例だと思います。ですので、シンクタンクだと思って活動をされればよいのではないのでしょうか。そして、つくば市内に限定せず、つくばセンターが関係する可能性があるエリアまで市域を超えて視野を広げてはいかがでしょうか。

一方で、財団の存在を市民はあまり知りませんよね。私も、初めてこのライブラリーの調査に携わった時は、よくわかっていませんでした。教授にアンケート分析をするように言われ、気が付いたら冊子が出来上がってきました。誰からも説明が無かったので、財団がどんな組織なのかもわからないまま関わらせていただいております。おそらくこの冊子を目にする方も、市がどこかに委託してつくっているように思うでしょう。縁の下の力持ちでもよいのですが、もっと積極的に表に出ていくのもひとつの方法です。財団としてどちらの方向で行くのか、それによって情報の発信の仕方をどうするかを考えてみるのもよいかもしれませんね。



2. TUTCライブラリーのあゆみ

1983

6月 つくばセンタービル開業

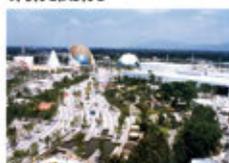
1985

2月 筑波メディカルセンター病院開院

3月 クレオ開業

3月 つくばエキスポセンター、つくばセンター交通広場、中央公園完成

3月 国際科学技術博覧会開幕



提供:つくば市

1987

4月 東京駅~つくばセンター間的高速バス運行開始

11月 つくば市市制施行

1988

1月 筑波町がつくば市に編入合併

6月 初つくば都市交通センター発足

8月 南1駐車場(旧・つくば西駐車場)、北2・北3駐車場開業



1989

4月 県立つくば看護専門学校開校

1990

4月 東京家政学院短期大学(現・筑波学院大学)開校

4月 つくば三井ビル開業

4月 筑波第一ホテル(現・ホテル日航つくば)アネックス開業

4月 筑波技術短期大学(現・筑波技術大学)開校

6月 つくば文化会館アルス開業

6月 南4駐車場開業



1991

3月 首都圏新都市鉄道(株)設立

11月 バブル経済崩壊

1号 シンポジウム

「つくばの交通問題を考える」

つくばフェスティバル'90の参加企画として実施した当財団初のシンポジウムの記録。つくばの交通問題について、様々な視点から、示唆に富んだ議論が繰り広げられた。

【コーディネーター】黒川 洸(筑波大学教授)

【パネリスト】土肥 博至(筑波大学教授)/林 洋(交通評論家)/藤岡・フーリア・ラスエラス(主婦)/寺尾 直衛(三菱商事筑波事務所所長)/日原 洋文(茨城県企画部県南・県西振興課長)/倉田 弘(つくば市長)/深水 正元(住宅・都市整備公団つくば開発局長)



2号 レポート

「つくばのバス輸送のあり方」

1990年度に実施された茨城県バス協会の調査成果の抜粋。道路混雑がなくバスの走行環境は優れているものの、利用が低調なつくばのバス交通の問題点を探るとともに、海外や東京をはじめとする主要都市との交流の活発化に対応した都市間輸送を含めた新しいバス輸送のあり方を提言。

3号 シンポジウム

「つくばのバス交通を考える」

当財団2回目の交通シンポジウム。前回の交通問題一般の議論を受け、各論としての「バス交通」を取り上げて議論を展開。市民生活に密着したテーマであり、一般参加者からも積極的な意見・提言が寄せられた。

【基調講演】田村 亨(筑波大学助教授)

【コーディネーター】黒川 洸(筑波大学教授)

【パネリスト】土肥 博至(筑波大学教授)/朝倉 栄子(主婦)/田邊 忠(関東鉄道専務取締役)/石見 利勝(つくば循環バスシステム研究会)/山田 券一(つくば市都市開発部長)

4号 レポート

「つくばセンターの駐車場利用調査」

自家用車保有率の向上、大店法の緩和等から大型ショッピングセンターが増加する状況において、車のアクセス性が目的地の選択にどのように影響しているか、つくば及び土浦、柏、野田の4都市を対象に調査。

商圏内居住者及び来街者へのアンケート調査により、各商業地の利用頻度や選択理由、駐車場利用の実態を把握、評価、ニーズを探るとともに地域間の比較分析を実施。

5号 レポート

「つくばの交通に関するアンケート」

日常の交通手段、将来の交通整備のあり方などの交通問題について、つくば市民を対象に行った当財団初のアンケートの調査結果とその分析。

研究学園地区と周辺開発地区という特性の異なる二つの地域から構成され、公共交通(バス)の不便な地域が多いつくばの特質が、交通行動や意識にどのような影響を与え、問題を発生させているのか論拠となるデータの収集もねらいのひとつとした。

1993

2月 土浦・つくば・牛久業務核都市基本構想承認

4月 駐車場集中管理システム稼働開始

10月 筑波研究学園都市30周年記念シンポジウム開催

10月 MOG開業



1994

6号 シンポジウム

「つくばの交通をどうするか」

3回目となる交通シンポジウムの記録。「つくばの交通に関するアンケート」も資料に、2回のシンポジウムを踏まえ、これからの具体的な交通の取り組み方について討議。

【基調講演】原田昇(東京大学助教授)

【コーディネーター】黒川 洸(筑波大学教授)

【パネリスト】土肥 博至(筑波大学教授)/谷口守(筑波大学講師)/横山 静一郎(循環バスシステム研究会)/井坂 敦実(つくば市教育長)/井口 百合香(暮しの企画舎)

7号 座談会

「地方都市と交通

—つくばの問題を中心として—

一家に一台の本格的な車社会の到来を迎え、交通量の増加、渋滞の更なる悪化が懸念されるつくば。

交通分野の専門家が、計画当初の交通の考え方や、まちのにぎわいや高齢社会を見据えた公共交通のあり方などについて提言。

【司会】黒川 洸(筑波大学教授)

【出席者】岡 並木(交通評論家)/太田 勝敏(東京大学教授)/土肥 博至(筑波大学教授)/浅谷 陽治(財つくば都市交通センター理事長)

8号 市民レポート

「自転車のあるつくばの楽しい生活」

ペDESTリアンデッキが巡り自転車の利用しやすい環境にあるセンター地区。自動車の集中による様々な交通課題に対し、新たなつくばの魅力を引き出す自転車の利用促進に結び付けようと、市民レポートを募集。

つくばでの自転車を利用する魅力、楽しみ方を綴った44編の応募作と、提案のあったサイクリングルートを収録。

【審査員】川手 昭二(芝浦工業大学教授)/井坂 敦実(つくば市教育長)/井口 百合香(暮しの企画舎代表)/御船 哲(住宅・都市整備公団つくば開発局長)/浅谷 陽治(財つくば都市交通センター理事長)

- 4月 筑波大学付属病院～二の宮団地間
シャトルバス運行開始
4月 南3駐車場(旧・南1駐車場)開業



9号 座談会

「筑波研究・学園都市の草創期を語る」

研究学園都市閣議了解30年、財団5周年の記念事業の一環として、つくばの都市建設の歴史を解説する中学生向けの副読本の作成を企画。その編集の参考のため開催した、プロジェクト初期段階の担当者たちが語る回顧談。2部構成。

【出席者】久保田 誠三(財)自転車駐輪場整備センター理事長/紀伊 義磨(同和火災海上保険株)/土肥 博至(筑波大学教授)/若林 時郎(九州芸術工科大学教授)/石黒 俊夫(住宅・都市整備公団)/桑田 紀一(住宅・都市整備公団)/田中久幸(住宅・都市整備公団)/浅谷 陽治(財)つくば都市交通センター理事長

以上のほか「筑波研究都市開発の歩み」(仮称)編集委員から井坂 敦実(つくば市教育長)ほか市内小、中学校校長・教諭5人の先生方が参加

10号 座談会

「つくばのショッピングセンターのあり方ー 21世紀の都心形成の展望」

常磐新線の計画が決定し業務核都市構想等、つくばセンターの規模や内容充実が期待される状況にある中で、駐車場は4300台の最終整備計画でよいのか。今後の立体駐車場整備を見通す上で、これからのつくばの商業を中心としたセンターのあり方、及び駐車場のあり方について、専門家により討議。

【司会】外 益三(株)シティ開発研究所所長

【出席者】小林 一夫(株)ネクサス代表取締役/波形克彦(商業システム研究センター代表)/宗像 一郎(筑波新都市開発株)参与/望月 照彦(多摩大学教授)/浅谷 陽治(財)つくば都市交通センター理事長

1994

7月 つくば～成田空港間の直通バス運行開始

10月 常磐新線起工式

1995

1月 阪神・淡路大震災



11号 座談会 「つくば南1駐車場を めぐって」

つくば南1駐車場のオープンを機に、その設計の考え方、駐車場計画などについて語る2つの座談会の記録。設計者の寄稿等も掲載。

■座談会1「つくば南1駐車場をめぐる」

【司会】浅谷陽治(財つくば都市交通センター理事長)

【出席者】伊東 豊雄(株伊藤豊雄建築設計事務所代表取締役)/土肥 博至(筑波大学教授)/井口 百合香(暮しの企画舎)

■座談会2「つくばセンター地区の駐車場計画について」

【司会】浅谷陽治(財つくば都市交通センター理事長)

【出席者】田中久幸(住宅・都市整備公団)/南條 道昌(都市計画設計研究所)/谷口 守(筑波大学講師)/松本 敏行(日本都市総合研究所)

12号 レポート

「つくばのバス輸送のあり方II」

つくば市より委託を受けて実施した、バス運行に関する調査の成果の抜粋。1992年度の調査等をベースに、バス交通の改善計画やコミュニティバスの可能性等を検討。

また、1994年に運行を開始した筑波大学病院～二宮団地間のシャトルバスの利用低調の原因を探るアンケート調査の分析結果を収録。

13号 座談会 21世紀つくばへの提言シリーズ1

「常磐新線と土地問題

—今なぜ大規模宅地開発か—

首都圏への人口圧力の低下、バブル崩壊など従来のニュータウン開発とは異なる社会経済背景下で進められる常磐新線建設計画。従来の手法やシステムにとらわれず、21世紀に向けたつくばの開発のあり方等を考えるシリーズ企画の1回目。

大規模に創出される宅地をどのように供給していくべきか、手法や機能、郊外住宅地の住まい方などから議論。

【進行】小林 秀樹(建設省建築研究所研究官)

【出席者】長谷川 徳之輔(明海大学教授)/相田 康幸(仙台都市総合研究機構理事)/三宮 満雄(住宅・都市整備公団つくば開発局長)

1995

1996

4月 つくばセンター広場自転車駐車場開設

7月 つくばカピオ開業



14号

「新しいつくばの歴史」

筑波研究学園都市の30年間のあゆみを平易な文章で解説した、つくばの新しい歴史の入門書。つくば都市交通センター創立5周年記念事業の一環として、市内中学校で使用する副読本として編集。



15号 座談会 21世紀つくばへの提言シリーズ2 「常磐新線と地域開発—つくばを中心に」

20世紀最後の首都圏最大のプロジェクトとして脚光を浴びている常磐新線計画及びその沿線開発を巡っての、関係諸氏による提言。

【司会】黒川 洸(筑波大学教授)

【出席者】森地 茂(東京工業大学教授)/三宮 満雄(住宅・都市整備公団つくば開発局長)/山名 清郷(茨城県土木部長)/西野 保行(首都圏新都市鉄道(株)常務取締役)

16号 座談会 21世紀つくばへの提言シリーズ3 「新しいつくばと研究者」

日本の科学技術が集結する筑波研究学園都市。熟成段階に入ったこの都市のあり方について、研究活動や研究者の生活の面から議論を展開。

【司会】三宮 満雄(住宅・都市整備公団つくば開発局長)

【出席者】中山 和彦(筑波大学教授)/佐藤 壮郎(地質調査所所長)/生駒 俊明(株)テキサス・インスツルメンツ筑波研究開発センター取締役社長)/梶村 皓二(電子技術総合研究所次長)/河本 哲三(アーツアンドサイエンス基金代表)

17号 座談会 レポート 「つくばの交通事故」

高水準の道路が多く整備されていながら、交通事故の多発地域として深刻な問題を抱えるつくば。この防止策についての討論と運転者の意識調査、事故の実態調査の結果を収録。

【司会】石田 東生(筑波大学助教授)

【出席者】鈴木 勉(つくば中央警察署長)/松村 哲男(建設省建設大学校建設部長)/小林 代滋(茨城県土木部道路維持課長)/林 洋(交通評論家)/朝倉 栄子(家裁調停委員)/平松 金雄(財団法人自動車研究所道路交通安全室長)

1996

新住民とそれを迎え入れた地元の人々がみ
ずから綴った体験記を集めた筑波研究学園
都市の初期の十年の記録集「長ぐつと星空」
が1981年に発行されました。

題名は、長ぐつなしには生活できなかった
つらい体験と、東京では見ることのなかっ
た美しい夜空の星を仰いだ忘れがたい思い
出から、編集に携わった方々がつけたもの
です。



11月 CATV幹線網光ファイバー化工事着工

12月 つくばターミナル案内サイン設置

1997

18号 座談会 21世紀つくばへの提言シリーズ4

「これからのつくば

—長ぐつ時代の市民が語る—

研究学園都市の初期段階の移住者と、従来か
らの住民による、生活者の視点でとらえたつ
くばの変貌の総括とこれからの、「長ぐつと
星空」の編集・執筆に携わった方々が語る。

【司会】土肥 博至(筑波大学教授)

【出席者】生田 美恵子(「長ぐつと星空」編集委員)/
木原 幸子(「長ぐつと星空」編集委員)/島 美佐子
(「長ぐつと星空」編集委員)/豊島 邦雄(農業)/中
根 房子(農業)/花開 孚雄(茨城県つくば人材情報
センター人材コーディネーター・元つくば市総務
部長)

19号 座談会 21世紀つくばへの提言シリーズ5

「つくばと情報革命」

パソコンや携帯電話、CATVの普及が進み、21
世紀型の情報インフラの整備に向けた世界的な波が起きつつある。高度情報化社会にお
ける科学都市つくばの役割とは。

都市建設と情報インフラの関係、未来のコ
ミュニケーション等について討論。

【司会】神戸 芳郎(財研究学園都市コミュニティ
ケーブルサービス理事長)

【出席者】三宮 満雄(住宅・都市整備公団つくば開
発局長)/中山 和彦(筑波大学教授)/太田 公廣(電
子技術総合研究所アーキテクチャ部長)/岡田 弘
康(つくば市立並木小学校長)/西村 憲一(日本電
信電話(株)アクセス網研究所研究開発企画部長)

20号 シンポジウム

「街づくりの“構想力とその推進”

—“都市開発プロデューサー”の

役割を探る」

21世紀に向けた街づくりには「夢の構想力に
よる先駆的なコンセプトづくり」と、「その推
進力」が重要との認識から、これからの都市
開発プロジェクトのあり方を模索する試み
として、講演会・シンポジウムを(株)都市開発
技術サービスと共同開催。

【司会】川手 昭二(芝浦工業大学教授)

【出席者】渡辺 定夫(工学院大学教授)/土肥 博至
(筑波大学教授)/南条 道昌(都市計画家)/鳥栖 那
智夫(都市計画家)/鈴木 崇英(都市計画家)/三宮
満雄(住宅・都市整備公団つくば開発局長)

1997

21号 レポート

「つくば・土浦の交通に関する

アンケート」

Library- 5で行った交通に関するアンケートの対象を、土浦市民にまで広げ実施。生い立ちの異なる両市の特質が市民の交通行動や意識にどのような影響を与えているのか、論拠となるデータを収集するとともに、両市の結びつきについて分析。

1998

3月 ひたち野うしく駅開業
ひたち野うしく～つくばセンター間にバス
運行開始

22号 座談会 21世紀つくばへの提言シリーズ6

「21世紀に向かっての“つくば”を考える
—産・官・学・民「共生」への課題と展望—」

これからのつくばを考える、21世紀提言シリーズの総論的位置づけの1回目。各方面からの識者が出席した(財)ACCSとの共催による座談会で、番組としても放映。

研究者や地元から見た筑波研究学園都市と、地域交流のあり方等について討論。

【司会】神戸 芳郎(財)ACCS理事長)

【出席者】柏木 寛(元工業技術院長)/村上 和雄(筑波大学先端学際領域研究センター長)/中西 房枝(工業技術院分子システム研究室長)/三宮 満雄(住宅・都市整備公団理事)/神林 章夫(カスミグループ代表)/飯泉 淳(つくば青年会議所理事長)

4月 「研究学園地区建設計画」(国土庁)、
「周辺開発地区整備計画」(茨城県)改定

23号 座談会 21世紀つくばへの提言シリーズ7

「21世紀に向かっての“つくば”を考える
—つくば…今、何を指すべきか」

(財)ACCSとの共催による座談会の2回目。科学技術の集積を生かした「技術田園都市」等、つくばへの期待を語る。

【司会】岩波 嶺雄(常陽新聞社取締役副会長)

【出席者】橋本 昌(茨城県知事)/藤澤 順一(つくば市長)/江崎 玲於奈(筑波大学学長)/両角 博(住宅・都市整備公団茨城地域支社長)/岡田 雅年(国立研究機関長協議会代表幹事(金属材料技術研究所所長))/西岡 郁夫(工業団地立地企業代表(インテル株)代表取締役会長)

1998

6月 つくば都市交通センター
設立10周年



10月 花室トンネル供用開始



1999

3月 筑波研究学園都市建設事業(法定事業)の完了

6月 つくば国際会議場開業



24号 座談会 21世紀つくばへの提言シリーズ8

「茨城県南西部地域における

将来の交通について」

下妻市がまとめた県南西部横断新交通システム構想を中心に、つくばを含めた県南西部地域の広域的な交通のこれからについて討論。

【司会】黒川 洸(東京工業大学教授)

【出席者】高田 順一(茨城県企画部長)/山中 博(下妻市長)/藤澤 順一(つくば市長)/坪 叔男(財つくば都市交通センター理事長)

25号 座談会

「土浦・つくばのこれからの

関係について」

1998年に新住宅市街地開発事業が完了し、第3ステージを迎えたつくばでは常磐新線や圏央道の建設、業務核都市構想が進行。また、国際会議場の開設や土浦における中心市街地活性化の検討等新たな展開が始まる中、広域都市圏の中心にある土浦とつくばのそれぞれの都市特性の醸成や連携のあり方について討論。

【プレゼンテーション】

浅谷 陽治(㈱都市開発技術サービス代表取締役社長)

【司会】岩波 嶺雄(㈱常陽新聞社取締役副会長)

【出席者】熊谷 良雄(筑波大学教授)/松本 治郎(㈱常陽地域研究センター 研究部長)/中野 正吾(㈱筑波ハム 代表取締役会長)/吉岡 昭文(㈱筑波山江戸屋取締役社長)/西谷 隆義(学筑波研究学園 理事長代行)/渡辺 満枝(㈱EMMY 代表取締役)

26号 座談会 21世紀つくばへの提言シリーズ9

「つくばセンター地区における

高齢社会に向けた環境の形成について」

2015年に4分の1が高齢者となる高齢社会を見据え、つくば全体や中心市街地の将来の姿や対応すべきことについて討論。

【座長】蓮見 孝(筑波大学助教授)

【出席者】藤澤 順一(つくば市長)/小関 迪(筑波記念病院院長)/おそど まさこ(トラベルデザイナー・移動福祉専門家)/ルイス・ロバート(筑波研究コンソーシアム常務理事)/森岡 悦子(つくば市教育委員・社会福祉審議会委員)

2000

5月 つくば市レンタサイクル事業「のりのり自転車」開始

9月 つくば市「福祉循環バス」運行開始(試運行)

12月 高齢者等に配慮したつくばセンター地区の地図「つマップ」作成



12月 「タウンモビリティ実験 2000 in つくばセンター」実施



2001

2月 常磐新線の名称が「つくばエクスプレス」に決定

4月 国の試験・研究機関の独立行政法人化

11月 つくば中央地区路上駐車対策協議会発足

2002

4月 つくば市福祉循環バスを「つくば市のりのりバス」と改め本格運行開始

5月 つくばりんりんロード全線開通

5月 ダイエー筑波学園店閉店

10月 筑波大学と図書館情報大学が統合

11月 荳崎町がつくば市に編入合併

27号 座談会

「つくばセンター交通広場— 複合交通ターミナルへの変貌」

交通手段の中心が自動車であったつくばにおいて、常磐新線の整備により「駅を中心としたターミナル」へと変貌することを見据え、中心地区への期待と課題について考える。

【座長】石田 東生(筑波大学教授)

【出席者】藤澤 順一(つくば市長)/赤間 薫(都市基盤整備公団茨城地域支社都市整備部長)/對木 揚(日本都市総合研究所)/山田 剛義(㈱戦略開発工房ライブ代表取締役社長)/井口 百合香(暮しの企画舎)/大白 幸夫(財つくば都市交通センター理事長)

28号 レポート

「つくばセンター地区駐車場利用実態 調査—交通実態調査及び駐車行動調査」

1999年度に財団が実施したつくばセンター地区駐車場の利用実態、周辺道路の交通流動、来訪者行動の実態についての調査結果。駐車場混雑による渋滞や違法駐車が課題となっている中で、常磐新線開通による混雑の深刻化、センター地区の商業地としてのポテンシャル低下への懸念から、対策を検討。

29号 レポート

「つくばセンターにおけるタウンモビリティ(歩行支援システム)実験調査」

建設省・つくば市・都市公団・つくば都市交通センターによる「タウンモビリティ実験2000 in つくばセンター」の記録。

ペDESTリアンデッキ上で電動乗合カートの運行、電動スクーターの貸出しを実施し、高齢者等の移動制約者のモビリティ向上のヒントを探った。

2003

3月 圏央道つくばJCT～つくば牛久IC間開通

9月 つくば市コミュニティバス「つくつくバス」
運行開始

2004

3月 LALAガーデンつくば開業

2005

3月 北1 駐車場開業

3月 Q't開業

3月 デイズタウン開業



4月 つくばセンターでレンタサイクルの貸出開始

8月 つくばエクスプレス
開業



提供：(一財)ACCS

10月 MOGに「プラザ・
パフォーマンス」開設



2006

2006年1月、当財団に「まち育て事業本部」
が発足しました。

4月 つくば市新コミュニ
ティバス「つく
バス」運行開始

4月 南2 駐車場開業

6月 つくば駅構内につ
くば市総合案内所
開設

9月 ライトオン本社
ビル開業



30号 レポート

「つくば市域におけるNPO方式によるコ ミュニティバス運行の実現性の検討調査」

1995年に全国初のコミュニティバスが武蔵野市で運行を開始し注目を集める中、バス交通の整備が課題となっているつくばにおいて、NPO法人が主体となったコミュニティバス運行の可能性を検討。

31号 レポート

「筑波研究学園都市中心地区 へのフリンジパーキング システムによる通勤方法の検討調査」

つくばエクスプレス開通を控え、施設立地が急速に進行し暫定駐車場の廃止が進む中で、中心地区就業者の通勤用駐車場をフリンジに確保し、シャトルバスで中心地区へ運ぶ新たな通勤システム導入の可能性について検討。



32号 座談会

「少子高齢化社会における、つくばでの 自動車利用の変化と駐車場の在り方」

近い将来訪れる少子高齢化、人口減少による生活行動や交通インフラへの要求内容の変化に対し、つくばの特性を踏まえた都市交通や駐車場における対応に向けた準備として有識者より視座を得る。

【座長】今井 晴彦 (㈱アルメック 顧問)

【出席者】司波 寛 (㈱都市総合計画 代表) / 蓮見 孝 (筑波大学大学院人間総合科学研究科 教授) / 大島 翼 (㈱駐車場総合研究所 代表取締役) / 大熊 久夫 (財計量計画研究所 研究部長)

2007

2月「つくばナンバー」スタート

4月 つくば市が特例市に移行

4月 つくば駅北自転車駐車場、西自転車駐車場
供用開始

2008

6月 つくば市にパスポート窓口開設

6月 つくば都市交通センター
設立20周年

10月 イーアスつくば開業



33号 レポート

「一先進的駐車場事例集一

少子高齢化社会における、つくばでの
自動車利用の変化と駐車場の在り方」

少子高齢化、人口減少社会に向け、高齢者や女性、若年層の利用比重の増加に対応し、機能、安全、心地よさ、使い易さの改善に資するため、全国各地、海外の駐車場を訪問し、事例集としてとりまとめ。デザインやサービス、誘導サイン、使用機器などソフト・ハード両面から先進的な取り組みを整理。

34号 レポート

「一改善策一

少子高齢化社会における、つくばでの
自動車利用の変化と駐車場の在り方」

今後の社会変化への駐車場の対応の在り方を探る3か年に渡る調査のとりまとめ。座談会、先進的駐車場事例集、利用者アンケート等の結果を受け、財団駐車場の改善策を検討。

35号 作品

「少年少女が考える

「つくばのまちと交通」Vol.1」

つくば都市交通センターが設立20周年を迎えることを機に、「つくばのまちと交通」をより良いものにするためのヒントを得るため、市内の小中学生から作文、絵画・ポスターによる作品募集を2か年に渡って実施。

つくばエクスプレス開通により街が大きく変化しつつある中で、次世代を担う小中学生がどのようなテーマに関心を持っているのか、応募作品の傾向から探るとともに、優秀作品を紹介。

2009

- 5月 イオンモール土浦開業
- 7月 あみ・プレミアムアウトレット開業
- 7月 ダイワロイネットホテル開業



2009年7月、地域の関係者が集まり、中心地区の活性化に向けた取り組みとして「つくばセンター地区活性化協議会」が発足しました。

2010

- 1月 「新たなつくばのランドデザイン」策定
- 1月 「搭乗型移動ロボットの公道走行実証実験特区」が構造改革特区として認定

- 5月 つくば市新庁舎が研究学園に開庁
- 6月 つくば駅前広場がリニューアルオープン

2011

- 2月 センター地区で初の国家公務員宿舎跡地売却
- 3月 東日本大震災
- 3月 つくばモビリティロボット実験特区認定
- 4月 つくタク運行開始

36号 作品

「少年少女が考える

「つくばのまちと交通」VoL.2」

前年度に引き続き小中学生から作品を募集。応募作品の分析と優秀作品の紹介のほか、2か年の応募作品の主張のポイントと問題解決への提案を整理し、考察。

37号 レポート

「駐車場におけるエコ対応策

に関する調査」

1997年に京都議定書が締結されるなど、世界で地球温暖化防止への取り組みが進められる中、財団駐車場事業における各種エコ対応策の実施・導入可能性について調査・検討。

38号 レポート

「つくばセンター地区の歩行空間活性化 (その1 現状と課題)」

つくばセンター地区の活力の低下が懸念される中、センター地区の貴重な財産であるペDESTリアンデッキを活用したまちの活性化方策を探るべく、歩行空間の現状把握、他地域の事例、課題を整理。

39号 レポート

「つくばセンター地区の歩行空間活性化 (その2 活性化の具体方策)」

前号の調査、及び市民アンケート結果を踏まえ、オープンカフェやテーブルの設置、移動販売車など、センター地区の歩行空間での具体的な取り組みイメージを提案。

2012

3月 南1 駐車場リニューアルオープン

動物イラストを用いた
親しみやすいサインを導入



4月 つくば都市交通センターが一般財団法人となる

A4 版サイズに



40号 レポート 「平成 23 年度つくば センター地区の交通動態 と公共駐車場需要の将来推計調査」

未利用地が散在し、公務員住宅用地の再開発計画、ターミナルビル（現・BiVi つくば）建設計画など土地利用の変化が予想されるつくばセンター地区において、様々な計画の基礎となるデータの提供を目指し、2008年度東京都市圏パーソントリップ調査データを基に、交通動態や公共駐車場需要を推計。

2013

3月 イオンモールつくば開業

12月 筑波研究学園都市 50周年式典開催

41号 レポート 「つくばセンター地区の居心地向上策 —調査及び実践」

つくばセンター地区を「まちの居心地」の視点から、専門家による現地調査と市民アンケート調査により評価・分析し、既存ストックの魅力向上策を考察。また、これを踏まえ財団が着手した、駐車場のサイン・トイレ等のリニューアルや、イルミネーション、ギャラリー設置等の取り組みを紹介。

2014

1月 ヨークタウンつくば竹園店開業

42号 レポート 「公共駐車場におけるサインデザイン (計画編)—わかりやすく親しみやすい 駐車場をめざして」

財団駐車場の劣化が進む中、利用者の視点に立った駐車場のアメニティを追及すべく、公共駐車場のサインデザインのあり方について、これまで収集した国内外の事例の整理と評価を行い、駐車場における快適な空間づくりのあり方を検討。

43号 レポート 「公共駐車場におけるサインデザイン (実践編)—わかりやすく親しみやすい 駐車場をめざして」

前号に引き続き、2012年3月にリニューアルオープンした南1 駐車場におけるサイン計画における取り組みを報告。

2015

6月 圏央道 神崎IC～大栄JCT間開通
(常磐道～東関東道間接続)

9月 Biviつくば開業



2016

6月 つくばペデカフェプロジェクト開始

2017

2月 圏央道境古河IC～つくば中央IC間開通
(東名高速～常磐道間接続)

2月 クレオ・西武閉店



提供:(一財)ACCS

2018

1~2月 クレオ・ジャスコ・専門店街閉店

6月 つくば都市交通センター設立30周年



2019

4月 電動車いすの公道での自動運転の実証実験実施

44号 レポート

「新たなまちづくりへの挑戦—葛城地区における「まち育て」モデルづくり」

つくば市、UR、市民、地域と連携し、2011年より取り組んだ葛城地区での市民協働のまちづくり支援の報告。住民アンケートから始まり、ビジョンづくり（グリーンネットワークス構想）を経て、みどり系、センター系、歴史文化・地域資源系の3つの活動グループが誕生。花植え、音楽イベント、マップづくりなどの活動が生まれた。

45号 レポート

「つくばにおけるまち育て事業モデル—持続可能なまちづくりの仕組み」

財団が支援する葛城地区の「グリーンネットワークスの会」「里山クラブ」、つくばセンター地区の「音の宝箱」の3つのまち育てモデル事業と「葛城地区企業交流会」について、取り組みと現状の到達点、課題等を整理。

46号 レポート

「近年の歩行者・自転車交通量調査の推移から考えるつくば中心市街地の現状と課題」

つくばセンター地区内の歩行者・自転車の通行実態、来街者の行動実態、駐車場利用の実態調査の経年の結果から、来街者の移動やニーズの変化を整理・分析。

また、つくば市、つくばセンター地区活性化協議会、つくば都市交通センターのにぎわい創出の取り組みを踏まえ、課題を整理。

47号 レポート

「小空間のデザインと実践

—プラザ・パフォーマンス・

ギャラリーの活用を考える」

2005年にMOGに開設した「プラザ・パフォーマンス・ギャラリー」のこれまでの活用状況、2017年に実施したリニューアルのねらい、及びリニューアル後のアンケートを踏まえ今後の取り組みの検討を通し、駅前、都心の小空間のあり方、活用方策などを考える。

2020

新型コロナウイルス感染症の世界的大流行

2021

- 4月 つくばまちなかデザイン(株)設立
5月 クレオリニューアルオープン
7月 東京2020オリンピック開幕
10月 シェアサイクル実証実験「つくチャリ」開始



提供:(一財)ACCS

2022

- 4月 つくば市が「スーパーシティ型国家戦略特別区域」として区域指定
5月 つくばセンタービル飲食店街を改修しコワーキングスペース「co-en」オープン



- 10月 LALAガーデンつくば開店
10月 レ・ジェイドつくば竣工

2023

- 5月 新型コロナウイルス感染症の5類移行

- 11月 つくば市第4回脱炭素先行地域に選定
12月 BViつくばにつくば市民窓口センターオープン

2024

- 2月 つくばセンタービルに市民活動拠点コリドイオオープン



年報形式に

48号 レポート

「つくばセンター地区における都市活動実態調査(2018-2020)

ーコロナ禍の影響の把握

新型コロナウイルスの世界的パンデミックという未曾有の事態が、つくばセンター地区の都市活動に与えた影響を各種データから分析。

49号 座談会・レポート

「つくばセンター地区における都市活動実態調査(2018-2021)

ー新たな時代を迎えたつくばセンター地区の今後の展望

コロナ禍のつくばセンター地区の都市活動実態調査の2年目。ワクチン接種が開始し「ウィズ・コロナ」が模索された2021年度のデータを分析。また、クレオのリニューアルオープンなど、転換期にあるつくばセンター地区の今後の展望について、有識者座談会より知見を得るとともに、センター地区の土地利用の変遷を整理。

【コーディネーター】藤井 さやか(筑波大学准教授)
【出席者】谷口 守(筑波大学教授)/鈴木 健嗣(筑波大学教授)/茂木 貴志((一財)つくば都市交通センター 理事長)

50号 2023年度レポート

- ◇ TUTCライブラリーのあゆみ
- ◇ つくばセンター地区における都市活動実態調査(2018-2022)
- ◇ 音楽によるつくばセンター地区活性化のための実践調査(2015-2023)



つくばセンター地区における都市活動実態調査
(2018-2022)
—コロナ禍の影響の把握—

つくばセンター地区における都市活動実態調査(2018-2022)

1. 調査概要

2023年3月に発行したTUTCライブラリー49号に引き続き、つくばセンター地区を中心とした都市活動についてのデータを収集し、2022年度につくばセンター地区の都市活動の実態について把握しました。

(1)調査対象エリア

つくばエクスプレスつくば駅から約1kmの範囲に広がる「つくばセンター地区」を基本とし、一部データは、その周辺地域やつくば市全域を対象としました。

(2)調査対象期間

過年度に収集したコロナ禍発生前の2018～2019年度、発生直後の2020年度、ワクチン接種が開始した2021年度のデータに加え、行動制限が緩和された2022年度のデータを新たに収集しました。

(3)調査項目

以下の項目について調査を行いました。

○新型コロナウイルス感染症に係る経過の把握

- ・感染者数の動向
- ・感染拡大の防止に向けて行われた取り組み(外出自粛、休業要請等)

○都市活動の変化の把握

- | | |
|------------|---|
| 1. 人流 | 鉄道、バス、駐車場、駐輪場利用状況
つくばセンター地区歩行者通行量、来訪者数 |
| 2. 生活・余暇活動 | つくばセンター地区イベント開催状況
文化施設利用状況(図書館、美術館、ホール)
市民活動施設利用状況(市民活動センター、交流センター)
屋外活動状況(公園・運動施設、キャンプ場、レンタサイクル) |
| 3. 人口・住宅 | つくば市の人口動向、つくばセンター地区の人口推移
住宅着工数、マンション供給動向、地価 |
| 4. 産業・経済 | 駅周辺商業施設の来客数・売上高
オフィスエリアの人流の動向
観光客数、宿泊者数
市の歳入・歳出、税金 |
| 5. 研究・教育 | 研究活動(研究発表数、共同研究数、筑波大学人流等)
交流活動(留学・外国人受入数、国際会議開催状況等)
創業活動(ベンチャー企業設立数、スタートアップ利用状況)
普及活動(サイエンスツアー等一般向けイベント参加者数) |

(4)調査方法

以下の方法により、各種データの収集・分析を行いました。

○統計データ等調査

- ・人口や住宅着工数、地価、税金などの各種統計データを、公開資料等から収集し・分析

○各種施設等利用状況調査

- ・交通機関や駐車場・駐輪場、文化施設、運動・屋外施設、商業施設、宿泊施設等、都市活動と関係の深い各種施設の利用状況や研究活動等に関するデータを、公開資料や関係機関からの提供により整理・分析

○既存調査データを用いた分析

- ・関東鉄道(株)が経年的に実施しているつくば市内の路線バスの乗降客数調査データの提供を受け、つくばセンター地区発着便に着目して分析
- ・(一財)つくば都市交通センターがつくば駅周辺で定点観測を行っている「つくば中心市街地歩行者・自転車交通量調査」のデータを用いて、コロナ禍前後の人の動きの変化について分析

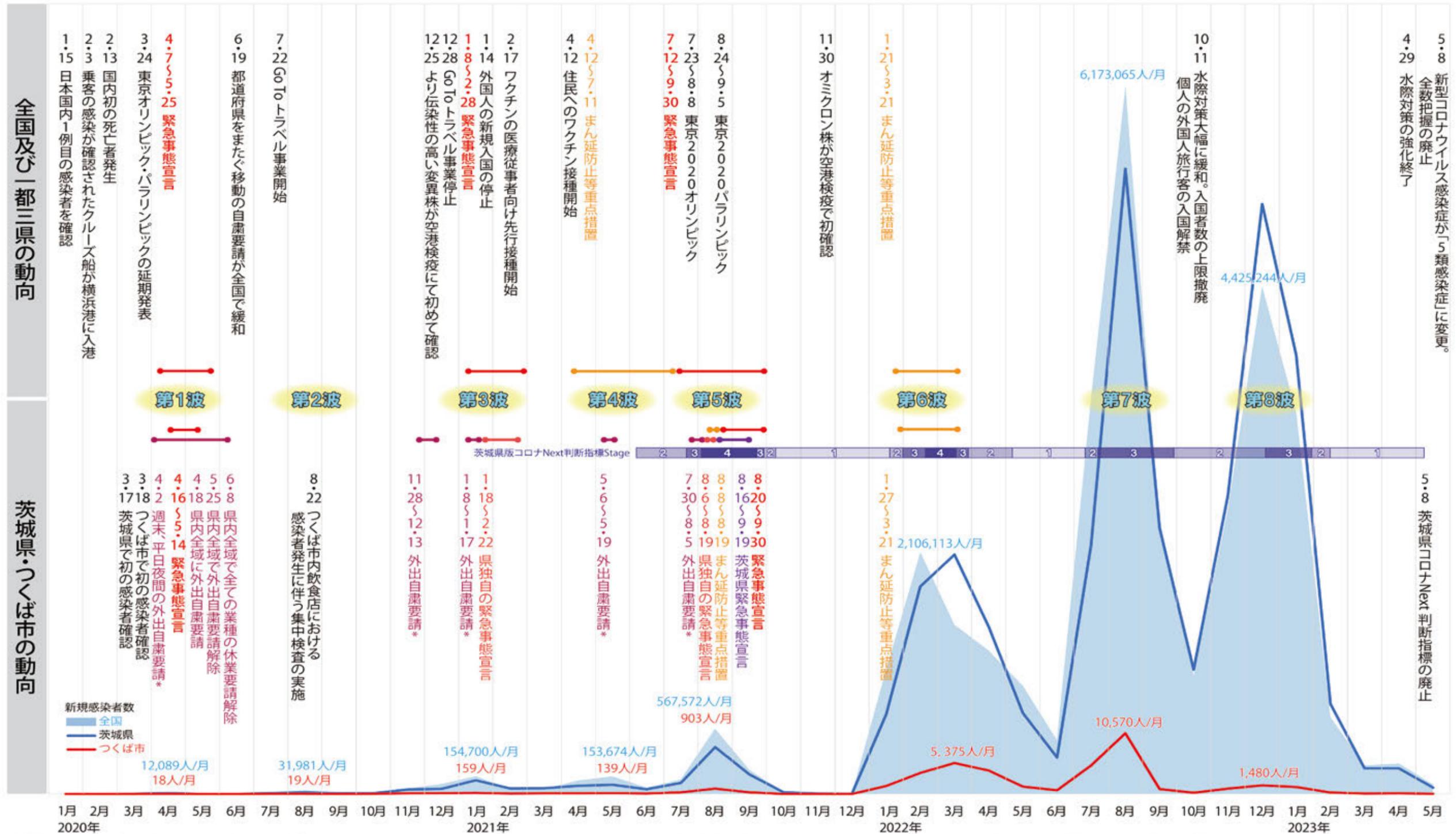
○人流データ調査

- ・携帯電話(au)の位置情報による人流データ提供サービスを用いて、つくば駅周辺街区やオフィスエリア、公園の人流(来訪者数)を把握

2. 2022年度のコロナ禍及びつくばセンター地区の都市活動の動向

2022年度は、感染力の高いオミクロン株の流行により8月に第7波、12月に第8波が発生し、これまでで最も多い感染者数が確認されました。一方で、ワクチン接種が行き渡り、

新型コロナウイルスによる致死率も低下し、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置等の行動制限はなくなり、水際対策も10月に大幅に緩和されるなど、社会活動が正常化に向けて動き出した年となりました。



*感染拡大市町村における要請。期間はつくば市が対象となった期間。

新規感染者数:厚生労働省 HP「データからわかる新型コロナウイルス感染症情報」、つくば市 HP「新型コロナウイルス陽性者一覧」より作成

図 2-1 新型コロナウイルス新規感染者数の推移

◆ 人 流

つくば駅乗車人員はコロナ禍前の約8割に回復していますが、つくば-東京駅間高速バス利用者は約6割の回復に留まっています。つくばエクスプレス沿線全体では、定期券外利用者に比べ定期券利用者の回復が遅れており、テレワークの浸透により通勤者が減少していることが推察されます。

空港リムジンバスは、茨城空港行きを除き、羽田空港行きが2022年4月、成田空港行きが12月より運行再開となりましたが、コロナ禍前と比べると低い値に留まっています。一方で、関西方面の長距離バスでは、1月以降はコロナ禍前に近い数まで利用が回復しており、国内の移動は活発化しつつあることがうかがえます。

つくばセンター地区の共同利用駐車場利用台数は、2021年度のクレオのリニューアルオープンの影響もあり、コロナ禍前以上に増加していますが、クレオ閉店以前の水準には達していません。

つくば駅周辺の来訪者数も、通勤通学やビジネス等の往来が減少しているためか、コロナ禍前の約8割に留まっています。

表 2-1 コロナ禍以降の人流関連データの推移(%は2018年度比)

	新型コロナウイルス流行前		流行後	
	2018年度	2020年度	2021年度	2022年度
TXつくば駅乗車人員(1日平均)	18,900人	10,700人 57%	12,600人 67%	15,400人 81%
高速バスつくば-東京線乗車人員	612,147人	197,809人 32%	265,580人 43%	381,929人 62%
空港リムジンバス乗車人員	199,382人	2,213人 ほぼ運休 1%	0人 運休 0%	40,657人 20%
駐車場利用台数	168万台	118万台 70%	174万台 104%	184万台 110%
つくば駅周辺来訪者数	100% 携帯電話位置情報データ*	58%	72%	78%

*携帯電話位置情報データは推計値のため、コロナ禍前の比率で表示

◆ 生活・余暇活動

つくばセンター地区のイベントは、クラフトビアフェストや、パンまつりなどの恒例イベントの多くが3年ぶりに再開されたほか、つくばまちなかデザインの活動開始もありイベントが活発化し、来場者も2021年度より大幅に増加しました。

つくばセンター地区の文化施設の利用状況は、ノバホールや市民活動センターでは改修工事による影響もありましたが全体的に回復傾向にあり、図書館、美術館利用者はコロナ禍前の8割程度まで回復しています。

屋外活動については、レンタサイクルやキャンプ場の利用者は回復傾向となっているものの、公園来訪者は2021年度より減少傾向が見られます。中央公園においては、周辺の公務員宿舍の廃止等が影響していることが考えられます。

表 2-2 コロナ禍以降の生活・余暇活動関連データの推移(%は2018年度比)

	新型コロナウイルス流行前		流行後		
	2018年度	2020年度	2021年度	2022年度	
つくばセンター地区 イベント来場者数 <small>ベデカフェプロジェクト</small>	93,397人	8,762人 9%	6,479人 7%	72,442人 78%	
中央図書館 貸出冊数	985,064冊	852,781冊 87%	926,129冊 94%	979,135冊 99%	
ノバホール 入場者数	114,363人	13,026人 11%	42,338人 37%	76,291人 67%	
つくば美術館 入館者数 <small>展覧会</small>	55,072人	11,692人 21%	26,819人 49%	42,725人 78%	
公園来訪者数 <small>携帯電話位置情報データ*</small>	100%	中央公園 47% 洞峰公園 75%	41% 67%	36% 65%	

*携帯電話位置情報データは推計値のため、コロナ禍前の比率で表示

◆ 人口・住宅

つくば市内の住宅着工数はコロナ禍に関わらず 2,000~3,000 戸台で推移しており、人口は増加基調が続いています。2020 年度以降、転入超過に転じた東京都との転出入も、数は減少したものの転入者プラスは継続しています。

つくば市内への転入者数は、2020 年度はやや減少したものの、その後はコロナ禍前を上回る勢いで増加しています。2021 年度は国内からの転入増が要因となっていましたが、2022 年度はこれに加え海外からの転入が大きく増加し、外国人数はコロナ禍前を上回る数になりました。つくば市内からの転出者数もコロナ禍前と同程度となり、居住地移動の流動性が戻ってきたことがうかがえます。

一方で、出生率はコロナ禍で落ち込んで以降回復が見られず横ばいとなっています。死亡率も、2022 年度は高齢化等による上昇傾向が見られ、自然増の伸びは低下しています。

つくばセンター地区においてはマンションの供給が続いており、人口が引き続き増加しています。つくば駅周辺の地価は、2020 年度に伸び率が低下したものの、その後は再び高い伸び率で上昇を続けています。

表 2-3 コロナ禍以降の人口・住宅関連データの推移(%は 2018 年度比)

	新型コロナウイルス流行前		流行後		
	2018年度	2020年度	2021年度	2022年度	
つくば市人口	233,807 人	241,809 人	246,541 人	252,202 人	
		103%	105%	108%	
社会増減 *	2,886 人	3,702 人	4,382 人	5,500 人	
		128%	152%	191%	
	転入 16,681 人 転出 13,795 人	-200 人 16,481 人 -1,016 人 12,779 人	+567 人 17,248 人 -929 人 12,866 人	+2,596 人 19,277 人 -18 人 13,777 人	
海外との転出入 *	+610 人	+58 人	+87 人	+1,947 人	
		10%	14%	319%	
東京都との転出入 *	-341 人	+337 人	+727 人	+401 人	
		299%	413%	318%	
出生率 *	9.7%	9.2%	9.1%	9.1%	
つくば駅周辺 住宅地地価	19.9 万円/m ²	21.0 万円/m ²	22.0 万円/m ²	23.1 万円/m ²	
		106%	111%	116%	

* 年次集計データ

◆ 産業・経済

つくば駅周辺では、2017年度に閉店したクレオが2021年度にリニューアルオープンし、商業施設の来客数や売上高は引き続き上昇傾向にあります。

つくば市の法人市民税収入も2020年度に大きく落ち込みましたが、2021年度より回復傾向が見られ、2022年度にはコロナ禍前を上回る水準に達しており、産業・経済の回復がうかがえます。一方でつくば市内の企業の休廃業等は増加しており、必ずしも順調に回復しているとは言い切れない面もあります。

つくば駅周辺のオフィスエリアの来訪者数は、行動制限のなくなった2022年度もコロナの流行期には減少する傾向が見られましたが、全体的には回復傾向にあり、2022年度はほぼコロナ禍前の水準に回復しました。

つくば市全体の観光客数は、コロナ禍前の7割程度の回復となっていますが、水際対策が緩和された10月以降は、筑波山の観光シーズンにも重なり、コロナ禍前と同程度まで回復しています。つくば駅周辺の宿泊者数も、コロナ禍前の7割程度に回復しており、人々の往来が活発化していることがうかがえます。

表 2-4 コロナ禍以降の産業・経済関連データの推移(%は2018年度比)

	新型コロナウイルス流行前		流行後		
	2018年度	2020年度	2021年度	2022年度	
つくば駅周辺 商業施設来客数	443万人	282万人 64%	475万人 107%	561万人 127%	
つくば市 観光客数	筑波山 269万人	197万人 73%	177万人 66%	211万人 78%	
	その他 180万人	38万人 21%	62万人 34%	102万人 57%	
つくば駅周辺 宿泊者数	195,419人	119,196人 61%	104,533人 53%	145,521人 74%	
つくば市 法人市民税収	42億円	35億円 83%	39億円 93%	48億円 114%	
つくば駅周辺 オフィス来訪者数	2019年度* 100%	90%	93%	98%	携帯電話位置情報データ*

*オフィス来訪者数は2019年度比。携帯電話位置情報データは推計値のため、コロナ禍前の比率で表示。

◆ 研究・教育

つくば国際会議場における国際会議参加者数は、2020 年度、2021 年度はコロナ禍により大幅な減少が見られましたが、2022 年度はコロナ禍前と同程度の水準まで回復しました。ただし、海外からの会議参加者はコロナ禍前よりやや少ない数に留まっています。

研究発表や研究関連イベントについては、2021 年度より引続き回復傾向にあります。7~8割の回復に留まっています。一方で、研究関連イベントの会場開催の件数は大きく増加しました。

海外からの留学生や研究員の受入についても入国制限の緩和に伴い大きく回復し、筑波大学の留学生数はコロナ禍前と同程度、産業技術総合研究所の外国人受入数は8割程度となりました。筑波大学から海外への留学も大きく増加しており、海外との往来が活発化していることがうかがえます。

つくばサイエンスツアーやつくばちびっ子博士などの一般向けの科学イベントは、回復傾向にはあるもののコロナ禍前に比べると低い水準に留まっています。

表 2-5 コロナ禍以降の研究・教育関連データの推移(%は 2018 年度比)

	2018年度	2020年度	2021年度	2022年度
国際会議参加者	16,734人 つくば国際会議場	380人 2%	2,620人 16%	17,090人 102%
筑波大学留学生数	2,457人 5月時点	2,174人 88%	2,226人 91%	2,399人 98%
産業技術総合研究所外国人受入数	820人	513人 63%	429人 52%	654人 80%
産業技術総合研究所研究発表数	14,147件	8,871件 63%	10,087件 71%	10,789件 76%
つくばサイエンスツアー研究機関等見学者数	933,683人	206,510人 22%	350,136人 38%	701,603人 75%
研究関連イベント数*	2019年度* 356件 うちオンライン利用1件	198件 187件 56%	248件 235件 70%	263件 205件 74%

*研究関連イベント数は、TCI ホームページ掲載イベントで 2019 年度比

3. 分野別調査データ

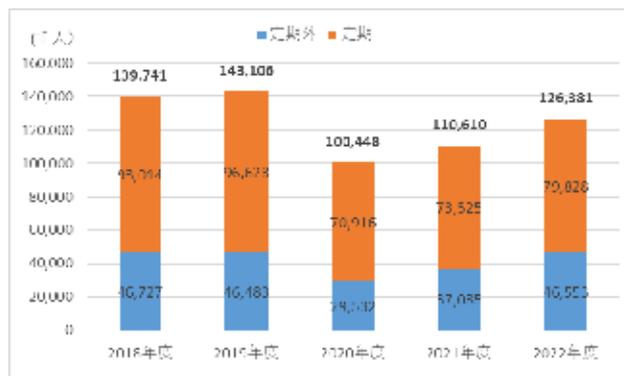
3-1 人流

(1) 鉄道



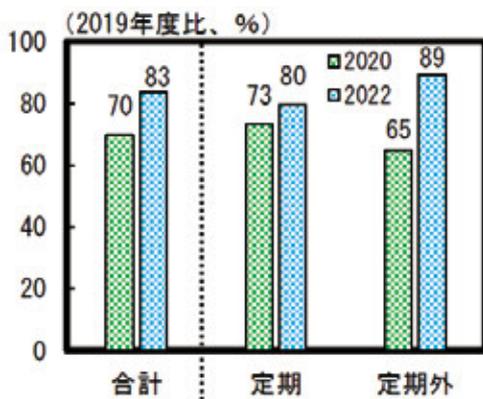
出典:首都圏新都市鉄道(株)資料より作成

図 3-1-1 つくばエクスプレス一日平均乗車人員の推移(沿線計・つくば駅・研究学園駅)



出典:首都圏新都市鉄道(株)資料より作成

図 3-1-2 つくばエクスプレス輸送人員



備考)日本民営鉄道協会公表資料により作成

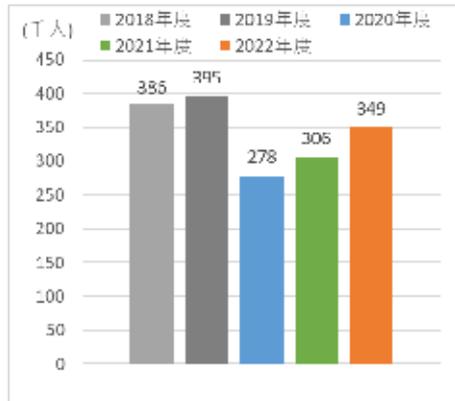


備考)JR東日本公表資料により作成

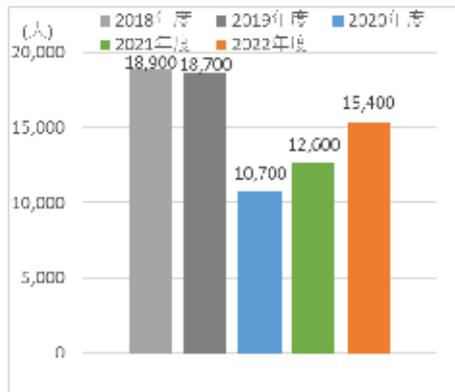
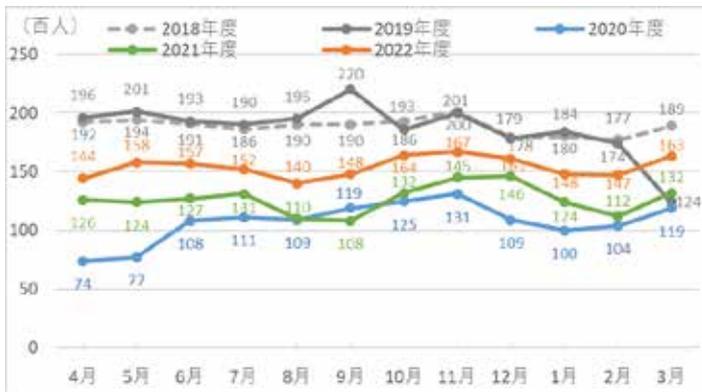
図 3-1-3 (参考)大手民鉄 16 社における輸送人員 図 3-1-4 (参考)JR東日本の定期券・定期券外収入の推移

出典:内閣府 マンスリー・トピックス NO.73「コロナ禍後におけるテレワークとサービス消費について」R5.7.28

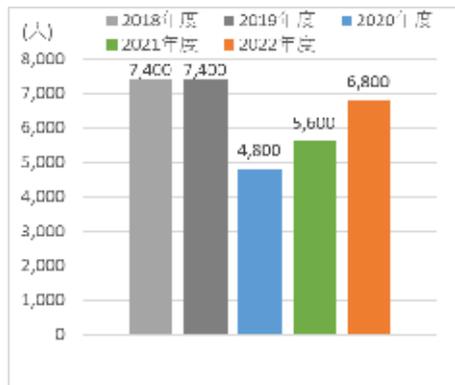
【つくばエクスプレス沿線合計】



【つくば駅】



【研究学園駅】



出典：首都圏新都市鉄道(株)資料を基に作成

図 3-1-5 つくばエクスプレス 一日平均乗車人員

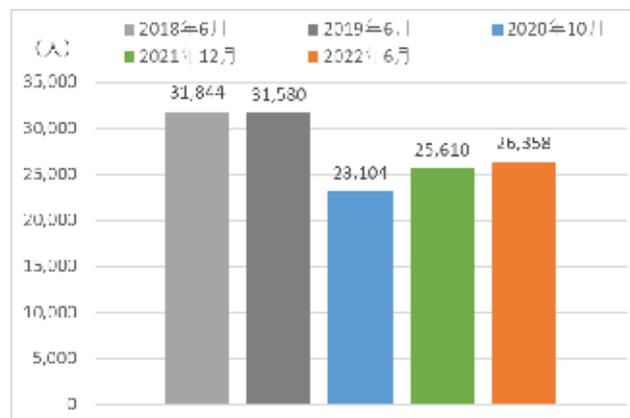
(2) バス

1) 路線バス

つくば市内の路線バスの利用動向について、以下の平日乗降客数データ（関東鉄道(株)提供）により把握を行いました。

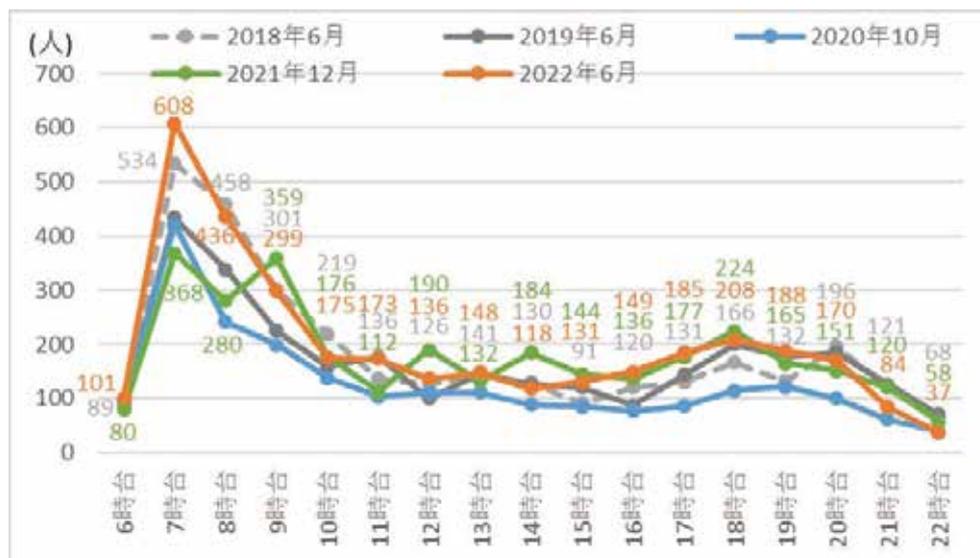
表 3-1-1 調査概要

対象	関東鉄道の市内運行バス路線
調査日	2018年6月14日(木) 2019年6月13日(木) 2020年10月29日(木) 2021年12月22日(水) 2022年6月20日(月)



出典:関東鉄道(株)資料を基に作成

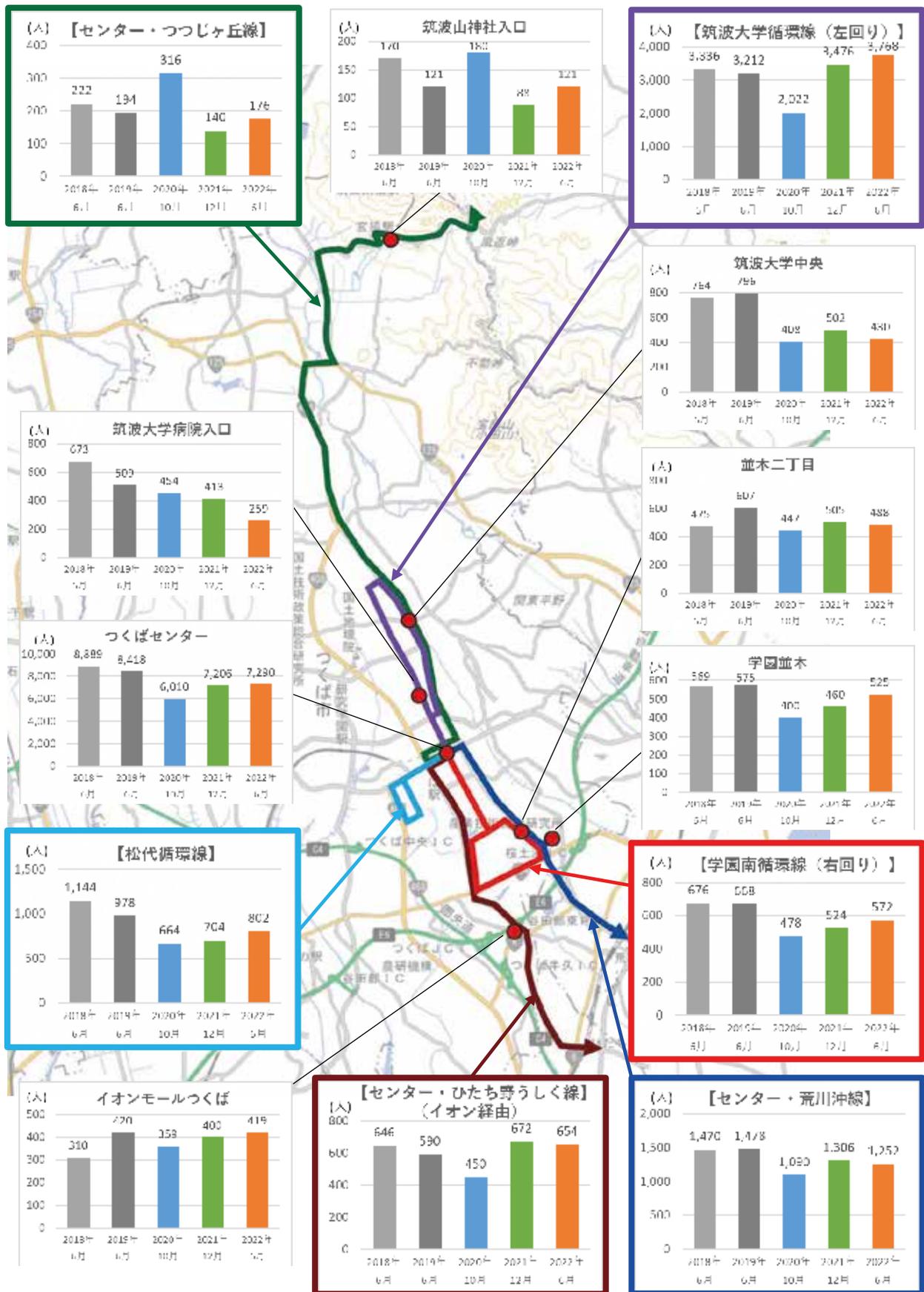
図 3-1-6 つくば市内路線バス一日乗降客数(関東鉄道運行路線)



※つくばセンター始発バスのみ集計。年により運行本数や運行経路に変動がある。

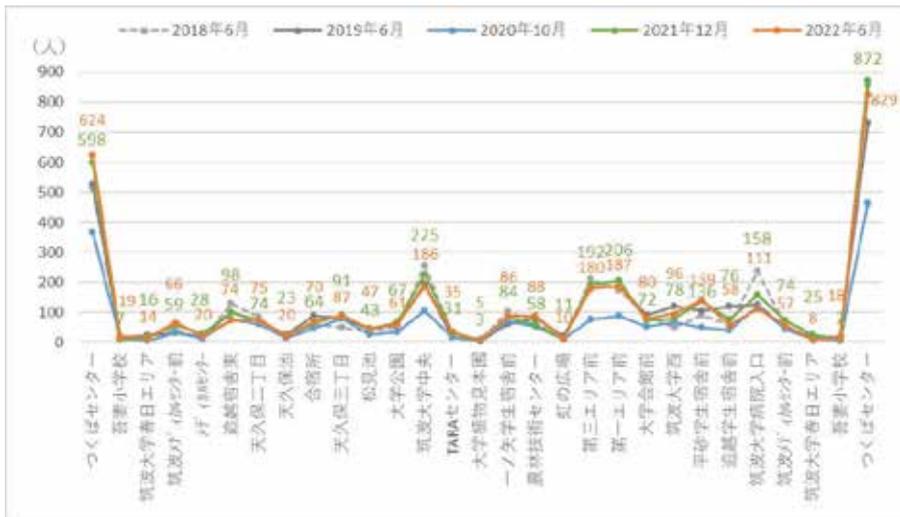
出典:関東鉄道(株)資料を基に作成

図 3-1-7 (参考)つくばセンター停留所 時間帯別乗車人数

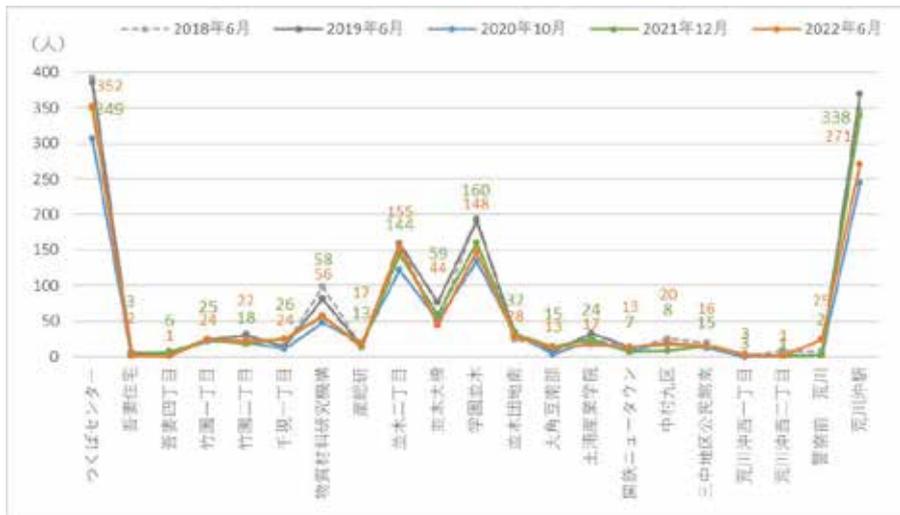


地理院地図(電子国土WEB)を一部加工し、関東鉄道(株)資料を基に作成
 図 3-1-8 つくば市内の主なバス路線及び停留所の乗降客数

【筑波大学循環線(左回り)】



【つくばセンター・荒川沖線】

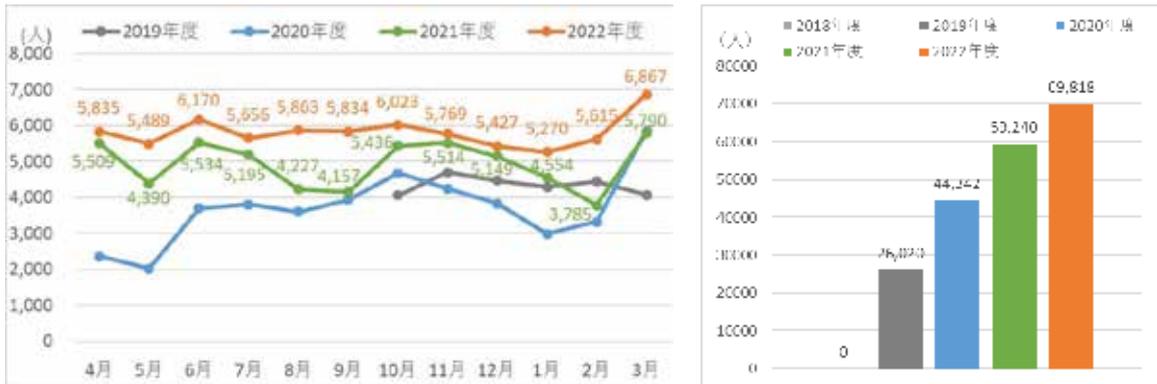


※つくばセンター発荒川沖駅着運行便の合計

出典:関東鉄道(株)資料を基に作成

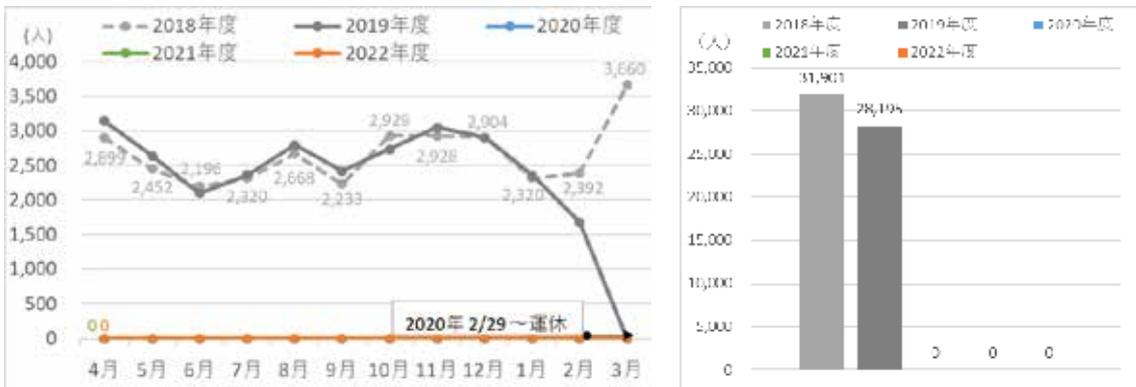
図 3-1-9 主要バス路線の停留所別乗降客数

【水戸ー土浦・つくば】



※2020年10月より茨城県の社会実験により平日2往復から平日8往復、土休日4往復に増便

【土浦・つくばー東京ディズニーリゾート・東京レポート駅】



【水戸・赤塚・石岡・つくばー東京ディズニーリゾート】



※「水戸・赤塚・石岡～東京ディズニーリゾート」線は2020年8月より運転再開。同年9月16日より、つくばセンター経由に運行ルートを変更。

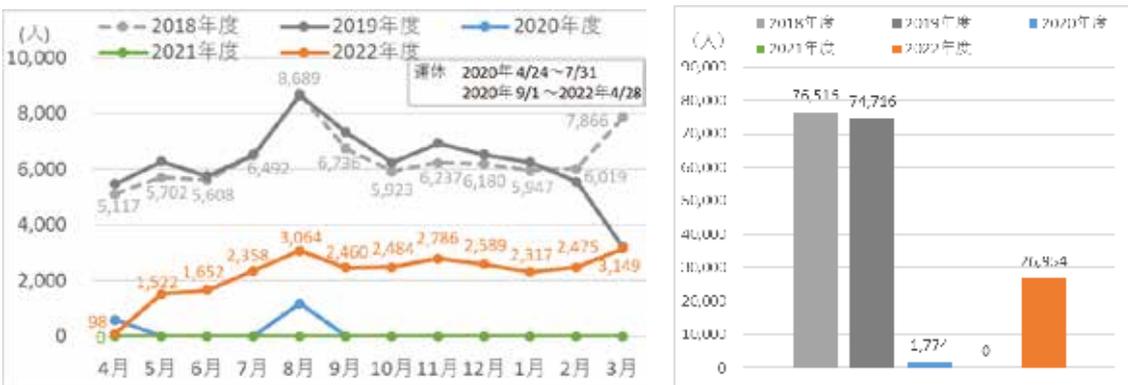
出典：関東鉄道(株)資料を基に作成

図 3-1-12 高速バス月別乗車人員の推移②

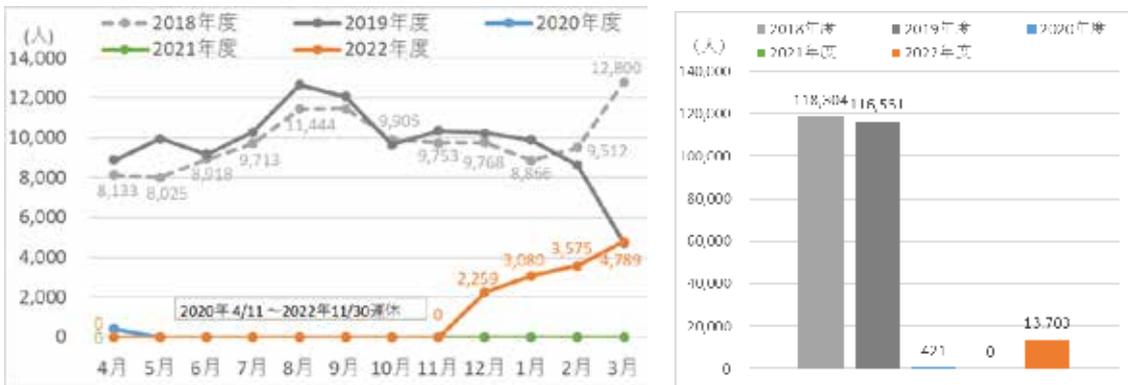
【水戸・土浦・つくばー京都・大阪】



【つくばー羽田空港】



【土浦・つくばー成田空港】



【茨城空港ーつくば】



出典: 関東鉄道(株)資料を基に作成

図 3-1-13 高速バス月別乗車人員の推移③

(3) 駐車場



図 3-1-14 つくば都市交通センター管理・運営駐車場位置図

1) 利用台数

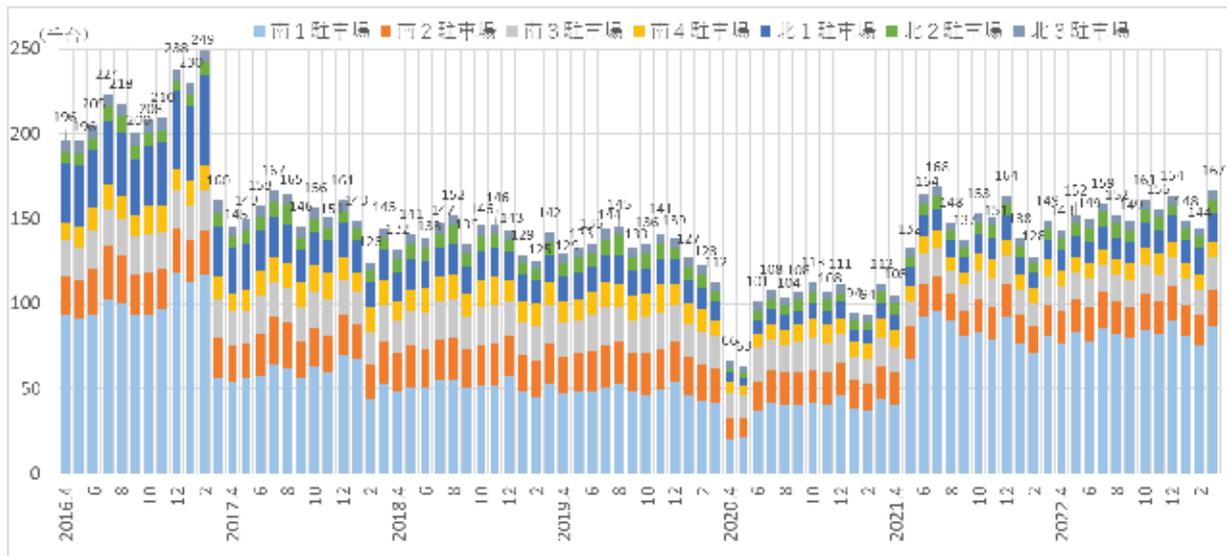


図 3-1-15 月別駐車場利用台数の推移



図 3-1-16 年度別駐車場利用台数の推移

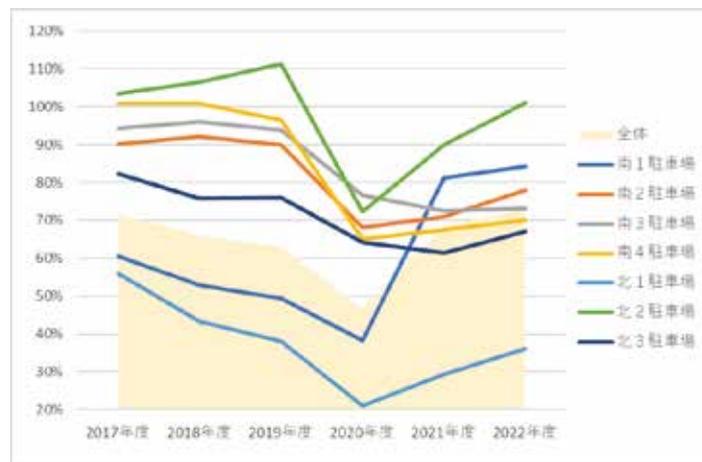
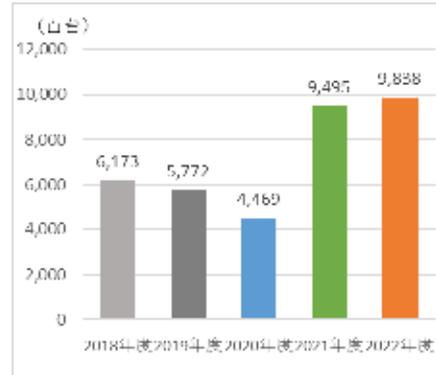


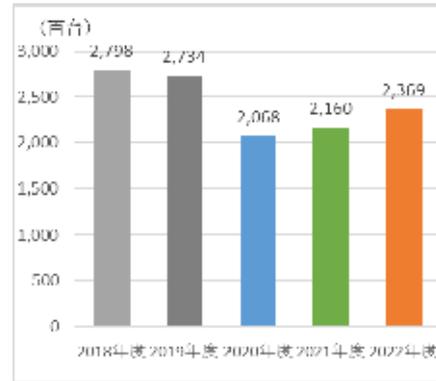
図 3-1-17 駐車場別利用率の推移(2016 年度比)

出典:(一財)つくば都市交通センター資料を基に作成

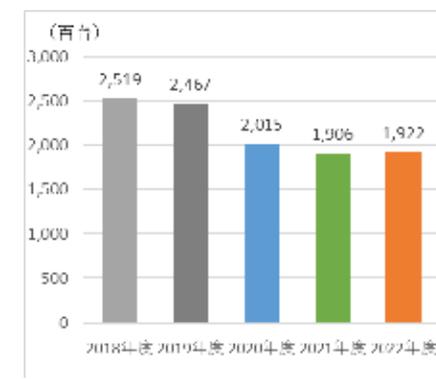
【南1 駐車場】



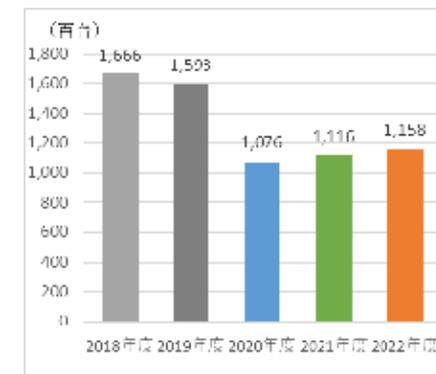
【南2 駐車場】



【南3 駐車場】



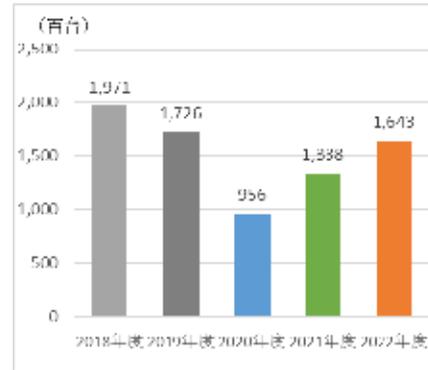
【南4 駐車場】



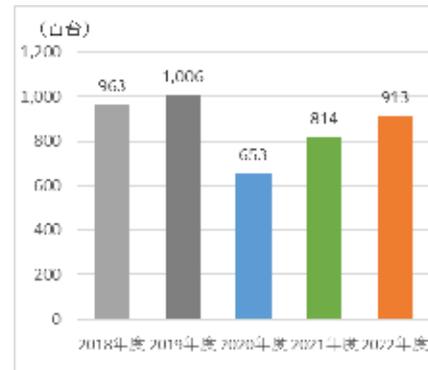
出典: (一財)つくば都市交通センター資料を基に作成

図 3-1-18 駐車場別利用台数の推移①(左:月別 右:年度別)

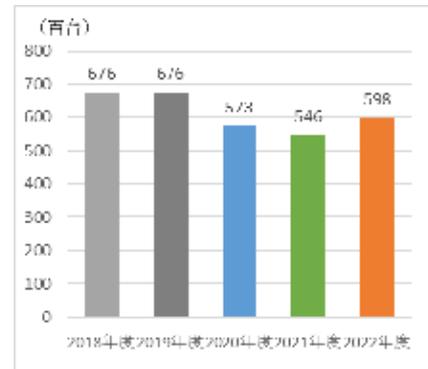
【北1駐車場】



【北2駐車場】



【北3駐車場】



出典: (一財)つくば都市交通センター資料を基に作成

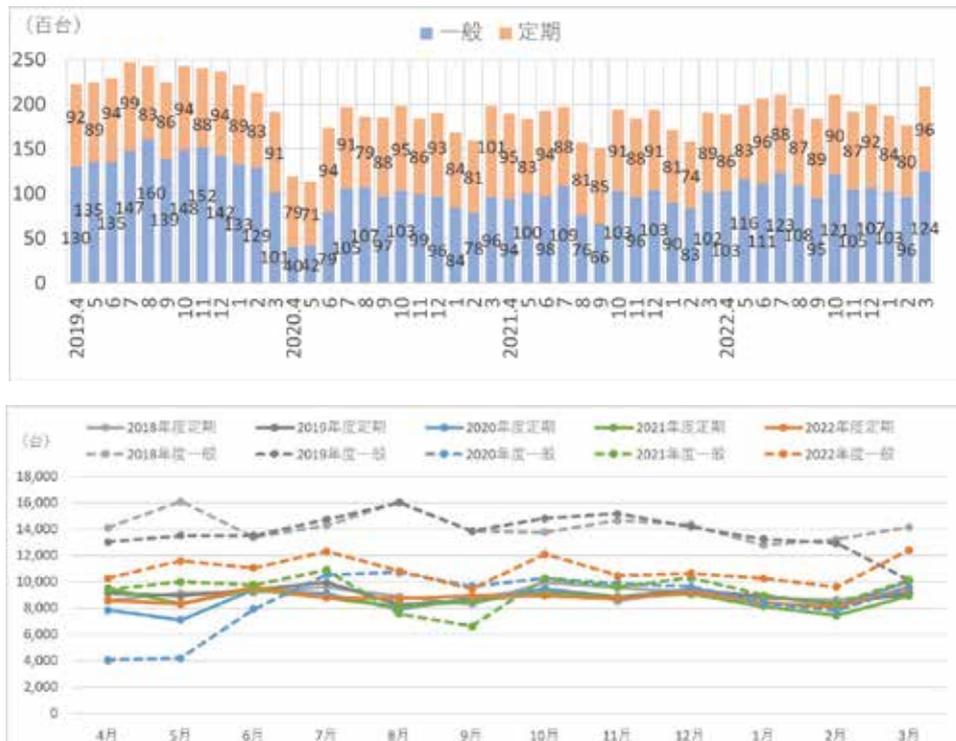
図 3-1-19 駐車場別利用台数の推移②(左:月別 右:年度別)

2) 利用形態

【南1駐車場】



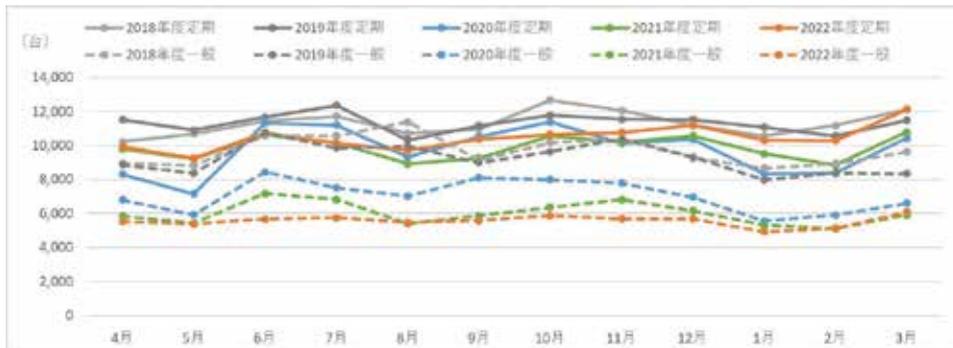
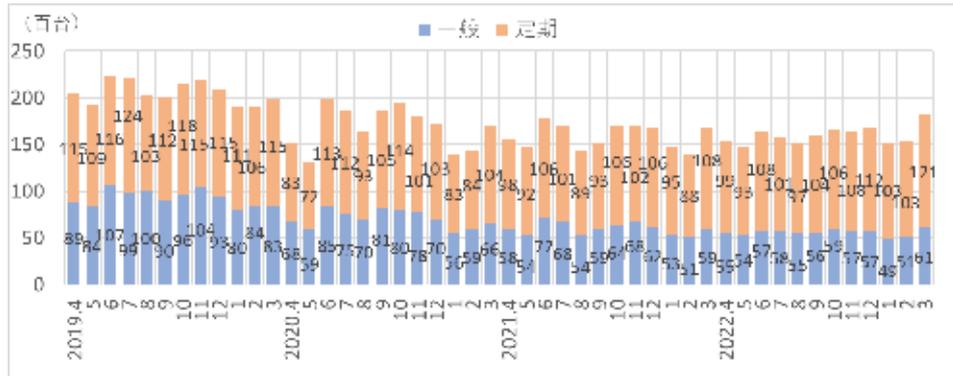
【南2駐車場】



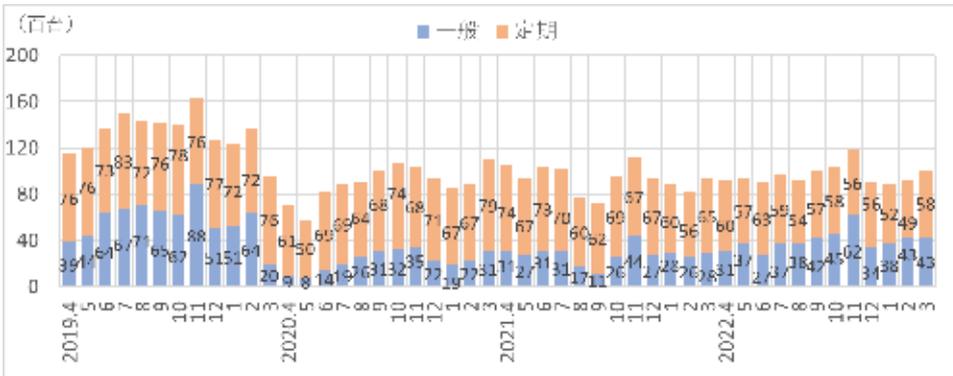
出典: (一財)つくば都市交通センター資料を基に作成

図 3-1-20 利用形態別駐車場利用台数の推移①

【南3駐車場】



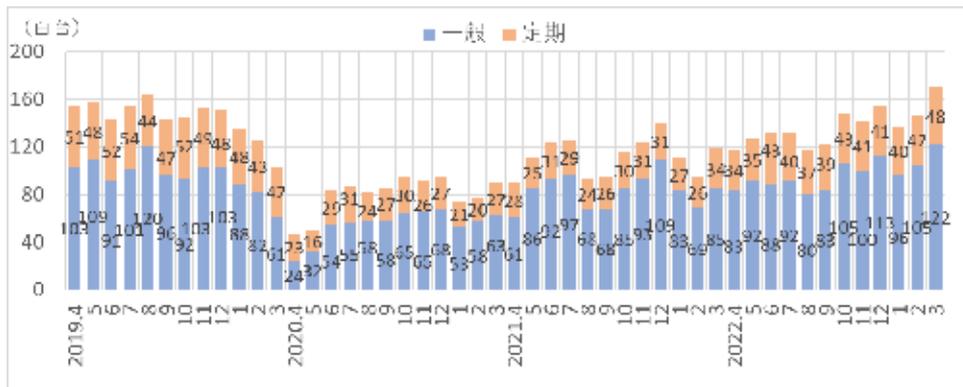
【南4駐車場】



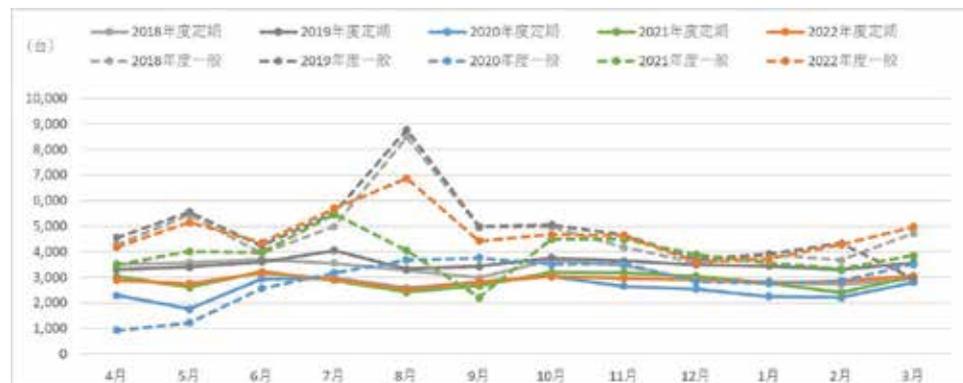
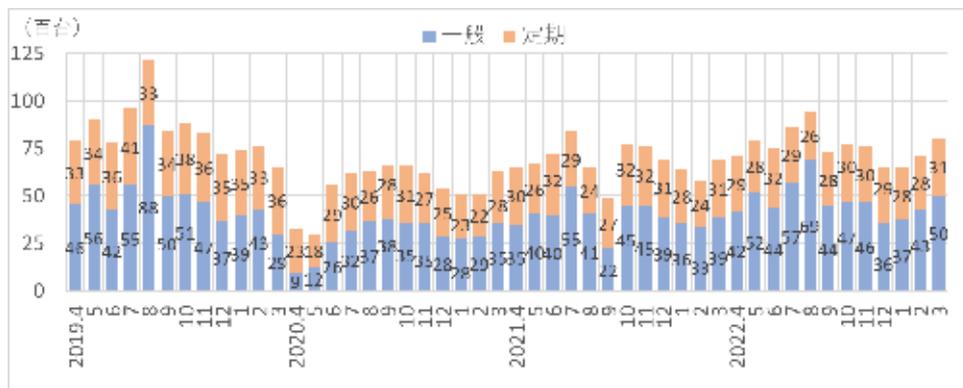
出典: (一財)つくば都市交通センター資料を基に作成

図 3-1-21 利用形態別駐車場利用台数の推移②

【北1駐車場】



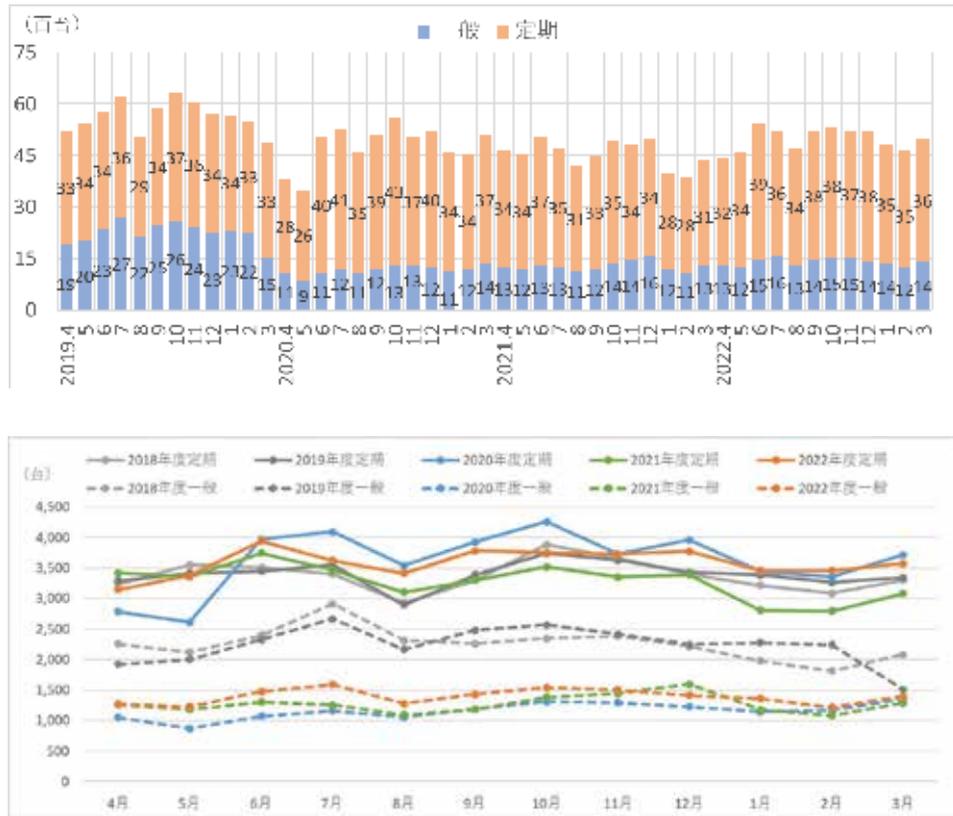
【北2駐車場】



出典：(一財)つくば都市交通センター資料を基に作成

図 3-1-22 利用形態別駐車場利用台数の推移③

【北3駐車場】

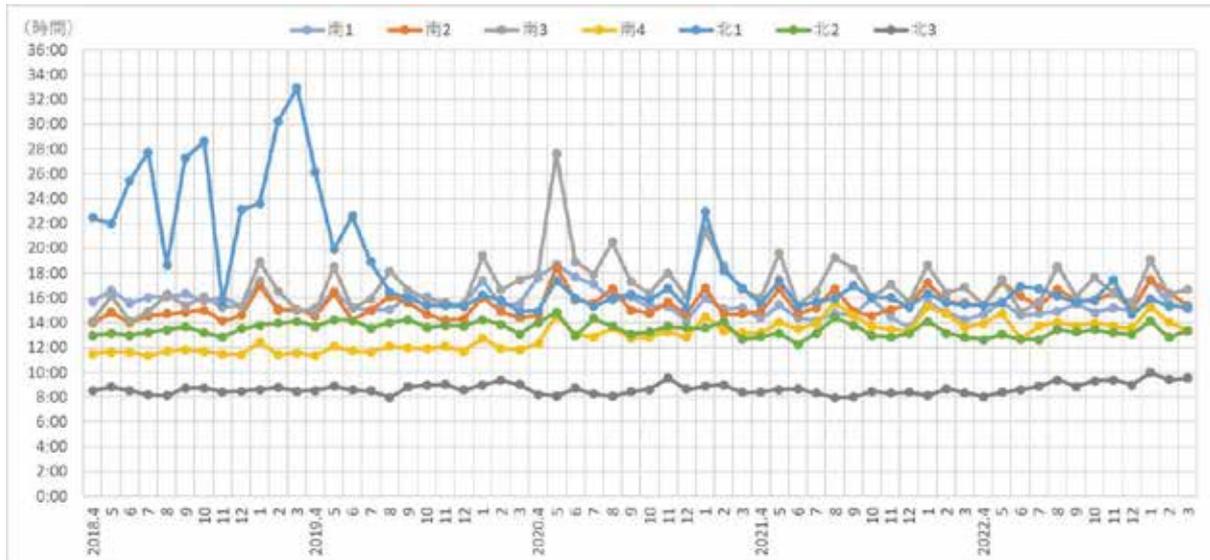


出典：(一財)つくば都市交通センター資料を基に作成

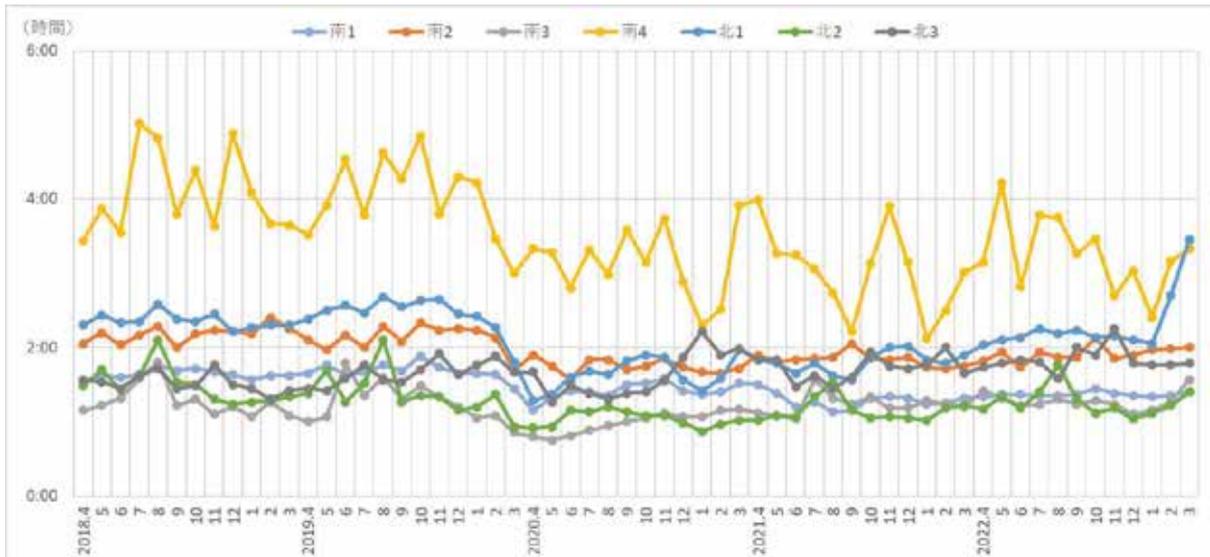
図 3-1-23 利用形態別駐車場利用台数の推移④

3) 駐車時間

【定期利用】



【一般利用】



出典:(一財)つくば都市交通センター資料を基に作成

図 3-1-24 月別平均駐車時間の推移

【南1駐車場】



【南2駐車場】



【南3駐車場】



【南4駐車場】



【北1駐車場】



【北2駐車場】



【北3駐車場】



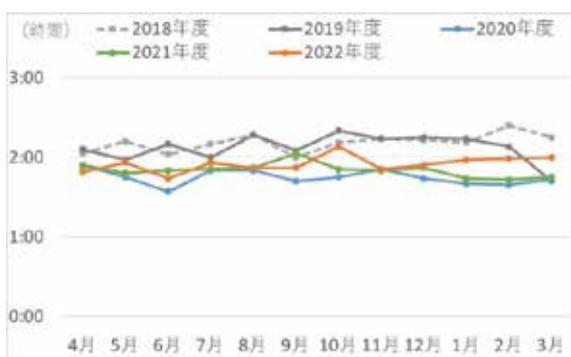
出典：(一財)つくば都市交通センター資料を基に作成

図 3-1-25 月別平均駐車時間の推移(定期利用)

【南1駐車場】



【南2駐車場】



【南3駐車場】



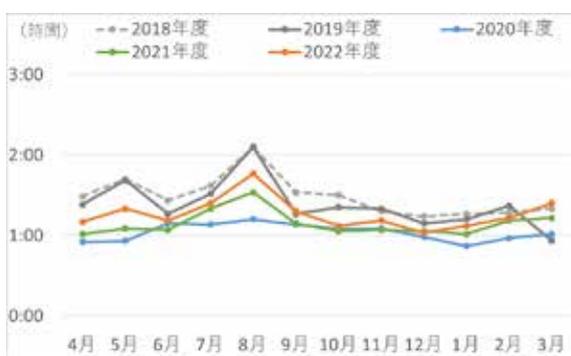
【南4駐車場】



【北1駐車場】



【北2駐車場】



【北3駐車場】



出典：(一財)つくば都市交通センター資料

図 3-1-26 月別平均駐車時間の推移(一般利用)

(4) 駐輪場



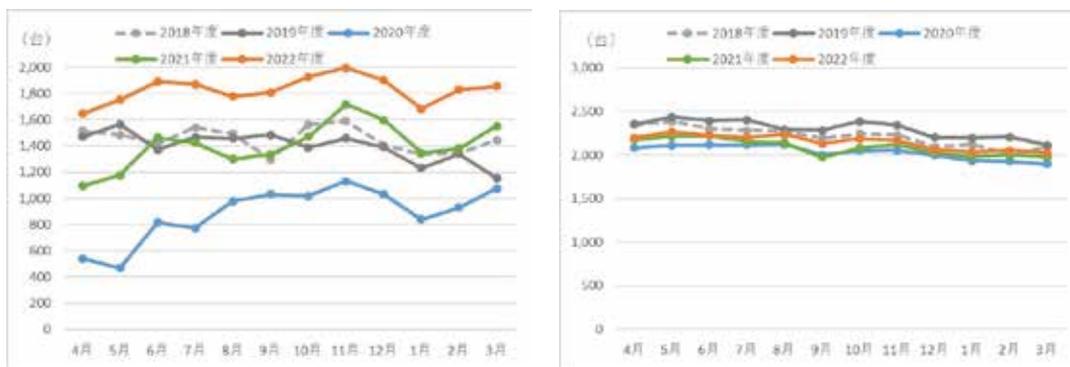
図 3-1-27 つくば駅周辺駐輪場 一日平均利用台数の推移(定期・一時利用)



図 3-1-28 つくば駅周辺駐輪場(一時利用)一日平均利用台数の推移(有料・無料)

【一時利用】

【定期利用】



※原付、自動二輪を除く。定期利用台数は定期契約数

図 3-1-29 つくば駅周辺駐輪場 月別一日平均利用台数

出典:つくば市公園・施設課資料、(株)エスコプロパティ、(一財)つくば都市交通センター資料を基に作成

表 3-1-2 つくば駅周辺駐輪場の概要

	駐輪場名	一時利用			定期利用		備考
		収容台数	利用料金	無料時間	収容台数	利用料金 (一般利用者)	
市営	つくば駅中央 [第1区画]	150台	100円/回・日		770台	1,280円/月～ 1,600円/月	利用時間：6時～24時 (土日祝日～22時)
	つくば駅中央 [第2区画]	58台	150円/24時間				
	つくば駅中央 [第3区画]	88台	150円/24時間				
	駅西				121台	2,130円/月	
	つくば駅A5南路上	60台	150円/24時間				
	つくば駅北1				293台	2,130円/月	
	つくば駅北2				305台	2,130円/月	
	つくば中央公園東	39台	150円/24時間	2時間以内無料			
	つくば中央図書館西	162台	150円/24時間	2時間以内無料			
	つくば中央図書館南	50台	150円/24時間	図書館・美術館利用者は終日無料			
	さくら大橋南	117台	150円/24時間*				*2020/6/1～ (それ以前は無料)
	さくら大橋北				309台	2,130円/月	
	センター広場東1				55台	2,130円/月	
	センター広場東2	44台	150円/24時間	2時間以内無料			
つくば駅前広場	96台	150円/24時間					
つくば駅前広場南	42台	150円/24時間		500台	2,130円/月		
財団	つくば都市交通センター				126台	2,120円/月	
民営	A B	155台	100円/20時間	3時間以内無料			2018/2/26～ 2021/5/18まで休止
	C	128台	100円/5時間*				*2021/5/19～ (それ以前は20時間)
	D	176台	100円/20時間				2階
	E	189台	150円/10時間				1階
	F	78台	200円/10時間				

※原付、自動二輪を除く

出典：つくば市 HP(公園・施設課)、(株)エスコプロパティ資料を基に作成



地理院地図(電子国土WEB)を一部加工し作成

図 3-1-30 つくば駅周辺駐輪場位置図

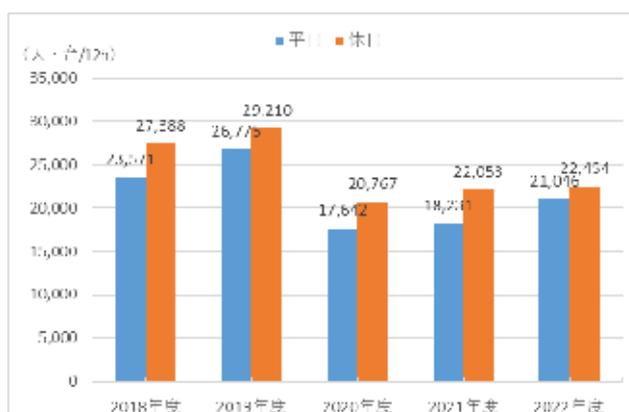
(5) 歩行者交通量

つくば駅周辺の歩行者等交通量を、(一財)つくば都市交通センターが毎年実施している「つくば中心市街地 歩行者・自転車交通量調査」より把握しました。

表 3-1-3 つくば中心市街地歩行者・自転車交通量調査概要

調査日:2018年10月25日(木) 2018年11月3日(土)
2019年10月31日(木) 2019年10月26日(土)
2020年10月29日(木) 2020年10月31日(土)
2021年11月11日(木) 2021年11月6日(土)
2022年10月27日(木) 2022年10月29日(土)
調査時間:7時~19時(12時間) ※2021年度は10時~16時(6時間)
調査地点:つくば駅周辺において2018年度は8地点、2019年度と2020年度は9地点、 2021年度と2022年は10地点調査
調査主体:一般財団法人つくば都市交通センター

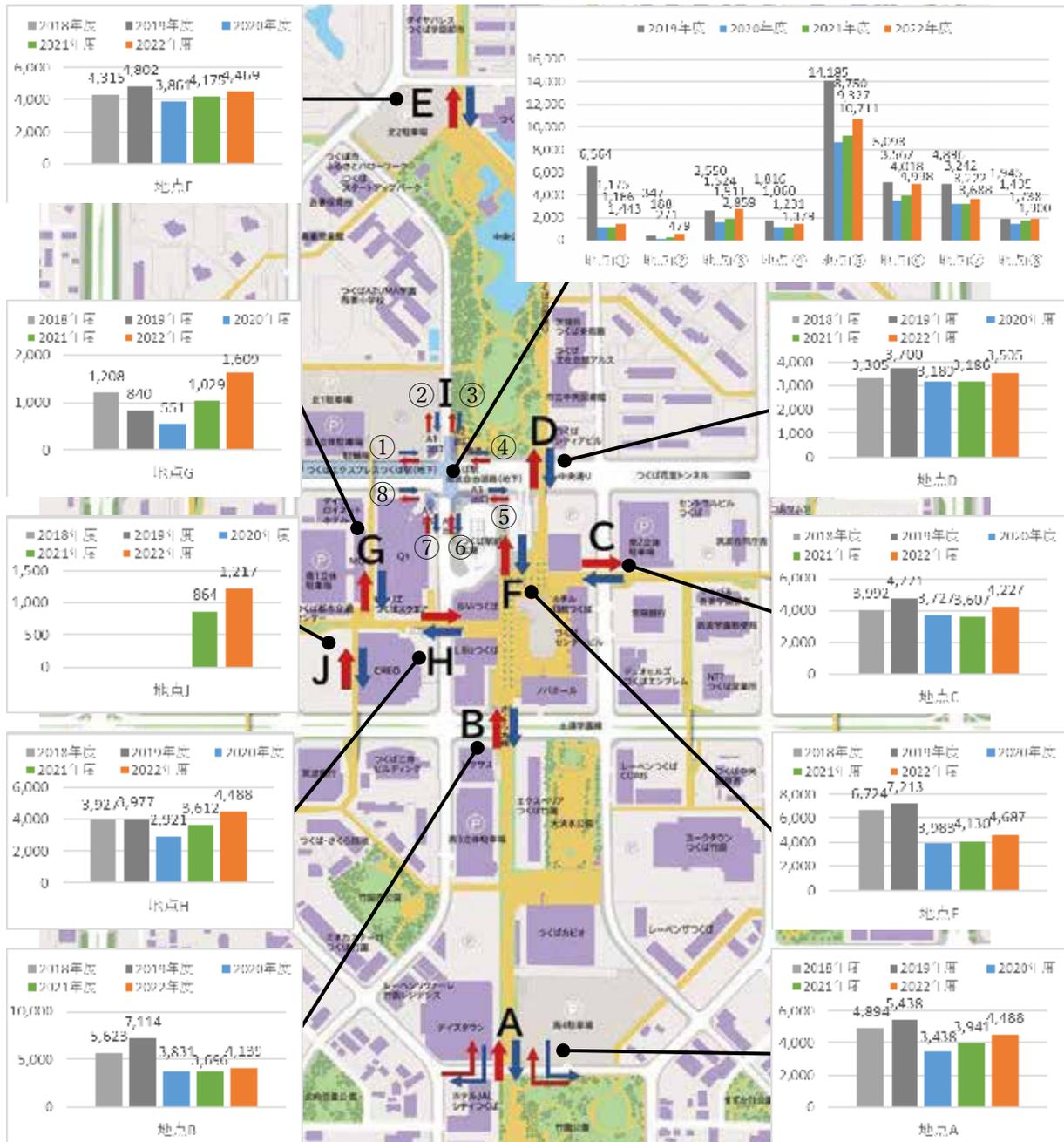
1) 平日・休日通行量



※センター広場周辺の地点 B、地点 C、地点 D、地点 F、地点 H の合計

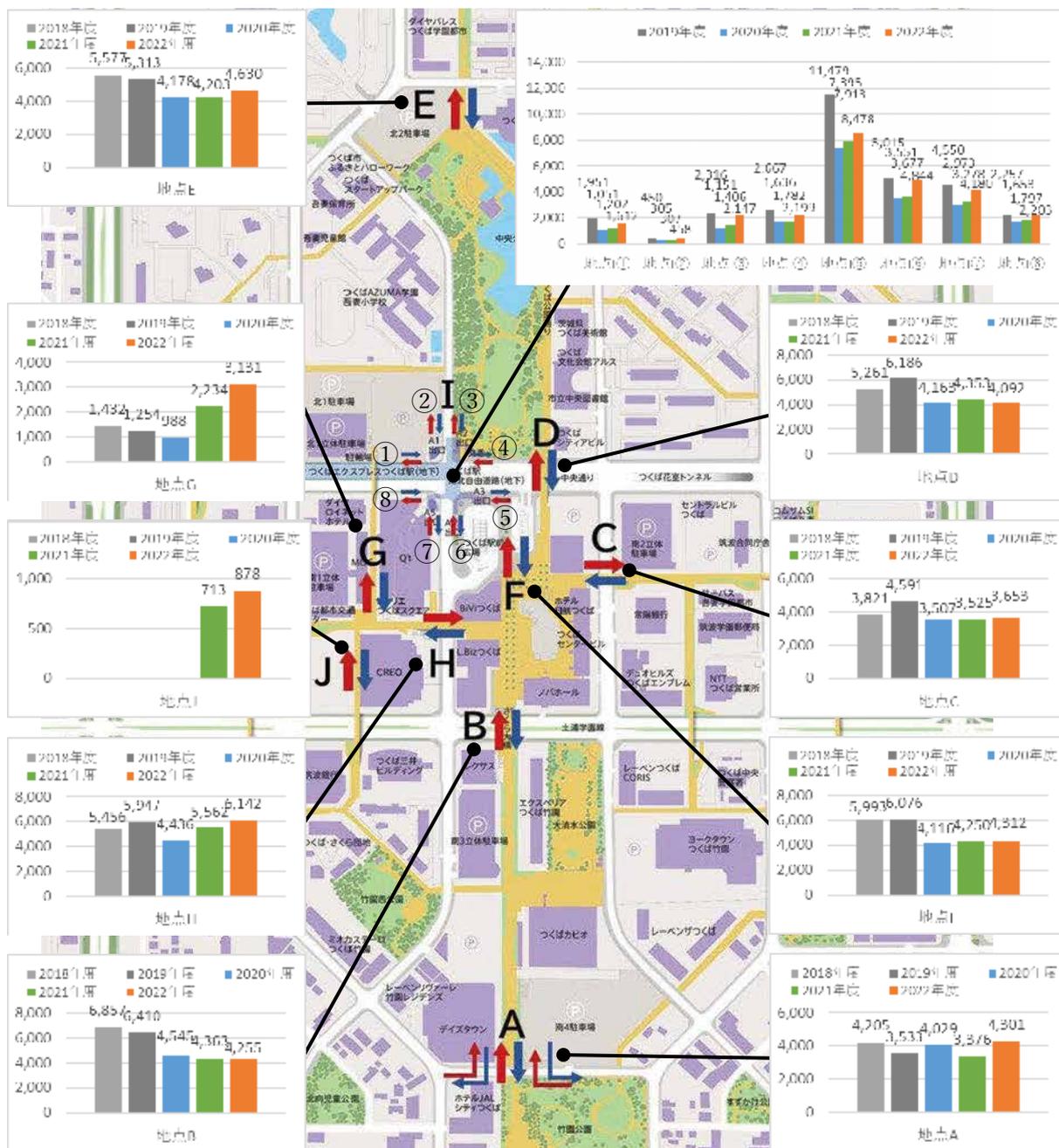
出典:(一財)つくば都市交通センター「つくば中心市街地 歩行者・自転車交通量調査」

図 3-1-31 つくばセンター広場周辺平日・休日通行量



単位:人

出典:(一財)つくば都市交通センター「つくば中心市街地 歩行者・自転車交通量調査」
 図 3-1-32 つくばセンター地区歩行者・自転車通行量(平日)

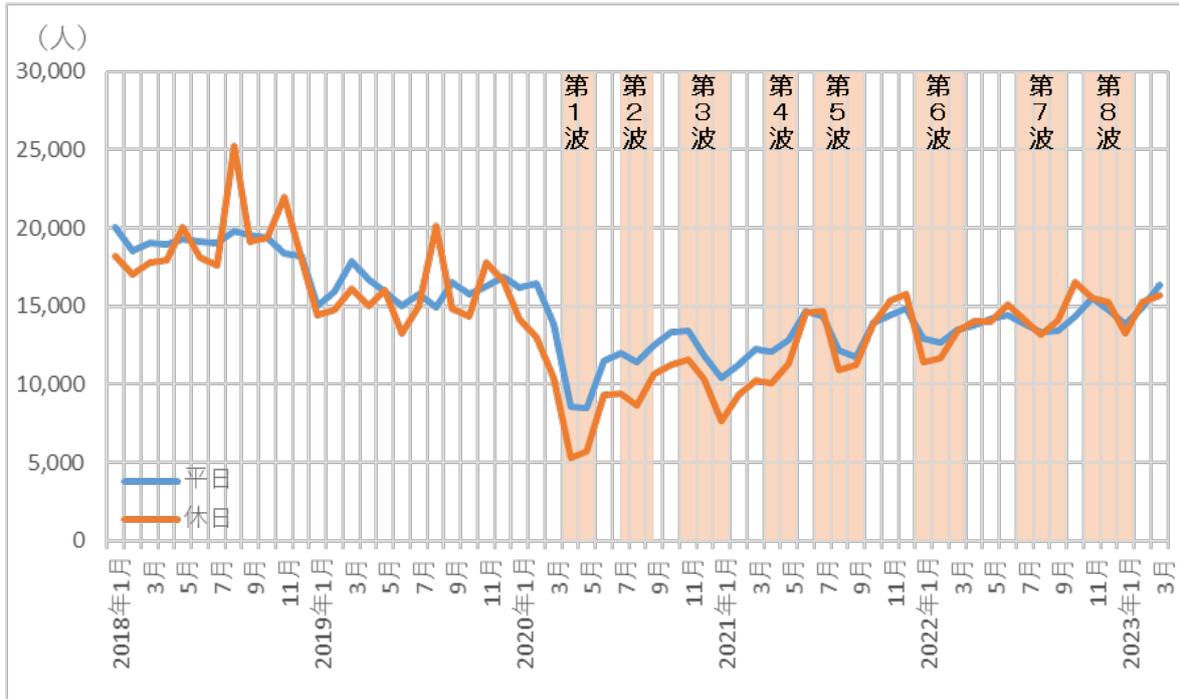


単位:人

出典:(一財)つくば都市交通センター「つくば中心市街地 歩行者・自転車交通量調査」

図 3-1-33 センター地区歩行者・自転車通行量(休日)

【参考】スマートフォン位置情報による来訪者数
つくばセンター広場、及びトナリエつくばスクエアを含む右図のエリアを通過・滞在した人口（推計人口）

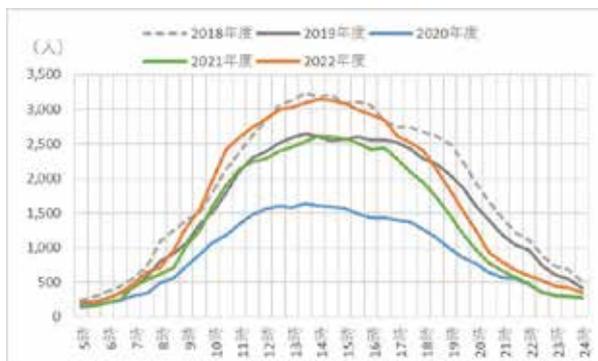


*スマートフォン位置情報による拡大推計値

図 3-1-34 (参考)つくば駅周辺来訪者数の推移

【平日】

【土日祝日】



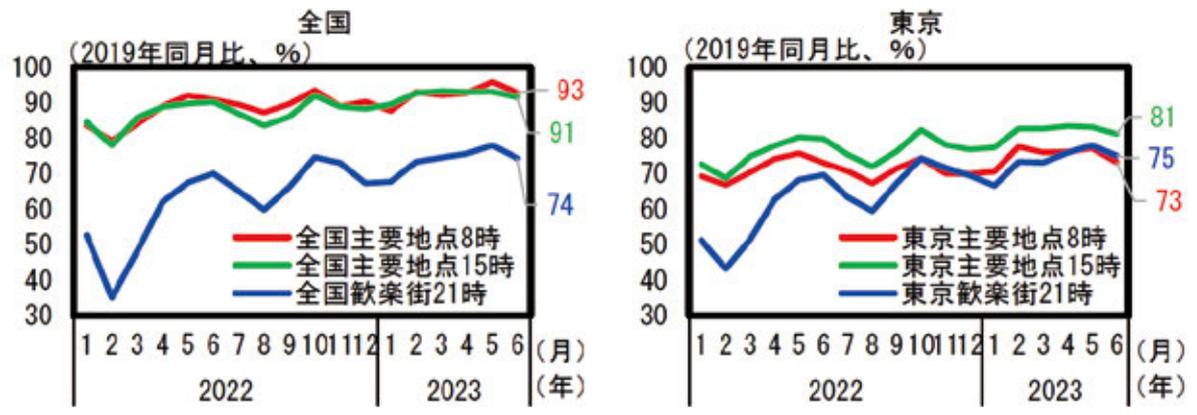
*スマートフォン位置情報による拡大推計値

図 3-1-35 (参考)時間帯別つくば駅周辺来訪者数の推移(推計値)

出典: 技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」

(au スマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計)

【参考】コロナ禍以降の全国の人流の動向



*NTTドコモ・ドコモインサイトマーケティング社「モバイル空間統計」により作成
 出典:「コロナ禍後におけるテレワークとサービス消費について」令和5年7月28日/内閣府 マンスリー・トピックス NO.73

図 3-1-36 全国及び都内の人流の動向

3-2 生活・余暇活動

(1) イベント開催状況

表 3-2-1 つくばセンター地区における主なイベントの開催状況

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
4月					新酒を唄く会 北欧と雑貨と花市場
5月	つくばフェスティバル ストリートサンデー祭り	つくばフェスティバル つくばパンまつり		音の宝箱	音の宝箱 Village Market Tsukuba ソトカフェライブ（和太鼓パフォーマンス）
6月	市民活動フェスタ	市民活動フェスタ		梅雨空アート（～7月）	ソトカフェライブ（和太鼓パフォーマンス） 小児がん支援のためのチャリティーマルシェ インドネシア日本友好祭 平砂アートムーヴメント
7月	つくばクラフトビアフェスト 世界のつくばで盆おどり	世界のつくばで盆おどり		つくまちアート（～8月）	ソトカフェライブ（和太鼓パフォーマンス） SORA sta,ダンスフェスティバル つくばクラフトビアフェスト つくばセンター広場Engiライブ
8月	まつりつくば 打ち水遊びで夕涼み	まつりつくば 打ち水遊びで夕涼み			
9月	プレミアムビールとうまいもの祭り インドネシアウィーク	プレミアムビールとうまいもの祭り	プレミアムビールとうまいもの祭り インスタレーションアートシリーズ kachofugetu「heart(o)」	【中止】プレミアムビールとうまいもの祭り	プレミアムビールとうまいもの祭り
10月	あまスタ縁日 食と酒東北祭り つくばハロウィン	つくばクラフトビアフェスト あまスタ縁日 食と酒東北祭り つくば国際アーティストインレジデンス	和太鼓チーム土鼓 フィンランガンでのイベント	音の宝箱 【中止】つくばクラフトビアフェスト	平砂アートムーヴメント がんロコモチャレンジいばらき みんなでENJOY つくばパンまつり
11月	音の宝箱 コーヒーフェスティバル ワンダーフェスティバル with つくすた 縁日	音の宝箱 コーヒーフェスティバル	音の宝箱 コーヒーフェスティバル（web開催） 【中止】つくボド（ボードゲーム） 【中止】和太鼓チーム土鼓		つくばオースまつり We love つくば！ 食と酒東北祭り
12月	世界のうまいもんをつくばで 冬のイルミネーション 一本からのクリスマス ランタンアート	世界のうまいもんをつくばで 冬のイルミネーション 一本からのクリスマス ランタンアート	冬のイルミネーション つくばクリスマスマーケット 寿ちんどん宣伝社（街頭紙芝居） 【中止】ランタンアート	冬のイルミネーション 学生ひろば美術館 クリスマスタウン シンアイアイモールを考える 【中止】ランタンアート	冬のイルミネーション カラフルマルシェ ランタンアート
1月					
2月	梅に願いを	梅に願いを 筑波山梅まつり	【中止】梅に願いを	【中止】小児がんチャリティーマルシェ	
3月	ふるさとつくばゆいまつり	【中止】ふるさとつくばゆいまつり	【中止】あまスタ縁日（荒天）	ダンスフェス 【中止】つくばクラフトビアフェスト	SORA sta,ダンスフェスティバル
通年開催	ストリートサンデー （毎月第3日曜日）	ストリートサンデー （毎月第3日曜日）	つくばセンターマルシェ （4～5月中止） ソトカフェ（9月～） 【中止】ストリートサンデー （毎月第3日曜日）	ソトカフェ	つくばセンターマルシェ

出典：2018年度～2021年度 つくばセンター地区活性化協議会資料を基に作成

2022年度 つくば市学園地区市街地振興課 つくばペデカフェプロジェクト資料を基に作成



※通年開催のマルシェ(出店)は含まない

※出店中止期間

2020年度:4/4~6/7、11/28~12/14、1/8~2/22

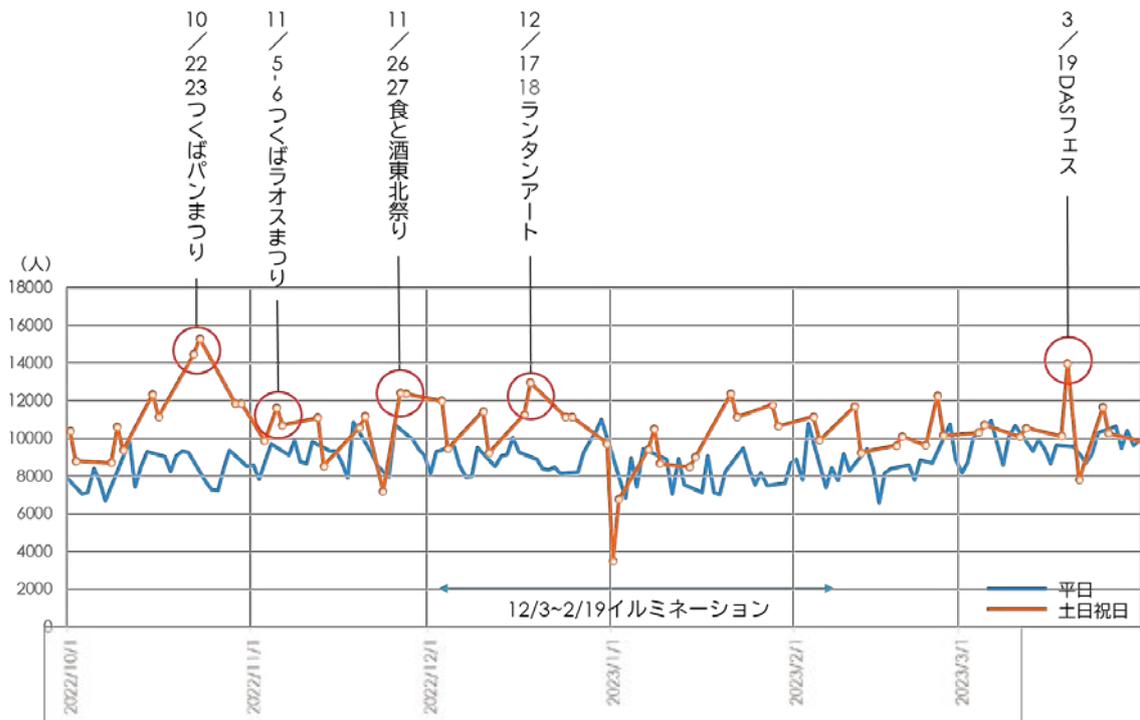
2021年度:5/6~5/19、7/30~9/30

出典:つくば市学園地区市街地振興課資料を基に作成

図 3-2-1 つくばパデカフェプロジェクト イベント来場者数・開催日数

コラム イベントによる人流の変化

2022年度は、下期から徐々にイベントが再開されるようになりました。パンまつりやダンスフェスティバルなどのイベントの際に、特に多くの人が集まっているようです。



*スマートフォン位置情報による拡大推計値(15分以上滞在者)

出典:技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」

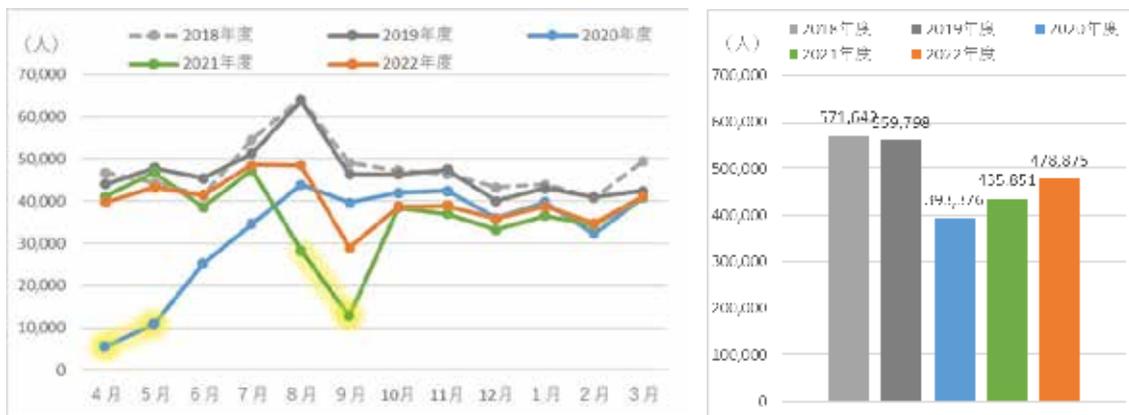
(au スマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計)

図 3-2-2 (参考)つくばセンター街区来訪者数の推移(推計値)

(2) 文化施設利用状況

1) 図書館

【来館者数】



【貸出利用】



【滞在型利用】



※滞在型利用: 来館者数 - 貸出人数により算出

【貸出冊数】



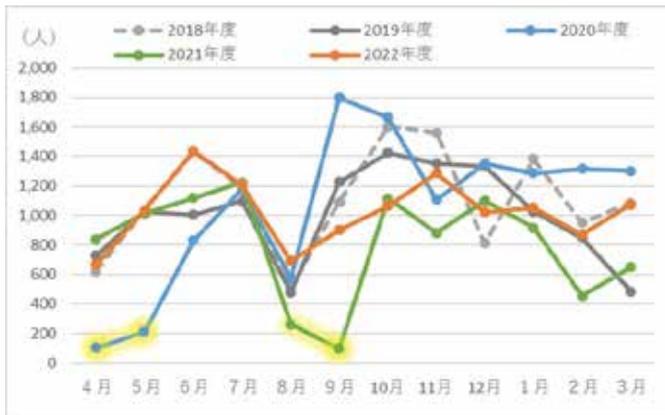
※休館: 2020/4/4~5/11(4/7は時間短縮開館)、2021/8/18~9/23、2022年9月20日~10月3日
 予約本貸出のみ: 2020/5/12~5/19(時間短縮開館)
 滞在型サービス休止: 2020/5/12~6/30(時間短縮開館)、2021/1/18~2/23

休館期間含む

出典: つくば市立中央図書館資料を基に作成

図 3-2-3 中央図書館利用状況

【貸出者数】



【貸出冊数】



● 休止期間含む

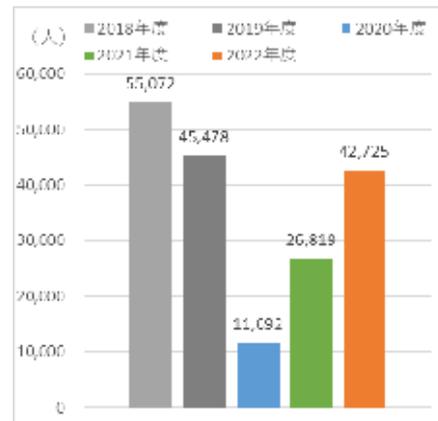
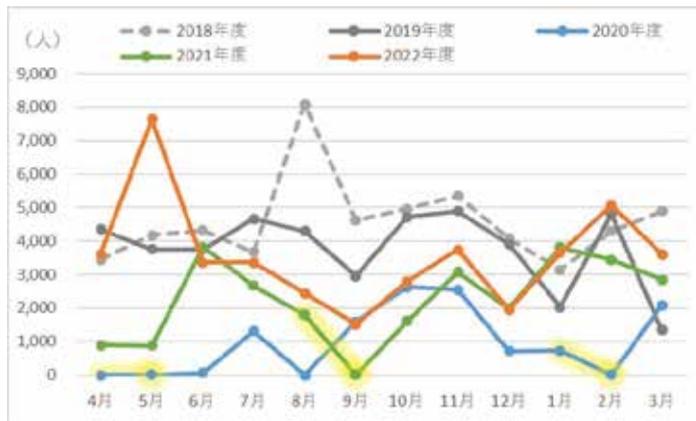
※運行休止期間: 2020/4/4、4/5、4/8~5/17、2021/8/18~9/23

出典: つくば市立中央図書館資料を基に作成

図 3-2-4 自動車図書館利用状況

2) 美術館

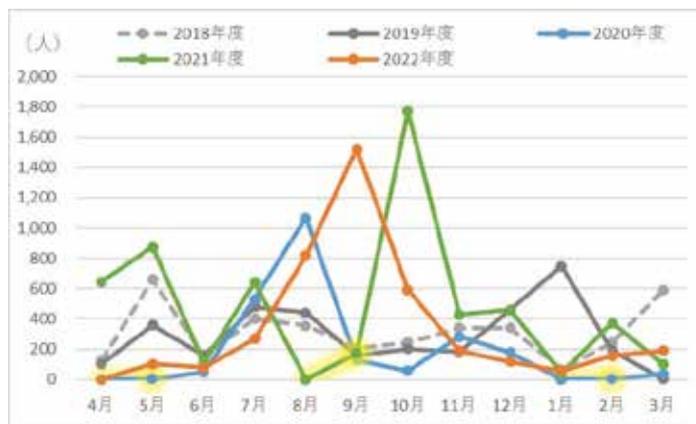
【入館者数】



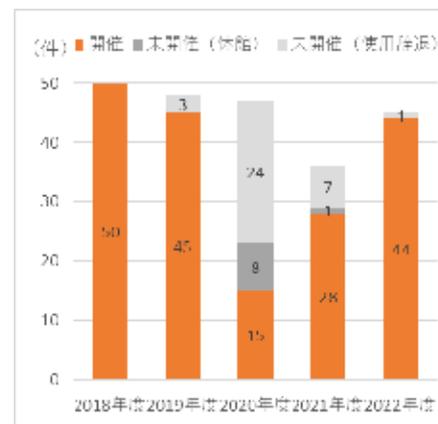
※展覧会入館者数

● 休館期間含む

【普及活動参加者数】



【展覧会開催状況】



※つくば美術館主催の講演会、講座、ワークショップ参加者数

● 休館期間含む

※休館期間: 2020/4/11~5/10、2021/1/18~2/7、8/18~9/19

出典: 茨城県つくば美術館資料を基に作成

図 3-2-5 茨城県つくば美術館利用状況

3) ホール

【ノバホール】

大ホール約1,000名、小ホール約110名



【カピオ】

アリーナ約2,700名、ホール約400名



※休館期間: 2020/4/4~5/31、2021/1/18~2/7、2021/8/6~9/30、2022/5/9~7/5、2022/10/3~3/31

出典:公益財団法人つくば文化振興財団「事業報告」を基に作成

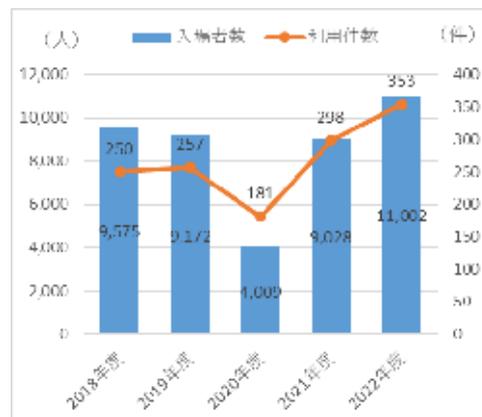
図 3-2-6 ノバホール、カピオ利用状況

【アルスホール】

ホール 100名



● 休館期間含む



※入場者数は、利用者からの入場予定者数(使用許可申請時)の報告に基づく人数

※休館期間: 2020/4/4~6/8、2021/8/6~9/30、2022/5/9~9/16

出典:つくば市立中央図書館資料を基に作成

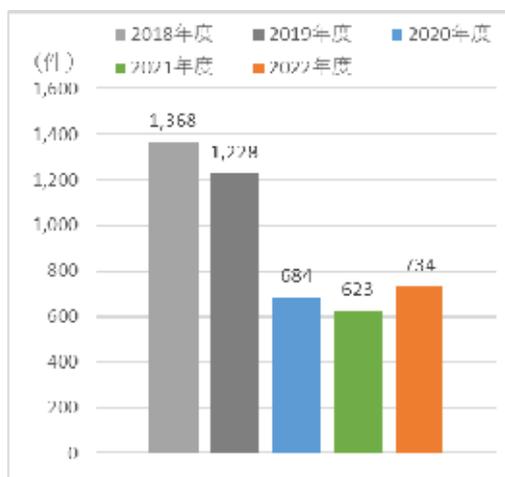
図 3-2-7 アルスホール利用状況

(3) 市民活動

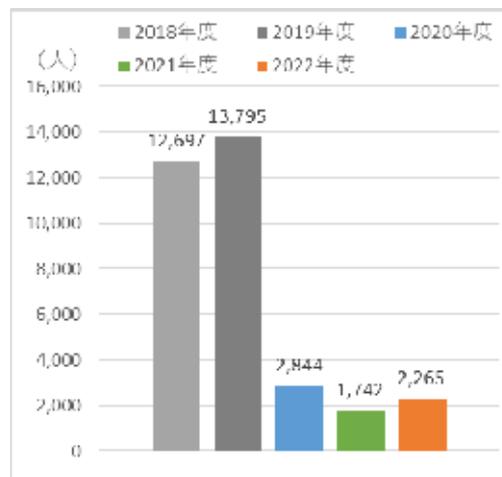
【利用件数】



【利用件数】



【利用者数】



● 休館期間含む

※休館期間：2020/4/4～5/31、2021/1/18～2/7、8/20～9/30

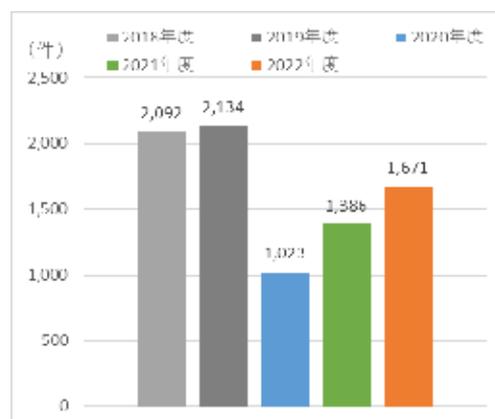
出典：つくば市市民活動センター資料を基に作成

図 3-2-8 市民活動センター利用状況

【利用件数】



【利用件数】



※休館期間：2020/4/4～6/7、2021/1/18～2/7

● 休館期間含む

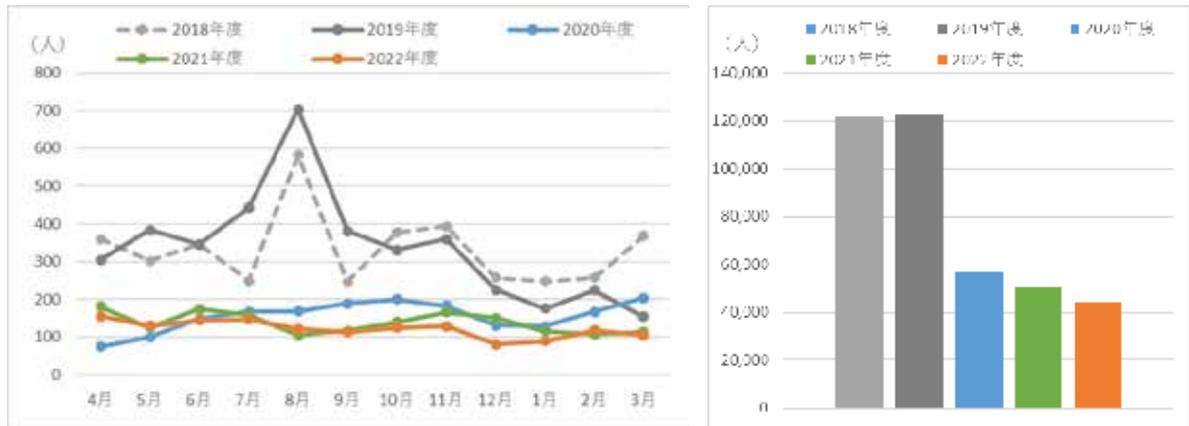
出典：つくば市吾妻交流センター資料を基に作成

図 3-2-9 吾妻交流センター利用状況

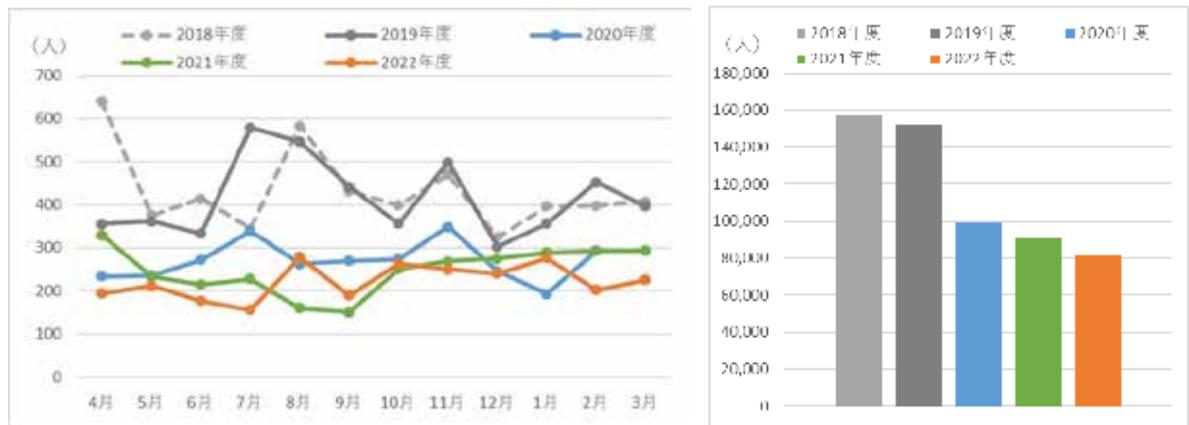
(4) 屋外活動

1) 公園・運動施設

【中央公園】



【大清水公園】



【洞峰公園】



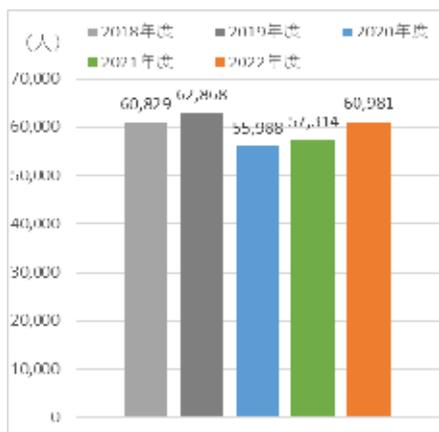
*スマートフォン位置情報による拡大推計値(15分以上滞在者)

出典: 技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」

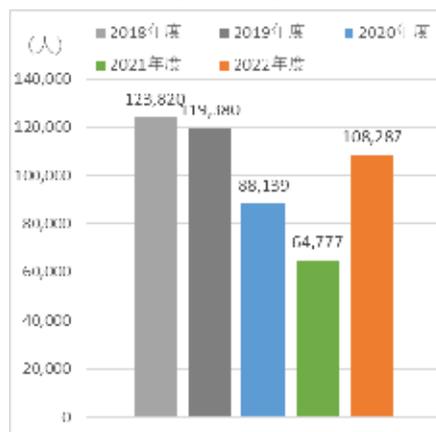
(auスマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計)

図 3-2-10 (参考)公園来訪者数(推計値)(左:1日平均 右:年間)

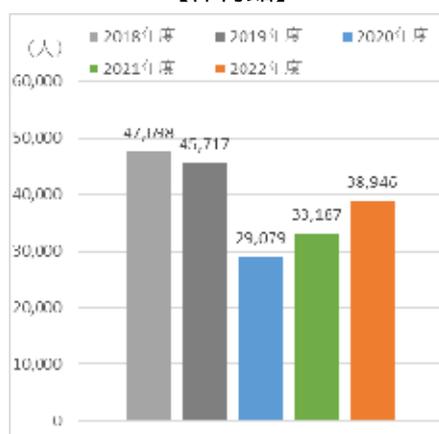
【テニスコート】



【プール】



【体育館】



※休業期間

テニスコート:(2020年度)4/4.5、4/10~5/24 (2021年度)8/18~9/19

プール:(2020年度)4/4.5、4/10~5/24、1/18~2/7

(2021年度)8/6~9/30、11/29~3/15(改修工事)

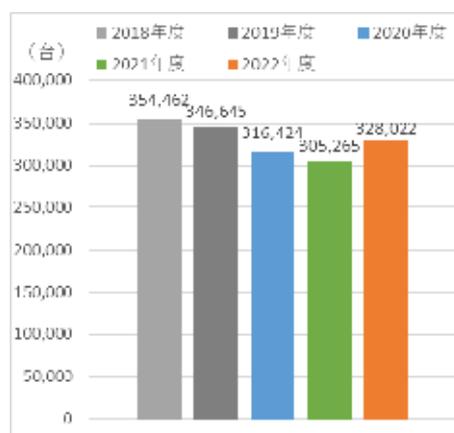
体育館:(2020年度)4/4.5、4/10~5/24、1/18~2/7 (2021年度)8/6~9/30

出典:洞峰公園管理事務所資料を基に作成

図 3-2-11 洞峰公園運動施設利用者数



●—● 公園内施設休業期間含む

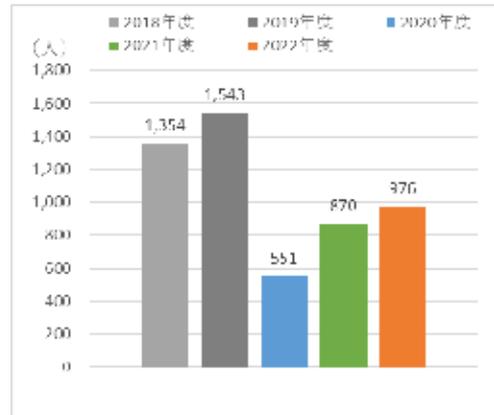
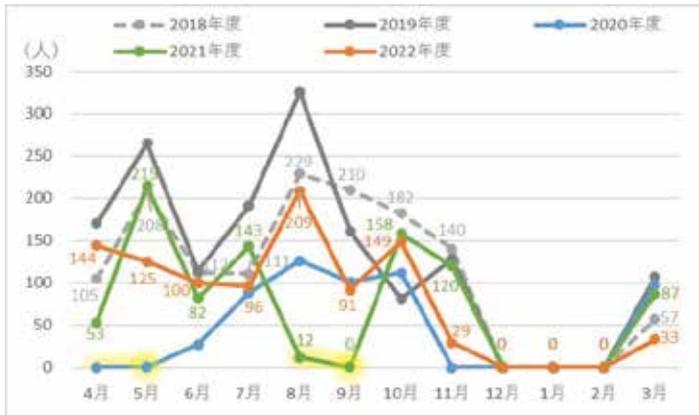


出典:洞峰公園管理事務所資料を基に作成

図 3-2-12 洞峰公園駐車場利用台数

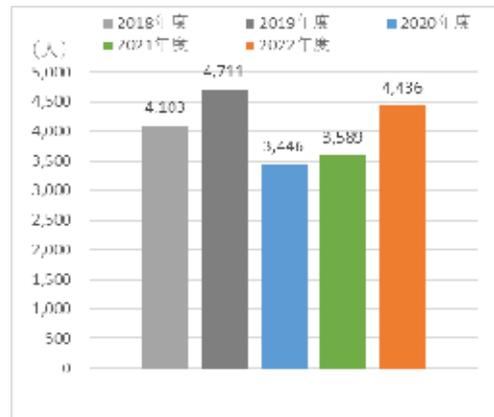
2) キャンプ等

【キャビン】

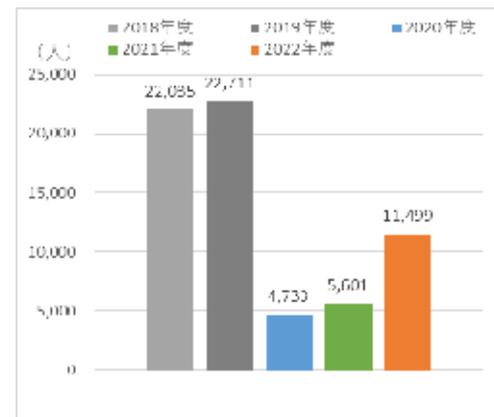


※毎年12月～2月は一般利用休業

【持ち込みテント】



【バーベキュー場】



※毎年12月～2月は一般利用休業

※休業期間:2020/4/3～5/31、2021/8/20～9/30

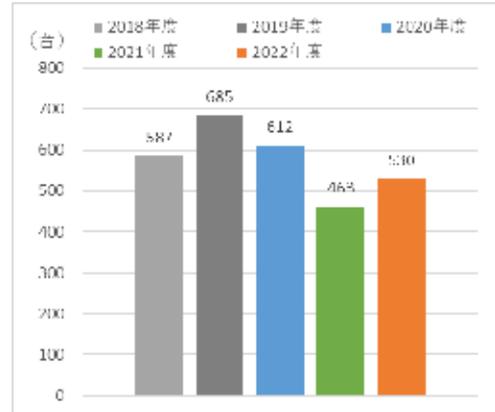
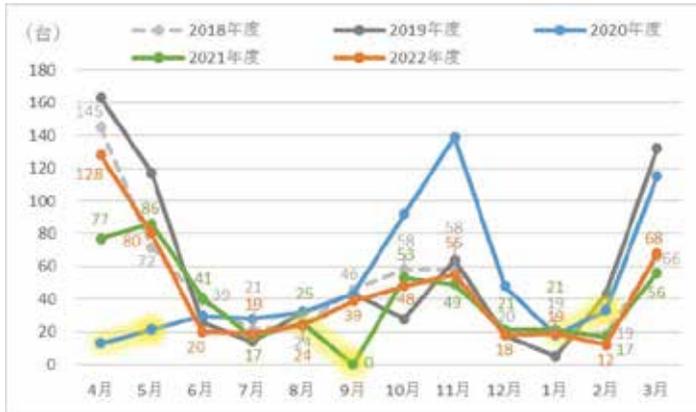
● 休止期間含む(例年の休止期間を除く)

出典:つくば市豊里ゆかりの森資料を基に作成

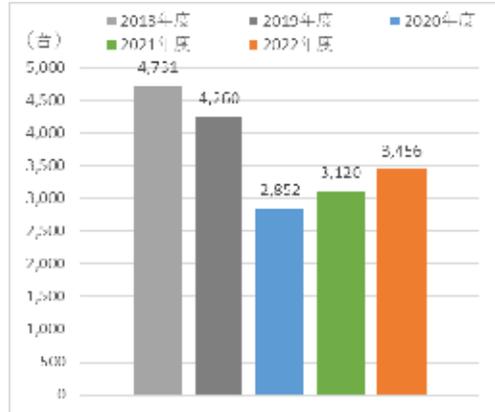
図 3-2-13 ゆかりの森 キャンプサイト利用者数

3) サイクリング

【筑波山口】



【つくば駅(BiVi つくば)】



※貸出休止:2020/4/4,5、4/8~5/18、2021/1/18~2/7、8/17~9/30

※2021/10/1より、当該レンタサイクルに加えつくば市シェアサイクル実証実験(つくチャリ)開始

● 休止期間含む

出典:つくば市サイクルコミュニティ推進室資料を基に作成

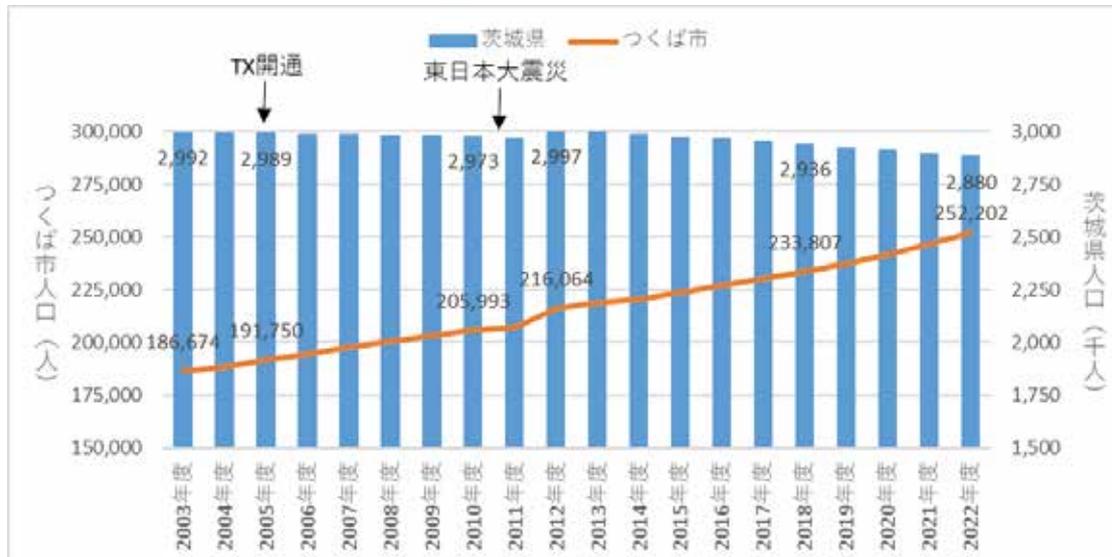
図 3-2-14 つくば市レンタサイクル利用者数

3-3 人口・住宅

(1) 人口の動向

1) つくば市

①人口の推移



※各年度1月1日時点(2012年度までは3月31日時点)。2012年度より外国人人口を含む。

出典:政府統計の総合窓口(e-Stat)「住民基本台帳人口」を基に作成

図 3-3-1 つくば市の人口推移



※各年度1月1日時点(2012年度までは3月31日時点)。2012年度より外国人人口を含む。

出典:政府統計の総合窓口(e-Stat)「住民基本台帳人口」を基に作成

図 3-3-2 つくば市及び周辺都県の人口増減率



出典:茨城県「常住人口調査結果報告書」を基に作成

図 3-3-3 つくば市の社会・自然動態の推移



出典:茨城県「常住人口調査結果報告書」を基に作成

図 3-3-4 つくば市の出生率・死亡率の推移

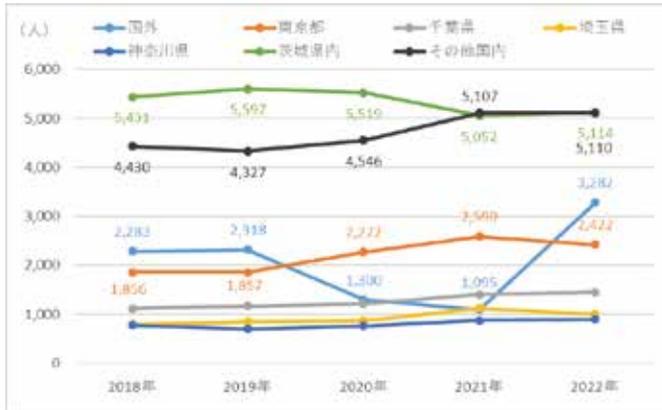


出典:出入国在留管理庁「在留外国人統計」を基に作成

図 3-3-5 つくば市の在留外国人数の推移

②地域間の移動

【転入者(従前住所地別)】



転入者	2020年 -2018年	2021年 -2018年	2022年 -2018年
国外	-983	-1,188	999
国内	783	1,755	1,597
東京都	416	734	566
千葉県	103	291	332
埼玉県	72	335	210
神奈川県	-12	97	126
茨城県内	88	-379	-317
その他国内	116	677	680
計	-200	567	2,596

【転出者(従後住所地別)】

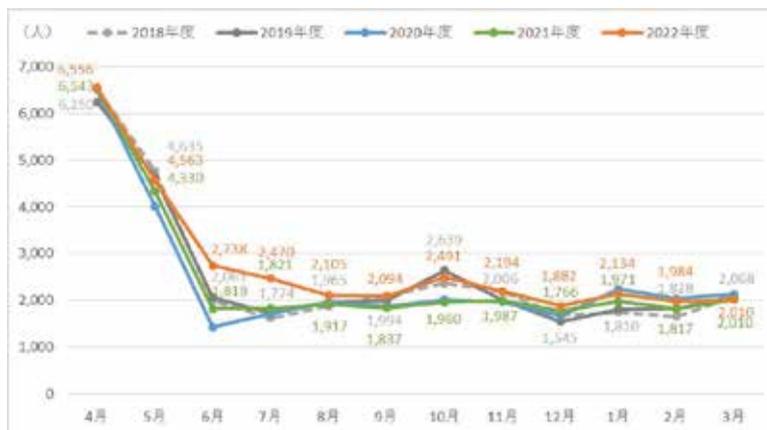


転出者	2020年 -2018年	2021年 -2018年	2022年 -2018年
国外	-431	-665	-338
国内	-585	-264	320
東京都	-262	-334	-176
千葉県	-69	0	112
埼玉県	-40	-11	43
神奈川県	-188	-117	-63
茨城県内	168	42	102
その他国内	-194	156	302
計	-1,016	-929	-18

※従前の住所地が不明、帰化、職権による記載等を含まず

出典:茨城県「常住人口調査結果報告書」を基に作成

図 3-3-6 つくば市の転出入者数の推移



出典:茨城県「茨城県常住人口調査結果報告書」を基に作成

図 3-3-7 つくば市の月別地域間移動数

2) つくばセンター地区



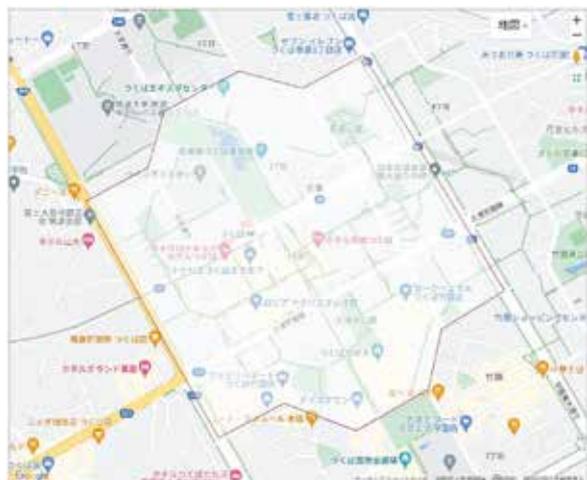
出典:つくば市 行政区別人口表(住民基本台帳人口)、地図:国土地理院基盤地図を加工し作成
 図 3-3-8 つくばセンター地区の人口推移

コラム つくば駅周辺の足元人口は

中心部のにぎわいの創出の重要な要素となるのが、周辺に居住する人たち、すなわち足元人口の充実です。

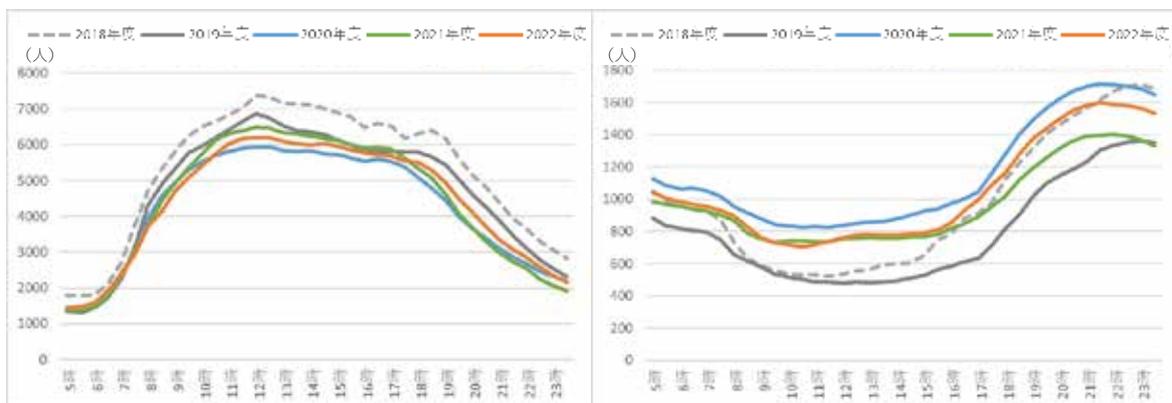
つくば駅周辺では、公務員宿舎が廃止された吾妻一丁目では人口が減少しましたが、竹園一丁目など他の跡地等へのマンションの供給により、人口は増加傾向にあり(図 3-3-8)、コロナ禍による在宅勤務の浸透も相まって、駅周辺居住者の昼間人口も増加している様子がうかがえます(図 3-3-9)。

人流計測範囲



【来訪者数全体】

【うち、エリア内居住者】



*スマートフォン位置情報による拡大推計値(平日・15分以上滞在者)

出典:技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」

(au スマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計)

図 3-3-9 (参考)時間帯別つくば駅周辺 一日平均滞在者数(推計値)

表 3-3-1 研究学園地区、TX 沿線地区内の主な町丁字の人口の変動

【研究学園地区(つくば駅圏)】

	2018/ 4/1	2021/ 4/1	2022/ 4/1	2023/ 4/1	2018- 2021 増減率	2018- 2022 増減率	2018- 2023 増減率
春日 1 丁目	897	960	942	1,318	7%	5%	47%
春日 2 丁目	2,838	3,099	3,262	3,358	9%	15%	18%
春日 3 丁目	1,798	1,863	1,943	1,973	4%	8%	10%
春日 4 丁目	2,005	1,848	1,891	1,982	-8%	-6%	-1%
東新井	1,802	1,721	1,947	1,941	-4%	8%	8%
二の宮 1 丁目	2,384	2,401	2,383	2,550	1%	0%	7%
二の宮 2 丁目	1,384	1,392	1,397	1,439	1%	1%	4%
二の宮 3 丁目	1,384	1,416	1,453	1,493	2%	5%	8%
二の宮 4 丁目	2,546	2,424	2,448	2,412	-5%	-4%	-5%
松代 1 丁目	1,769	1,774	1,765	1,755	0%	0%	-1%
松代 2 丁目	1,131	1,122	1,128	1,116	-1%	0%	-1%
松代 3 丁目	2,421	2,481	2,520	2,552	2%	4%	5%
松代 4 丁目	1,611	1,587	1,578	1,533	-1%	-2%	-5%
松代 5 丁目	1,082	1,333	1,606	1,872	23%	48%	73%
桜 1 丁目	520	739	778	809	42%	50%	56%
桜 2 丁目	1,076	1,136	1,168	1,216	6%	9%	13%
桜 3 丁目	538	531	529	523	-1%	-2%	-3%
天王台 2 丁目	13	18	38	28	38%	192%	115%
天久保 1 丁目	828	882	862	917	7%	4%	11%
天久保 2 丁目	1,537	1,606	1,611	1,663	4%	5%	8%
天久保 3 丁目	1,040	1,094	1,101	1,150	5%	6%	11%
天久保 4 丁目	543	565	563	596	4%	4%	10%
吾妻 1 丁目	1,890	2,120	2,132	2,550	12%	13%	35%
吾妻 2 丁目	761	290	274	249	-62%	-64%	-67%
吾妻 3 丁目	1,674	1,993	1,978	1,994	19%	18%	19%
吾妻 4 丁目	1,884	1,701	1,638	1,573	-10%	-13%	-17%
竹園 1 丁目	2,894	4,116	4,392	4,347	42%	52%	50%
竹園 2 丁目	1,205	1,265	1,234	1,175	5%	2%	-2%
竹園 3 丁目	2,729	3,192	3,340	3,377	17%	22%	24%
千現 1 丁目	1,761	1,752	1,840	1,876	-1%	4%	7%
千現 2 丁目	833	795	809	827	-5%	-3%	-1%
並木 2 丁目	1,732	1,820	1,842	2,020	5%	6%	17%
並木 3 丁目	2,130	2,305	2,355	2,405	8%	11%	13%
並木 4 丁目	1,440	1,368	1,524	1,708	-5%	6%	19%
梅園 2 丁目	3,254	3,243	3,280	3,336	0%	1%	3%
筑波大学生宿舍	1,749	1,164	1,027	1,492	-33%	-41%	-15%
筑波大看護婦宿舍	127	113	99	88	-11%	-22%	-31%

【TX 沿線開発地区】

	2018/ 4/1	2021/ 4/1	2022/ 4/1	2023/ 4/1	2018- 2021 増減率	2018- 2022 増減率	2018- 2023 増減率
学園の森 1 丁目	1,130	2,010	2,048	2,048	78%	81%	81%
学園の森 2 丁目	1,594	2,594	2,659	2,676	63%	67%	68%
学園の森 3 丁目	1,168	1,351	1,403	1,465	16%	20%	25%
研究学園 1 丁目	13	8	12	6	-38%	-8%	-54%
研究学園 2 丁目	656	781	784	787	19%	20%	20%
研究学園 3 丁目	759	1,183	1,201	1,208	56%	58%	59%
研究学園 4 丁目	2,142	2,251	2,239	2,248	5%	5%	5%
研究学園 5 丁目	2,483	2,394	2,455	2,493	-4%	-1%	0%
研究学園 6 丁目	1,581	1,562	1,558	1,528	-1%	-1%	-3%
研究学園 7 丁目	1,007	1,023	1,041	1,023	2%	3%	2%
研究学園 7 丁目3~14	260	306	315	316	18%	21%	22%
学園南 1 丁目	565	650	669	705	15%	18%	25%
学園南 2 丁目	1,300	1,396	1,377	1,374	7%	6%	6%
学園南 3 丁目	1,844	2,135	2,187	2,230	16%	19%	21%
みどりの 1 丁目	2,582	2,924	2,994	3,015	13%	16%	17%
みどりの 2 丁目	1,562	2,868	3,246	3,455	84%	108%	121%
みどりの中央	2,246	3,087	3,260	3,349	37%	45%	49%
みどりの東	806	1,354	1,541	1,655	68%	91%	105%
みどりの南	1,453	3,286	3,825	4,044	126%	163%	178%

出典:つくば市 行政区別人口表(住民基本台帳人口)を基に作成

(2) 住宅供給動向

1) つくば市



出典：茨城県「住宅着工データ」を基に作成

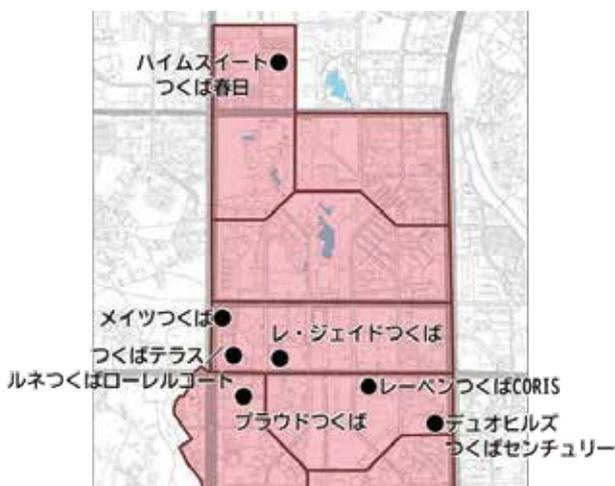
図 3-3-10 つくば市の住宅着工数

2) つくばセンター地区

表 3-3-2 つくばセンター地区新築分譲マンション(2018 年度以降販売開始)

	物件名/事業者	総戸数	発売	竣工	最低価格	最高価格	平均価格
1	レーベンつくば CORIS / (株)タカラレーベン	330 戸	2018.6	2020.2	3,995 万	10,737 万	4,800 万
2	デュオヒルズつくばセンチュリー / (株)フージャースコーポレーション	229 戸	2019.2	2020.11	3,798 万	6,098 万	4,100 万
3	プラウドつくば / 野村不動産(株)	68 戸	2020.9	2021.10	4,189 万	8,399 万	5,259 万
4	ハイムスイートつくば春日 / 積水化学工業(株)	122 戸	2022.1	2022.9	3,328 万	5,498 万	3,898 万
5	レ・ジェイドつくば / (株)日本エスコン	218 戸	2021.4	2022.10	4,390 万	16,990 万	6,425 万
6	つくばテラス/ルネつくばローレルコート / 総合地所(株)、近鉄不動産(株)	320 戸	2022.1	2023.8	5,003 万	9,248 万	3,998 万
7	メイッツつくば / 名鉄都市開発(株)	166 戸	2022.8	2024.4	4,048 万	8,098 万	5,554 万

出典：(有)エム・アール・シー「MRC マンションデータ」ほか。2023 年 10 月時点



出典：国土地理院基盤地図を加工し作成

図 3-3-11 つくばセンター地区新規供給マンション位置図

(3) 地価

【商業地】

【住宅地】



※市平均および県平均の値については、複数地点の変動率の合計を地点数で除して算出

出典:茨城県「地価公示結果の概要」を基に作成

図 3-3-12 用途別地価の平均変動率

【商業地】

【住宅地】



出典:地価公示、都道府県地価調査を基に作成

図 3-3-13 つくば駅周辺・研究学園駅周辺地価の推移



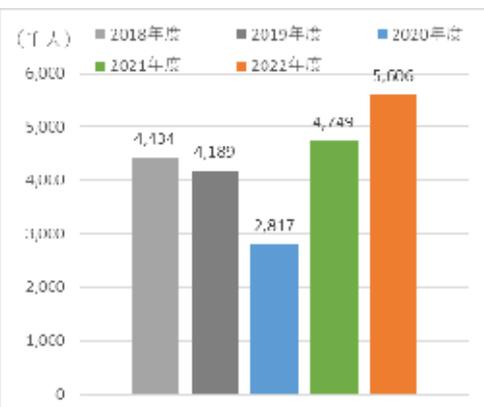
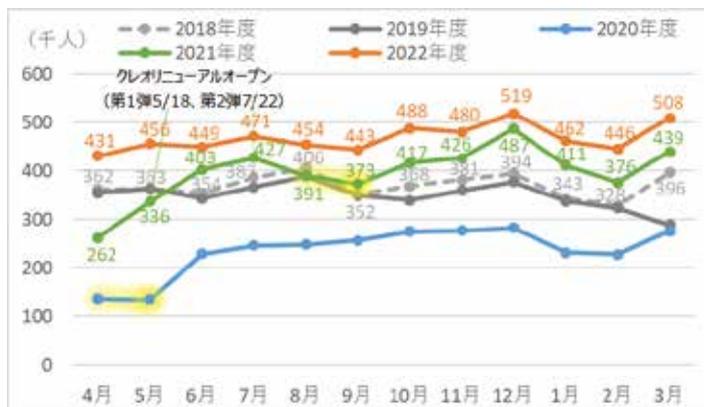
出典:地理院タイルに地価公示及び都道府県地価調査位置を加筆して作成

図 3-3-14 つくば駅周辺・研究学園駅周辺地価 位置図

3-4 産業・経済

(1) 商業施設

【来客数】



【売上高】



※Q't、MOG、CREO、BiVi つくばの合計

※CREO はリニューアルのため 2018/2/1～2021/5/18 まで閉館

【営業状況】

Q't、MOG 時短営業：2020/3/6～4/9 一部店舗、4/10～6/7 全館、2021/1/27～2/20 飲食店

休館(生活必需品店舗等除く)：4/4、5、4/18～5/21

BiVi つくば 時短営業：2020/1/27～2/20、4/22～5/6、11/30～12/13、2021/1/8～20

出典：(株)日本エスコ、大和リース(株)資料

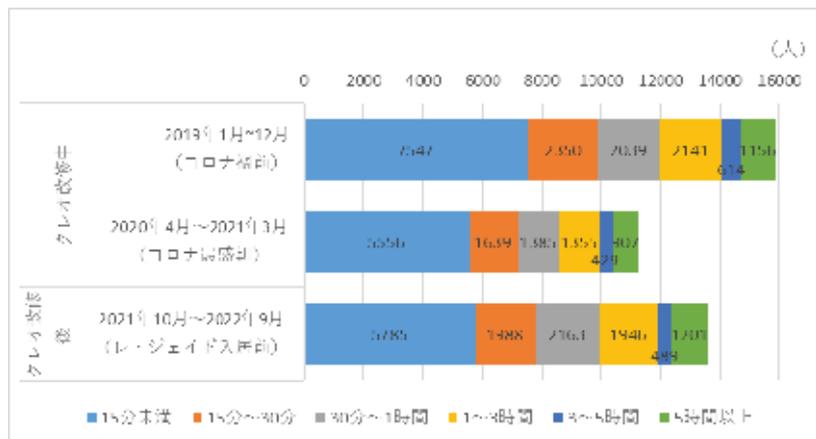
図 3-4-1 つくばセンター駅周辺商業施設の来客・売上の推移

コラム センター地区来訪者の滞在時間の変化

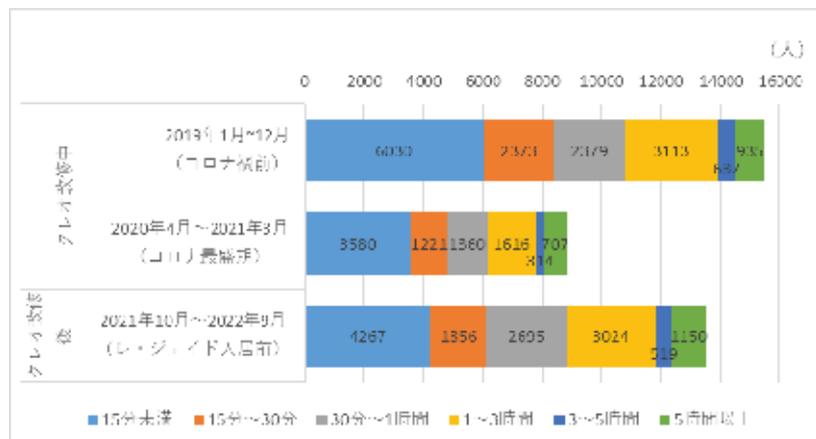
コロナ禍でつくば駅周辺の人流は低下しているものの、2021年5月にクレオがリニューアルオープンしたことで、来訪者の滞在時間には変化が見られます。

平日・祝休日とも、滞在時間15分未満の「通過者」はあまり増加していませんが、30分～1時間の滞在者がクレオ改修前より増加しています。

【平日】



【土日祝日】



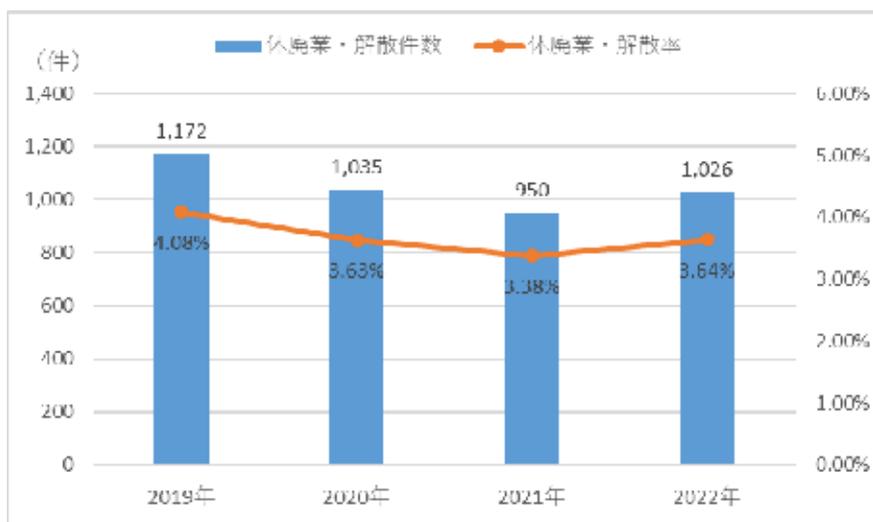
*スマートフォン位置情報による拡大推計値

出典:技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」

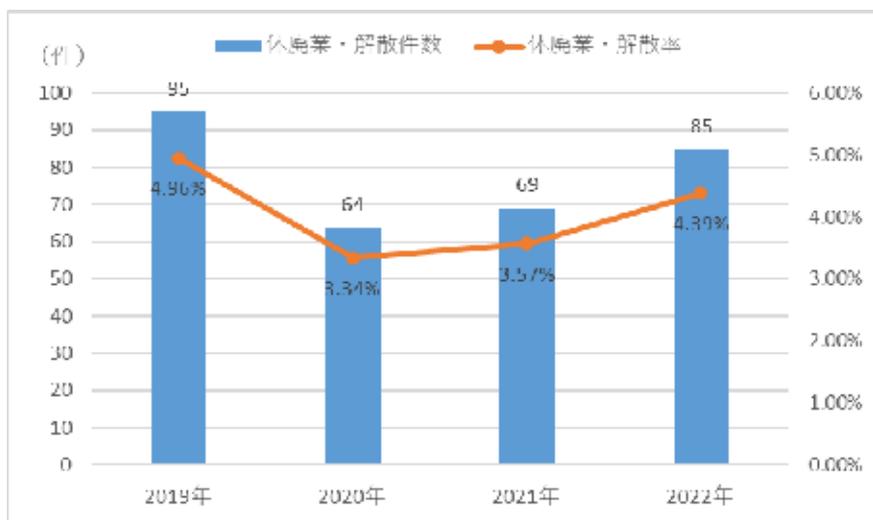
(au スマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計)

図 3-4-2 (参考)つくばセンター街区来訪者の滞在時間の変化(一日あたり平均来訪者数・推計値)

【茨城県】



【つくば市】

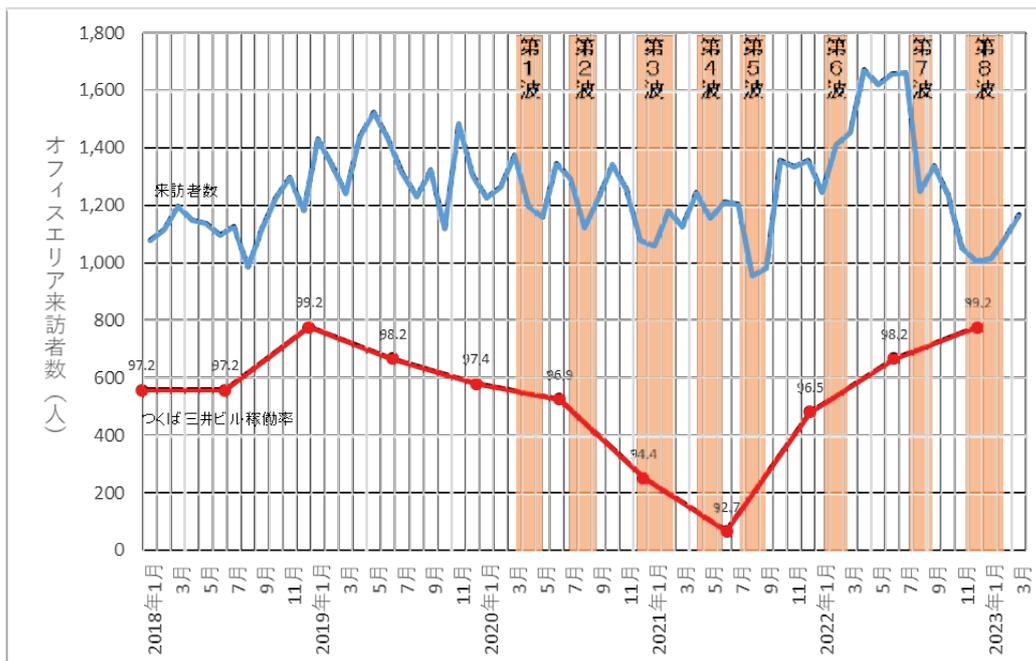


出典：帝国データバンク「茨城県「休廃業・解散」動向調査」を基に作成

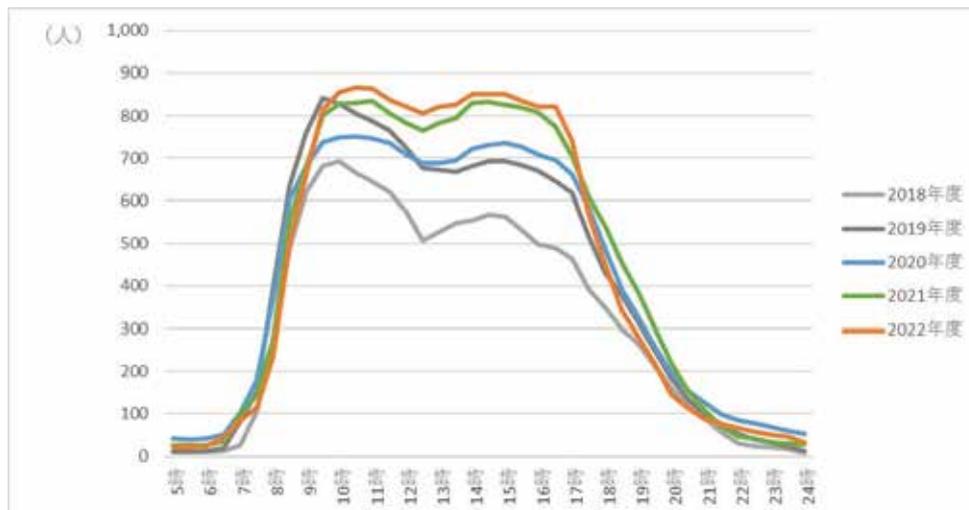
図 3-4-3 企業の休廃業等件数の推移

(2) オフィス

【月別来訪者数の推移(平日一日平均)】



【時間帯別来訪者数(平日一日平均)】



*スマートフォン位置情報による拡大推計値
(三井ビル周辺の右図エリア 1 時間以上滞在者)



出典

来訪者数: 技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」(au スマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計)
三井ビル稼働率: 日本ビルファンド投資法人 決算説明会資料
新規感染者数: 厚生労働省 HP「データからわかる新型コロナウイルス感染症情報」

図 3-4-4 (参考) つくば駅周辺オフィスエリア来訪者数(推計値)

(3) 観光・交流

1) 観光客数

【つくば市全体】



【筑波山全体】



出典:つくば市観光推進課資料を基に作成

図 3-4-5 つくば市内観光入込客数

2) 宿泊者数

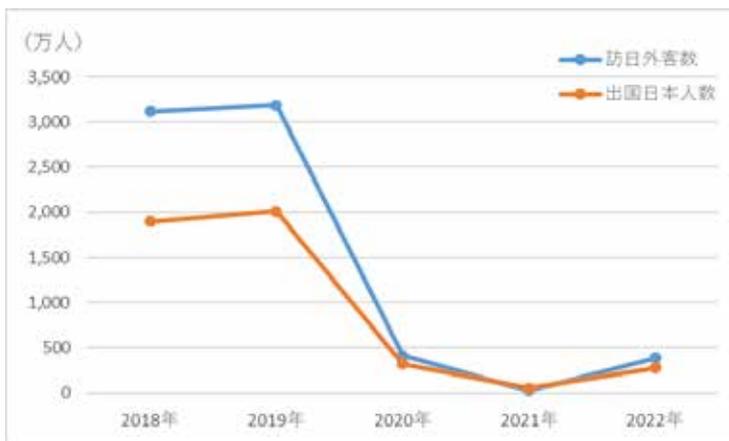


※2020年～2022年は一部ホテルが県運営の宿泊療養施設として軽症者・無症状者の受け入れを実施

出典:ホテル日航つくば、ホテル JAL CITY つくば、ダイワロイネットホテル資料を基に作成

図 3-4-6 つくばセンター地区の主なホテルの宿泊者数

【参考】コロナ禍以降の全国の観光・宿泊に係る動向

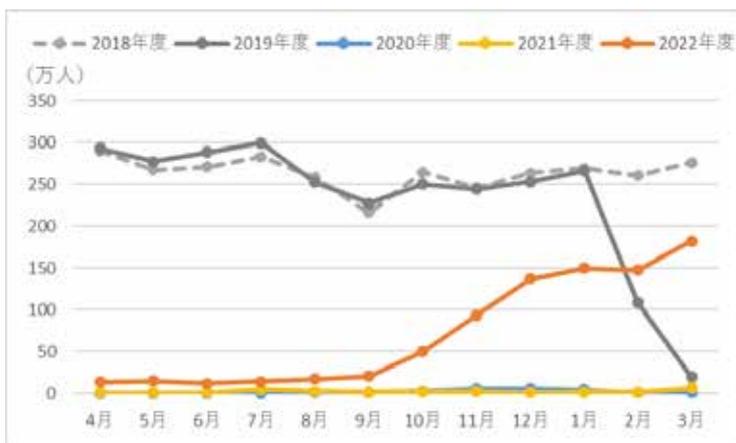


*1:訪日外客数 法務省資料に基づき、外国人正規入国者のうちから日本に永続的に居住する外国人を除き、さらに一時上陸客等を加えて集計した。

*2:出国日本人数 法務省出入国管理統計 出入(帰)国者数より。

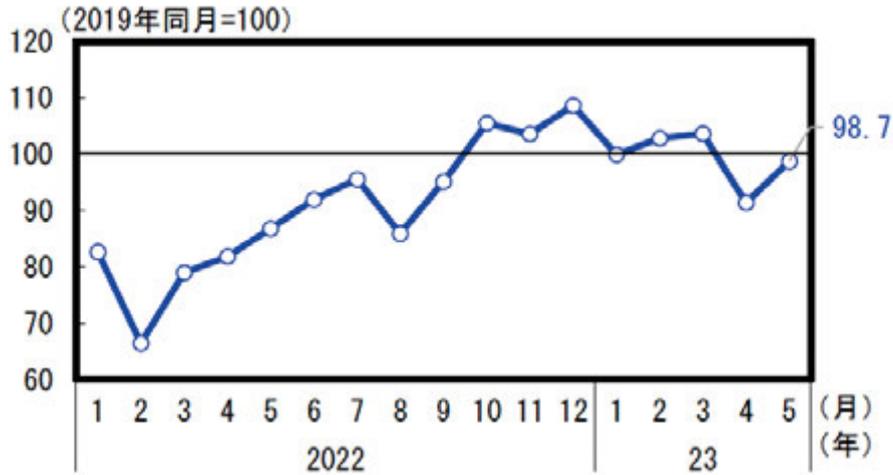
出典:日本政府観光局(JNTO)資料を基に作成

図 3-4-7 訪日外客数、出国日本人数の推移(年別)



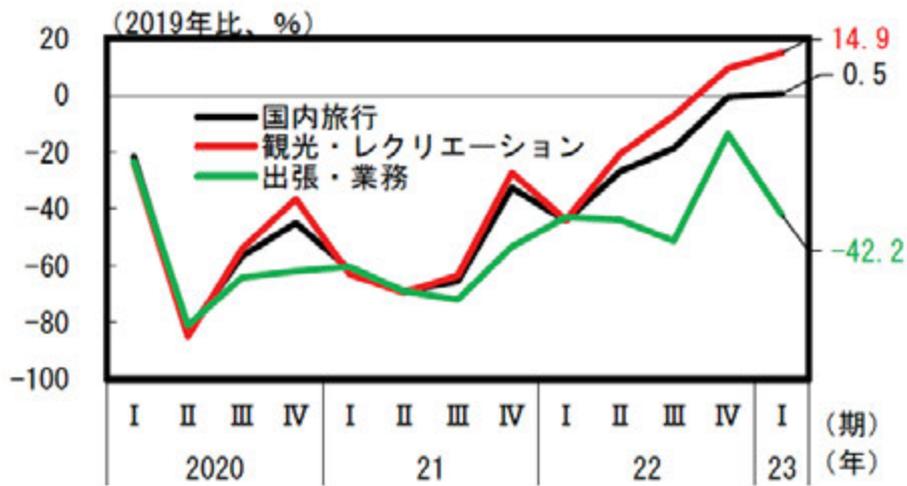
出典:日本政府観光局(JNTO)資料を基に作成

図 3-4-8 訪日外客数の推移(月別)



*観光庁「宿泊旅行統計」により作成。2023年5月の値は、第一次速報値。
 出典:内閣府 マンスリー・トピックス NO.73「コロナ禍後におけるテレワークとサービス消費について」令和5年7月28日

図 3-4-9 国内日本人延べ宿泊者数の推移



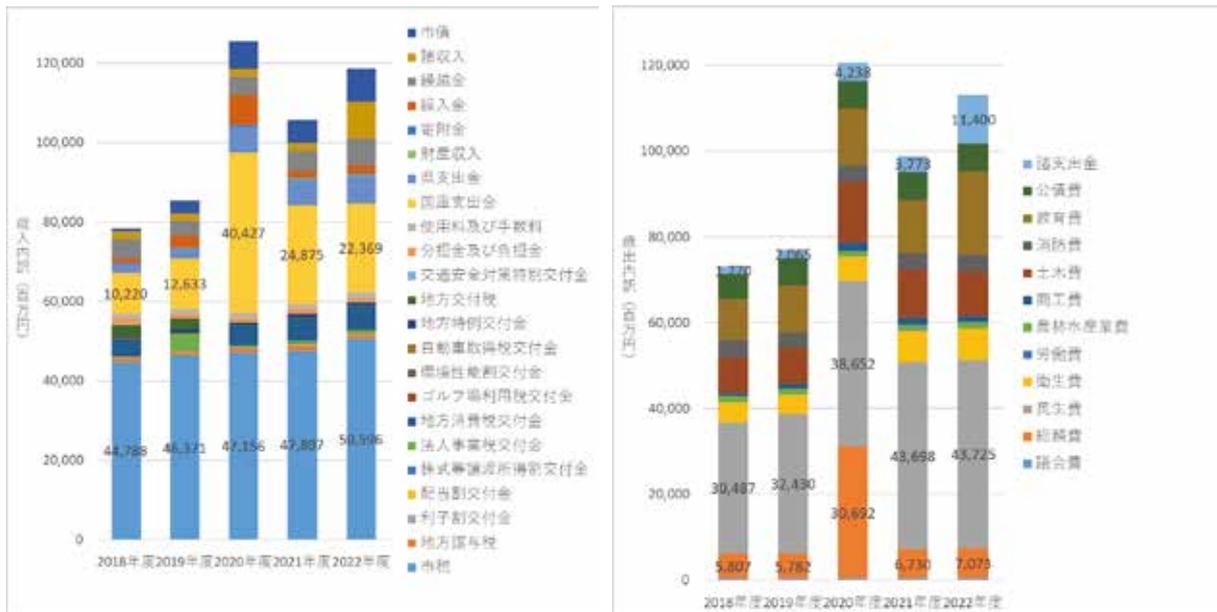
*観光庁「旅行宿泊動向調査」により作成
 出典:内閣府 マンスリー・トピックス NO.73「コロナ禍後におけるテレワークとサービス消費について」令和5年7月28日

図 3-4-10 目的別旅行消費額の推移

(4) 市財政

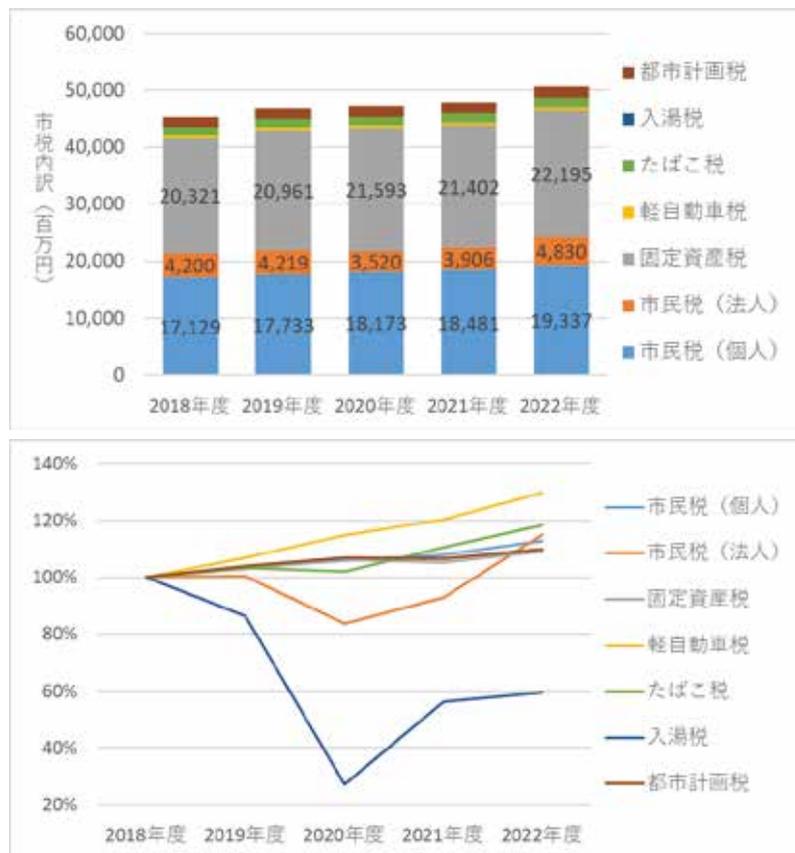
【歳入】

【歳出】



出典：つくば市決算書を基に作成

図 3-4-11 つくば市 歳入・歳出の推移



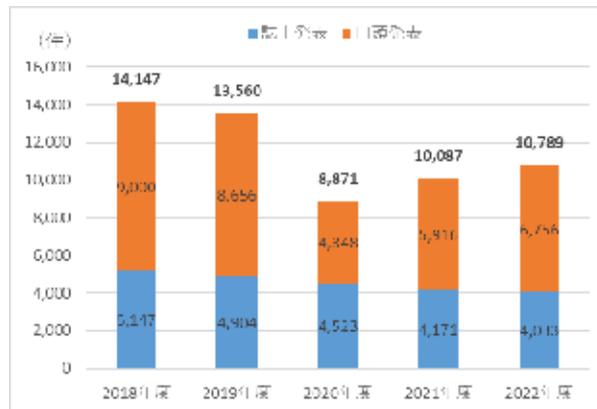
出典：つくば市決算書を基に作成

図 3-4-12 つくば市 市税収入の推移

3-5 研究・教育

(1) 研究活動

【研究発表数】



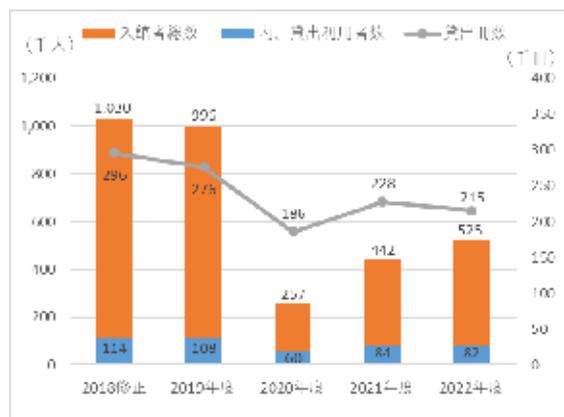
【企業との共同研究・受託研究実績】



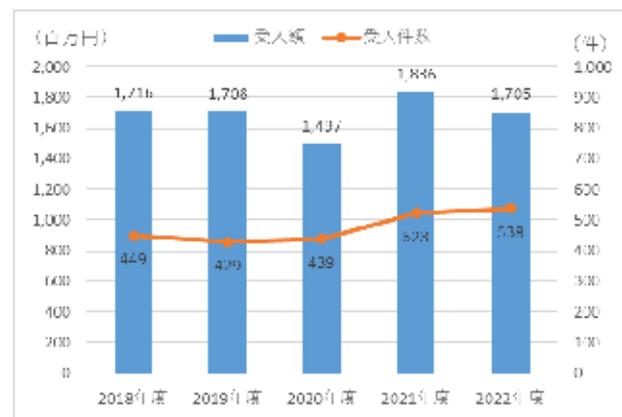
出典：国立研究開発法人産業技術総合研究所「産総研レポート」「産業技術総合研究所年報」を基に作成

図 3-5-1 産業技術総合研究所研究実績

【筑波大附属図書館利用状況】

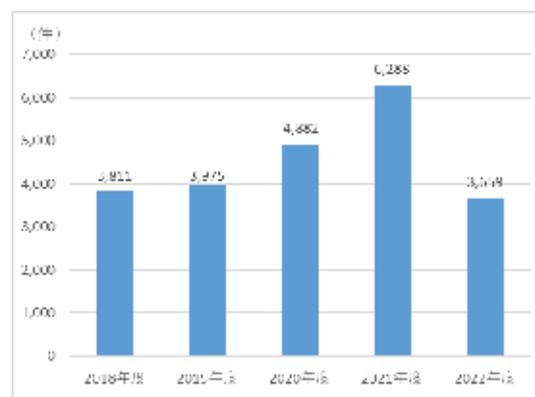


【国内民間共同研究受入額】



出典：筑波大学「地図とデータで見る筑波大学リーフレット」を基に作成

図 3-5-2 筑波大学活動状況

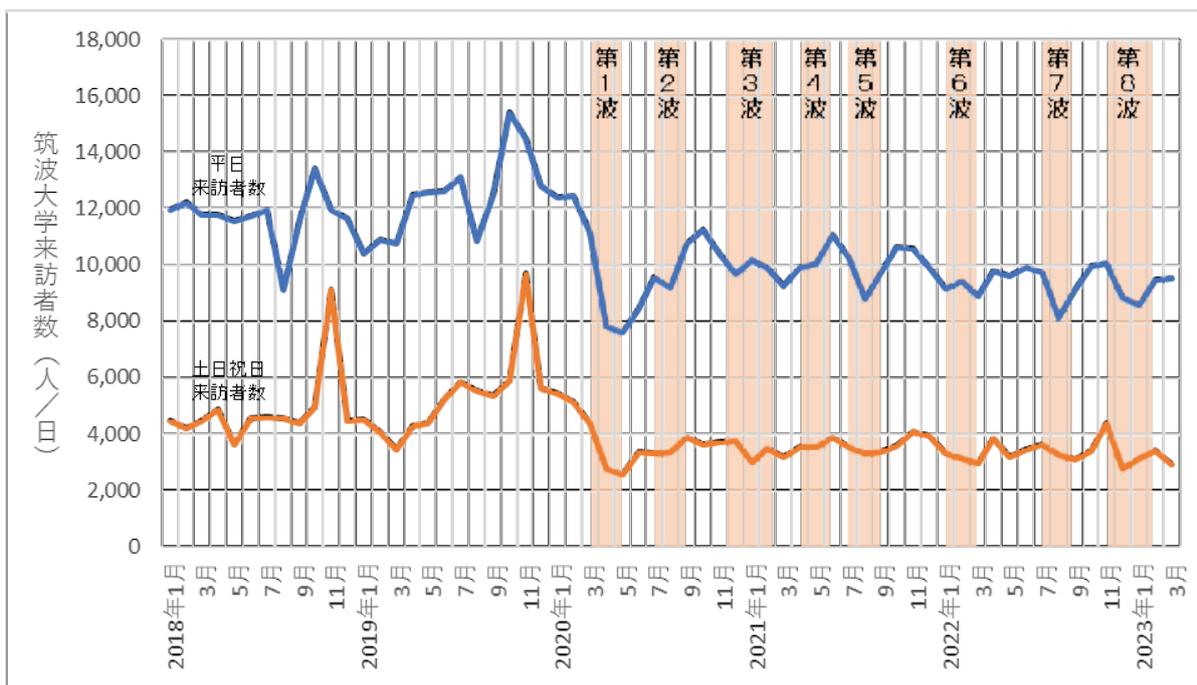


※2020年度より東北大学が新たに共用施設ネットワークに参加

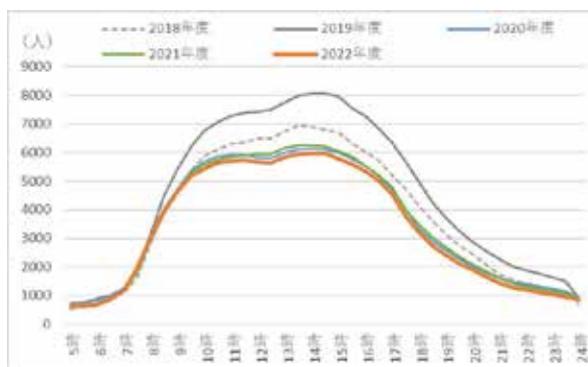
出典：TIA「TIA 事業報告書」を基に作成

図 3-5-3 TIA 共用装置利用状況

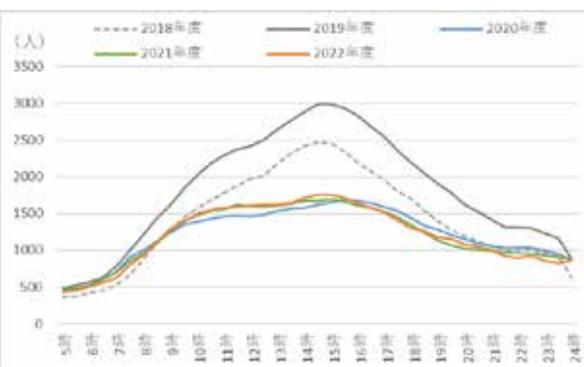
【月別一日平均】



【平日時間帯別】



【土日祝日時間帯別】



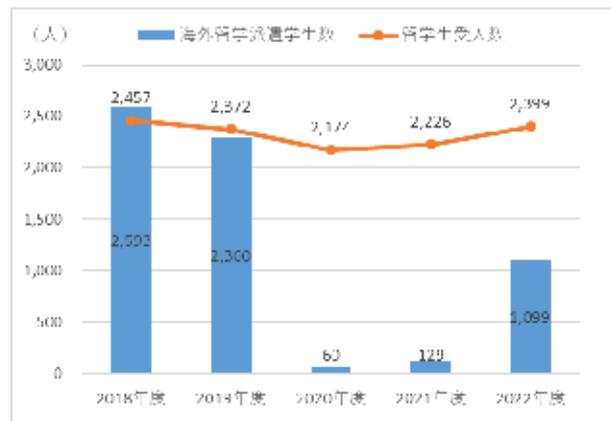
*スマートフォン位置情報による拡大推計値(1時間以上滞在者。春日エリア含まず。)

出典: 技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」

(au スマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計)

図 3-5-4 (参考) 筑波大学来訪者数(一日平均・推計値)

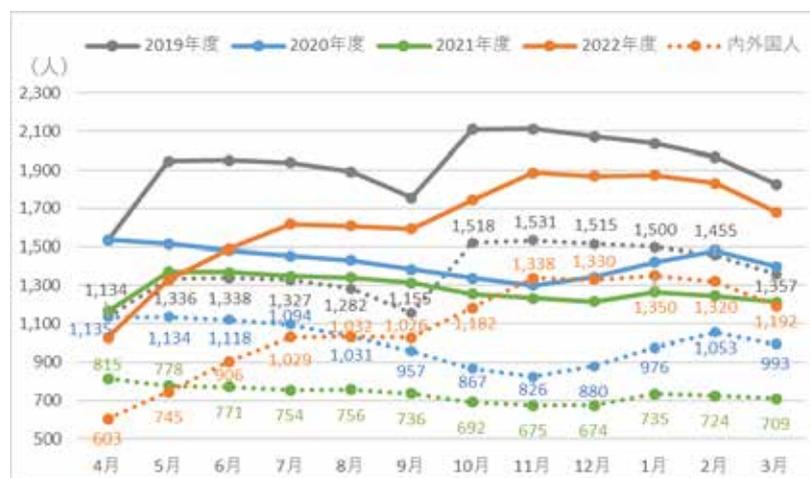
(2) 交流活動



※各年 5 月 1 日時点。派遣学生数は当該年度中。前年度からの継続者含む。

出典:筑波大学「地図とデータで見る筑波大学リーフレット」を基に作成

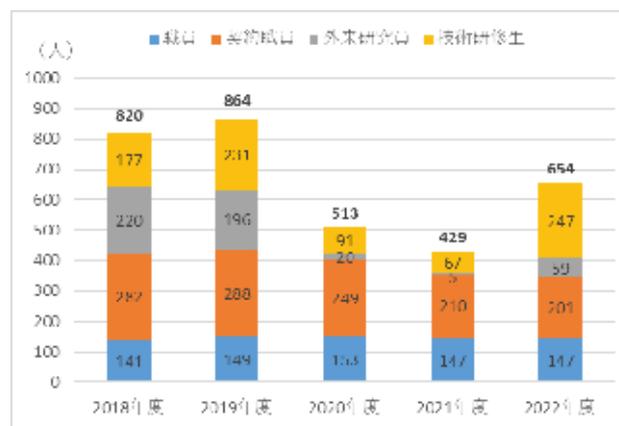
図 3-5-5 筑波大学 留学生受入・派遣状況



※住民基本台帳(住民票)データ(各月 1 日時点)

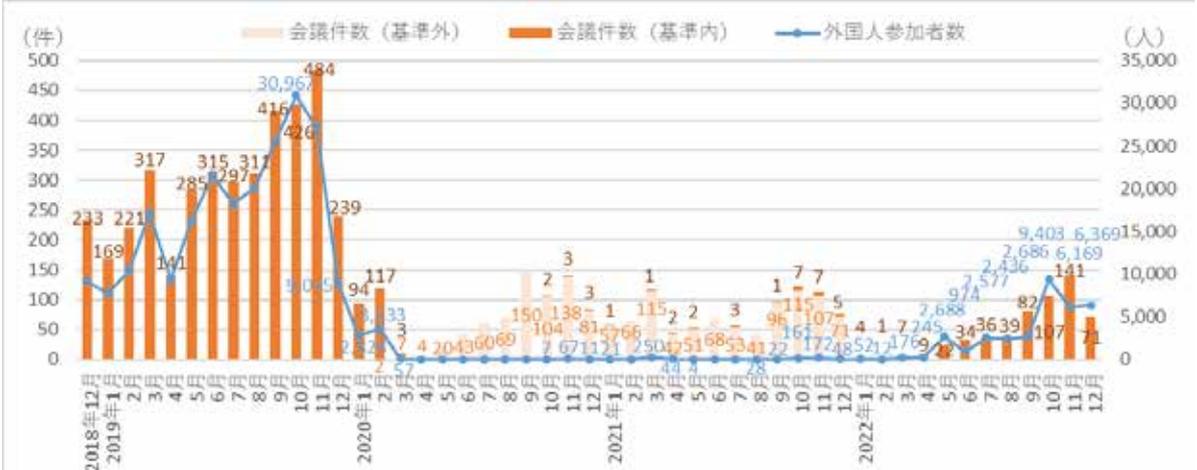
出典:つくば市「行政区別人口表」を基に作成

図 3-5-6 筑波大学 宿舎居住者の推移



出典:国立研究開発法人産業技術総合研究所「産総研レポート」を基に作成

図 3-5-7 産業技術総合研究所 外国人受入れ実績



※基準外会議：日本政府観光局が収集した国際会議情報の内、リモート開催等のため、国際会議統計が対象とする定量基準(参加者 50 名以上、参加国数3居住国・地域以上)を満たさないものの、参加者が会場出席していれば条件を満たしていたもの。2020 年、2021 年のみ計測。

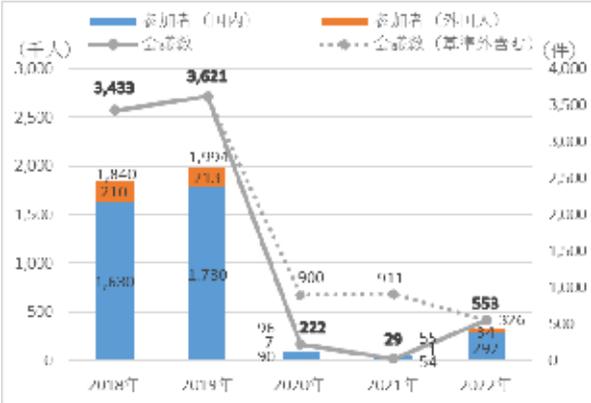
出典：日本政府観光局「国際会議統計」より作成

図 3-5-8 国内の国際会議開催数・外国人参加者数の推移



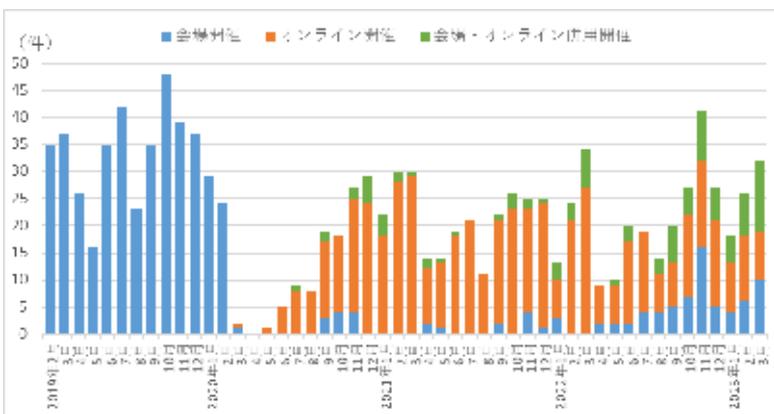
コロナ禍による休館：2020 年度 71 日間 2021 年度 36 日間
出典：つくば国際会議場資料

図 3-5-9 つくば国際会議場国際会議開催状況



※年次集計
出典：日本政府観光局「国際会議統計」より作成

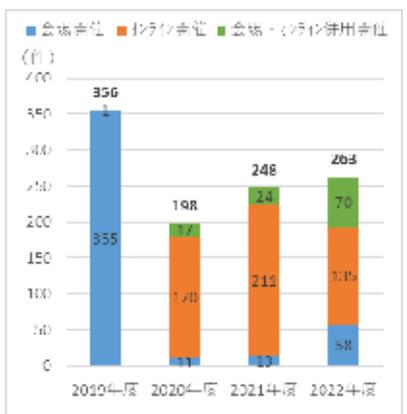
図 3-5-10 国内の国際会議開催状況



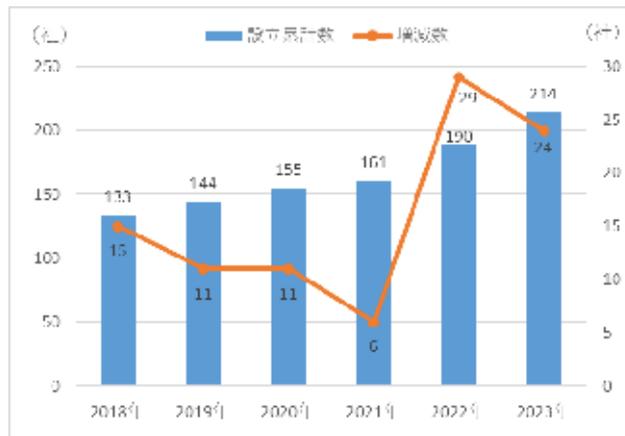
※つくば研究支援センターHP のイベント告知ページに掲載されたイベント件数を集計(最終的な開催の有無は情報提供があったもの以外は未確認)。つくば市外のイベントを含む。

出典：つくば研究支援センターHP 掲載情報を基に作成

図 3-5-11 筑波研究学園都市 研究関連イベント開催数



(3) 創業活動



※各年 5 月 1 日時点

出典:筑波大学「地図とデータで見る筑波大学リーフレット」を基に作成

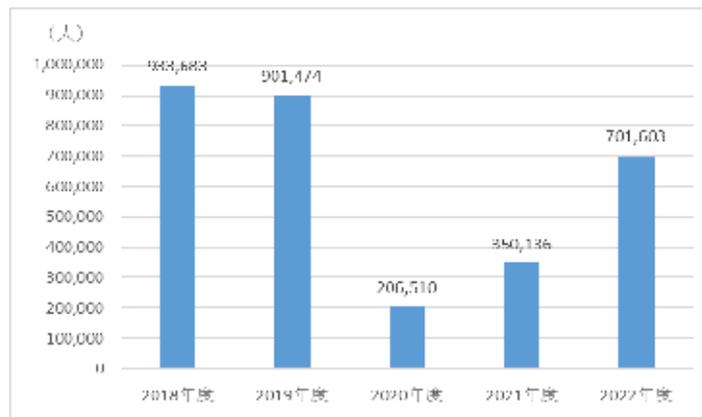
図 3-5-12 筑波大学発ベンチャー企業設立数(累計)



出典:つくば市スタートアップ推進室資料を基に作成

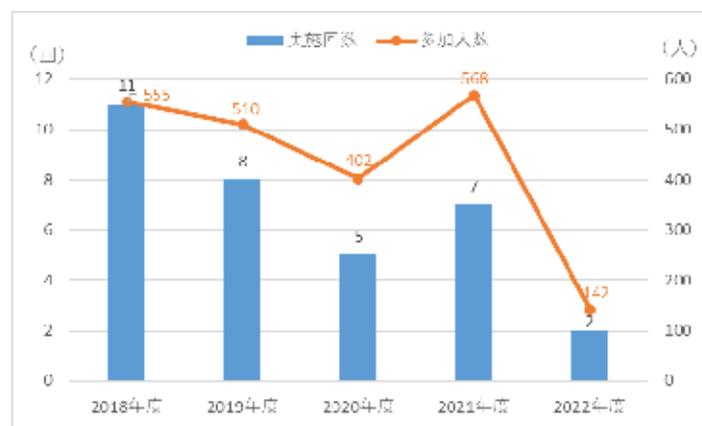
図 3-5-13 つくばスタートアップパーク利用状況

(4) 普及活動



出典：(一財)茨城県科学技術振興財団「事業報告」を基に作成

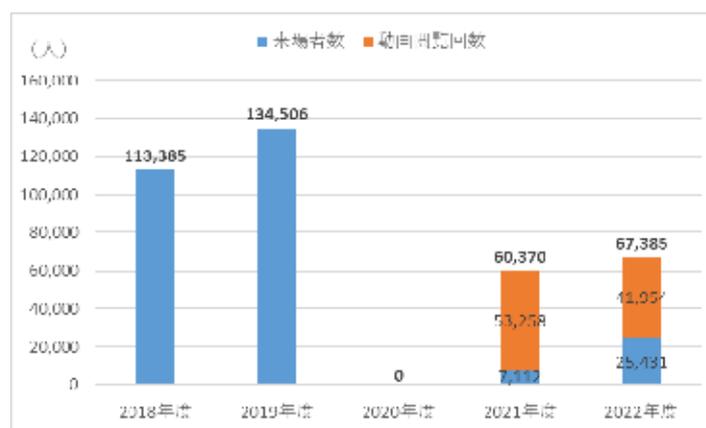
図 3-5-14 つくばサイエンスツアー協力研究機関等見学者数



※サイエンスQ：小中学生を対象とした、研究機関研究員による出前授業。つくば市外の学校への出張を含む。

出典：筑波研究学園都市交流協議会 HP 掲載情報を基に作成

図 3-5-15 サイエンスQの開催数・参加人数



※つくばちびっ子博士：つくば市内の研究機関などをスタンプラリー形式（2021年度からはクイズラリー形式）でまわる科学教育イベント。

※2021年度は7/17～8/31の期間の内、7/30～8/31はまん延防止等重点措置等のため現地見学休止。

出典：つくば市教育局生涯学習推進課資料を基に作成

図 3-5-16 つくばちびっ子博士参加者数



音楽によるつくばセンター地区活性化のための実践調査
(2015-2023)

—「音の宝箱・つくば」活動の歩み—

当財団では、公益目的支出事業の取組みの一つとして、市民協働のまちづくり支援を実施してきました。

本章では「音楽によるつくばセンター地区活性化」として団体の設立から実践的支援を行ってきた市民団体「音の宝箱・つくば企画運営会議」の取組みについて活動のあゆみと今後の方向性についてとりまとめました。

「音の宝箱・つくば」活動の歩み(2015-2023)

1. 「音の宝箱・つくば」について

音の宝箱・つくば企画運営会議（以下、音の宝箱・つくば）は、つくばセンター地区の活性化に寄与するため、市民協働による持続的な音楽祭の開催を目的に、2015年に発足した市民団体です。本章では、音の宝箱・つくばの目標と目的、現在の音の宝箱・つくばの活動内容、そして設立するに至った経緯音の宝箱・つくばの活動の記録を振りながら、成果や課題、今後の活動などについて考察していきます。

(1) 音の宝箱・つくばの活動目標(ビジョン)と目的

<音の宝箱・つくばのコンセプト>

ビジョン：つなぐ — 身近なところで、演奏者と観客が音楽を互いに楽しみ、学びあうとともに、賑わいづくり、コミュニティづくりを行う。—

<音の宝箱・つくばの目的>

音楽で人を“つなぐ”ことを大きなビジョンとし、音楽でつながる様々な方々に様々な形で参加して頂きながら、多くの人に毎年楽しみにして頂けるような、街になくてはならない音楽祭へ成長してゆく事を目的とする。

設立当初に上記のようにビジョンと目的を決め、現在に至っています。

(2) 現在の活動概要(2024年1月現在)

現在行っている活動の内容については以下の通りです。

Bivi コンサート Live BiVit	Bivi つくば 2F イベントスペースで月2回行うミニコンサート 8年を経て現在の音の宝箱つくばの中核事業として位置付けている
ランチタイムコンサート	プラザ・パフォーマンス・ギャラリーで概ね月1回行うコンサート 音楽がある空間でランチタイムを過ごしていただくコンセプト
音の宝箱・つくば春／秋	つくばセンターエリアで年2回行う比較的大きな音楽イベント 当初年1回開催であった個のイベントが音の宝箱つくばの中核事業であった
秘蔵の一枚 聴かせてくれないか?	ノバホールで概ね年3回行うレコード演奏会 楽器が出来ない人でも音楽の提供者となるレコードを使った演奏会
コア会議	月1回行う活動の準備等、進捗や内容の確認、決定を行う会議

(3)活動の経緯

音の宝箱・つくばを設立するに至ったきっかけは、2013年、2014年に開催された「つくば市民音楽祭」にあります。当時活動していた市民団体のつくばまちかど音楽市場がノバホールの平日利用促進と当時フィリピンで猛威を振るった台風の被害救済チャリティー企画として「つくば市民音楽祭 2013」を開催し、その翌年は「つくば市民音楽祭 2014」として規模を拡大しいくつかの団体を巻き込んだ形で、音楽祭だけでなく音楽による街の活性化をテーマとしたフォーラムなど3日間にわたり開催しました。小規模な市民団体の主催イベントだったこともあり、裏側の運営の部分では様々な課題がありましたが、内容的にはとても面白く一定の成果を感じ、音楽をツールとした活性化につながる活動として次年度以降の開催に向けて動き出しました。まずは、運営組織の構築を目指し、そこに集まった方々をコアメンバーとしながら、「音の宝箱・つくば」を模索することが始まりました。現在はさらに色々と形を変えておりますが、「音の宝箱・つくば」活動開始の経緯はこのようなものです。なお、設立のいきさつや当時考えていたことなどについては既刊 TUTC ライブラリー45号に詳しくまとめられておりますので、詳細はそちらをご覧くださいと思います。

2. 音の宝箱・つくば活動の記録

(1)2015年 音の宝箱つくば活動開始

<2015年の活動>

音の宝箱・つくば2015～センター音楽フェスティバル～

<音の宝箱・つくば2015 基本情報>

【タイトル】 音の宝箱つくば2015 ～センター音楽フェスティバル～

【日時】 平成27年10月1日(木) 10:30~21:00、4日(日) 11:00~17:00

【共催】 公益財団法人つくば文化振興財団

【後援】 つくば市、つくば市教育委員会、一般財団法人つくば都市交通センター、つくばセンター地区活性化協議会

【協力】 つくばまちかど音楽市場ネットワーク、東京ビジュアルアーツ、つくば市商工会、筑波学院大学、(株)常陽リビング社、常陽新聞(株)、ラヂオつくば、情報誌「つくまる」、シニアふるさと通信、B-LIFE

【協賛】 筑波都市整備(株)、一般財団法人研究学園都市コミュニティケーブルサービス、オークラフロンティアホテルつくば、つくば市金融団、株式会社URリンケージ、ミサワホーム東関東株式会社

【開催場所および内容】

1日：ノバホール

4日：つくばセンター広場 屋外ライブ

【参加者数】 約800名



ポスター制作：筑波学院大学学生

<2015年の概要>

前年度のつくば市民音楽祭終了後より関係者や有識者を集めた「茶話会」を開催し、その中で今後のつくばセンターでの音楽祭の在り方などを議論した結果、イベント名称を「音の宝箱・つくば」とし、前述の活動ビジョンを共有し、そのメンバーを中心に運営組織である市民活動団体「音の宝箱・つくば企画運営会議」を設立しました。

初年度にあたる2015年の音楽祭のタイトルは「音の宝箱・つくば2015～センター音楽フェスティバル～」とし、開催日時は10月1日（木）および4日（日）の両日で、1日はノバホール、4日はセンター広場での屋外ライブを実施しました。



“ノバホール”はつくばセンタービル内にある音楽ホールで、磯崎新氏がウイーンのミュージクフェラインザールを模して設計された国内でも屈指の音響設備が優れたホールです。この年の音楽祭では、ノバホールの利用率向上とその特徴を多くの方に知って頂こうと考え、ホールでの演奏会だけでなく、バックステージツアーなども開催しノバホールの裏側まで見て頂きました。また、センター広

場では2つのステージを設営し、交互に演奏することでステージチェンジ時間を短縮した試みを行いました。

ノバホールでの演奏会は、演奏も素晴らしく企画も面白かったと感じていますが、利用率向上のため“平日利用”という設定で開催したこともあり、結果的には参加人数は限定的でした。対して、つくばセンター広場での演奏は、音楽が鳴っているとちょっと立ち止まって聞いていくような通りがかりの方々など多くの方にご参加頂く事ができました。

今回2日の異なる催しを行うことで、初年度ながら、外部に音が漏れない室内での催しと、色々な方の耳に音楽が届く屋外での催しの大きな差を感じたイベントとなりました。



(2)2016年 目指す形をやってみたが…

<2016年の活動>

音の宝箱・つくば2016 つくば音楽フェスティバル

<音の宝箱・つくば2016 基本情報>

【タイトル】 音の宝箱つくば2016 つくば音楽フェスティバル

【日時】 平成28年10月8日(土)から16日(日)

【共催】 公益財団法人つくば文化振興財団

【後援】 つくば市、つくば市教育委員会、一般財団法人つくば都市交通センター、
つくばセンター地区活性化協議会

【協賛】 大和リース(株)、筑波都市整備(株)、一般財団法人研究学園都市コミュニティケーブルサービス、つくば市金融団、株式会社URリンケージ、ライトオン(株)

【開催場所および内容】

○10/8(土) つくばセンター広場

「楽器を持ってみんなで演奏しよう!」:演奏 筑波大学吹奏楽団 ※雨により中止

○10/12(水) ノバホール

「作って鳴らそう!親子でコンサート!」

WS つくば子ども劇場+演奏会ママプラス blanco

「公開レッスンを見学しよう!」:読売交響楽団 樋口氏

「ステージの裏側を見てみよう!バックステージツアー」:解説・案内ノバホール館長

「ノバホールで演奏しよう! ノバチャレンジ」

「クラシックって楽しい!! 聴いて笑ってコンサート」:演奏 Ensemble Defi!

○10/16(日) つくば市民ギャラリー前広場

「熱い!中南米の音楽 フォルクローレコンサート」:筑波大学フォルクローレサークル他

○その他期間中に他団体による音楽イベントが開催

【参加者数】 約300名(開催期間中の延べ参加者数)

音の宝箱を覗いてみよう。
楽しく賑やかな1週間
楽しんでください。

つくば音楽フェスティバル 音の宝箱2016

10/8(土)~10/16(日)

場所: ノバホール、センター広場 他

10/8(土) 13:00~14:00 @センター広場
「葉まれ!プラス大好き!~みんなで一緒に演奏しよう!」
演奏) 筑波大学吹奏楽団

10/12(水) @ノバホール
<午後の部> 10:00~11:00 (演奏会) 10:30~
「作って鳴らそう!親子でDEコンサート」0歳から参加可
演奏) ママプラス blanco

<午後の部> 12:00~17:00
「ステージの裏側を見てみよう!バックステージツアー!」
「ノバホールで演奏しよう!ノバチャレンジ!」
「公開レッスンを見学しよう!」

<夜の部> 18:30~20:30 (演奏) 18:00
「クラシックって楽しい!!聴いて笑ってコンサート」
演奏) Ensemble Defi!

10/16(日) 13:00~15:00 @つくば市民ギャラリー前広場
「熱い!中南米の民族音楽 フォルクローレコンサート」
演奏) アシタバ他

【出演者】 筑波大学吹奏楽団、筑波大学フォルクローレサークル、ママプラス blanco、読売交響楽団、Ensemble Defi!

【お問い合わせ先】
メール: info@musicfestival-tsukuba.com
TEL: 029-853-1111
Facebook: <https://www.facebook.com/musicfestival-tsukuba>

つくば音楽フェスティバル 音の宝箱2016

10/8(土) @センター広場
【午後の部】 13:00~14:00
演奏) 筑波大学吹奏楽団

10/12(水) @ノバホール
【午後の部】 10:00~11:00
【夜の部】 18:30~20:30 (18:00開演)

10/16(日) @市民ギャラリー前広場
【午後の部】 13:00~15:00
演奏) アシタバ他

【会場】 筑波大学吹奏楽団、筑波大学フォルクローレサークル、ママプラス blanco、読売交響楽団、Ensemble Defi!

【お問い合わせ先】
メール: info@musicfestival-tsukuba.com
TEL: 029-853-1111
Facebook: <https://www.facebook.com/musicfestival-tsukuba>

<2016年の概要>

昨年度の音楽祭終了後より、「茶話会」と称していた中核会議を「コア会議」と改名し、より積極的な方々の参画も相まって、新たな形で運営を進める事になりました。「コア会議」は月一回実施し、主な議論、決定機関として進めていきました。

2016年は「音の宝箱・つくば2016 つくば音楽フェスティバル」と題して、開催期間を一週間とし、「音の宝箱・つくば企画運営会議」による主催事業と開催期間中につくばセンター広場周辺で音楽イベントを行う他団体の皆様と緩やかな連携を行い、協働で開催することを目指しました。この形は都内で行われている「アークヒルズ音楽週間」と同じような形式です。開催日時は10月8日（土）から16日（日）の8日間で、当会主催の催しは初日である10月8日（土）の筑波大学吹奏楽団による演奏（つくばセンター広場）、10月12日（水）



にノバホールで行ったアンサンブルデフィの皆さんの演奏会を始めとした演奏や、バックステージツアーなどを開催し、最終日の10月16日（日）は広場から少し離れたつくば市民ギャラリーの広場での、フォルクローレコンサートを開催しました。

この年は、初日の屋外での吹奏楽コンサートをできるだけ開催したいという思いから天候の崩れによる中止の判断が遅れたことにより、演奏家の皆さんには大変迷惑をかけてしまいました。屋外でのイベント開催は天候に左右されるため、判断のタイミングについては今後の反省点となりました。また、今回の目玉の一つだった、ノバホールでの夜の部“Ensemble Defi!（アンサンブルデフィ）”の皆さんのクラシックコンサートは、演奏は素晴らしく、とても楽しいものだったのですが、集客が伸び悩んでしまいました。

どのステージも、演奏家の皆さんの演奏は素晴らしいのですが、参加者を増やせない、という部分でPR方法や集客の難しさを感じた年となりました。



(3)2017年 団体としての知名度向上を目指す

<2017年の活動>

BiVi コンサート開始 12回開催
 ランチタイムコンサート開始 7回開催
 音の宝箱つくば 2017

<音の宝箱・つくば 2017 基本情報>

【タイトル】 音の宝箱つくば 2017

【日時】 平成29年10月7日(土) 18:30~

【共催】 公益財団法人つくば文化振興財団

【後援】 つくば市、つくば市教育委員会、一般財団法人つくば都市交通センター、つくばセンター地区活性化協議会

【協賛】 大和リース(株)、筑波都市整備(株)、一般財団法人研究学園都市コミュニティケーブルサービス、つくば市金融団、生活協同組合パルシステム茨城、朝日印刷株式会社、株式会社ライトオン、株式会社URリンケージ、株式会社筑波学園ホテル、YAMAHA、株式会社幸和義肢研究所、べあんど

【開催場所および内容】

茨城県立大洗高等学校マーチングバンド部 ブルーホークスによる、マーチング演奏
 (休憩含み、約2時間の演奏)

参加者数 約800名

音の宝箱・つくば 2017
 出演 茨城県立大洗高等学校マーチングバンド部
BLUE-HAWKS (ブルーホークス)

日本屈指のマーチング演技がカピオで実現!
 全国大会金賞18回の実力をご覧ください!!

2017年10月7日(土) 開場:18時00分
 つくばカピオアリーナ 開演:18時30分

入場無料

☆来観学のお子様でもご入場いただけます。
 ☆入場には事前申し込みが必要です。
 ☆申込み方法は裏面をご覧ください。

音楽で人をつなぐ音楽祭!
 地域、ジャンル、年齢、性別を超えて音楽で人をつなぐ。
 つくばから音楽を通して未来の音楽文化を創造する音楽祭!
 市民ボランティアが主体となり、文化融合、地域貢献と協力して開催いたします。

会場のご案内
 〒305-0001 茨城県つくば市大洗1-1-1
 会場: (1)つくばカピオアリーナ
 主催: つくば市、つくば市教育委員会
 協賛: つくばセンター、筑波学園ホテル、パルシステム
 (一財)つくば都市交通センター

出演団体プロフィール
 茨城県立大洗高等学校マーチングバンド部 "BLUE-HAWKS"
 昭和50年、学校創立2年目に有楽町の大洗高校新任と同時に吹奏楽部として活動を開始。昭和58年、同校10周年記念事業としてマーチングバンドを編成。平成2年にマーチングバンド部と改称して現在に至る。
 【本マーチングバンド部主催の全国大会へ30回出場(金賞18回)。平成28年度は、7月来に応用で開催された第44回全国高校生吹奏楽大会において、演奏者特別賞(5年連続)を受賞した。この他にも、日帰りとなるオーストラリア遠征参加のする年間制吹奏楽の音楽祭に参加し、賞賛されたマーチングショーなど他には各地で多くのBLU-HAWKSファンを輩出している。平成28年度は、茨城県で開催される茨城県高校音楽祭への出場(ブルーホーク賞)も最優秀賞(全行中)が決定している。
 チーム名「BLU-HAWKS」はスクールカラーの「青」と深い響きをイメージした「鷹」から命名された。現在部員は約80名。「まるとこと」「真摯なこと」「夢を持って掲げること」を部訓として、増幅に愛されるマーチングバンドを目指して日々4時限、休日8時限の練習を続けている。

♪申し込み方法♪ **8月1日 受付開始!**
 ①インターネットでの申し込み
 「音の宝箱」のホームページからお申し込みください。
 URL: <http://www.tokuba.or.jp/tahe>
 URL: <http://www.tokuba.or.jp/tahe>
 ②紙質での申し込み
 住所は必ず、住所が正確に記述されていること。住所が正確でない場合は、住所が正確であることを証明する書類を添付の上、申し込みください。
 (住所が正確でない場合は取り消しとなります。)

【申し込み先】
 〒305-0001 つくば市西番1-1-5-1
 (一財)つくば都市交通センター 音の宝箱・つくば受付係

♪協賛企業一覧♪
 Bivi TSUKUBA つくば市金融団 朝日印刷株式会社
 パルシステム ACCS pal-system
 Right-on 幸和義肢研究所 べあんど

♪スタッフ募集中♪
 音の宝箱・つくばでは、私たちと一緒にイベントを盛り上げてくださる方を募集しています!
 ご興味がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

♪お問い合わせ♪
 音の宝箱・つくば企画運営事務局 (TEL:029-860) TEL: 029-860-4335 E-mail: mv.ais@tokuba.or.jp

<2017年の概要>

2015年、2016年と続けてきた音の宝箱つくばですが、コアとなるイベントへの集客力の弱さを大きな課題と考えていました。その弱さの理由は我々の知名度が低い事と、室内での催しを平日にしたこと、この2点が大きな理由ではないかと考えました。そこで2017年度は、イベントの内容を一つに集中して、より多くの方々に参加頂く事を目指して内容を企画、日程を平日ではなく土曜日とし、更に日本屈指の実力を持つ茨城県が誇る大洗高等学校ブルーホークスをお招きしたマーチング演奏会を開催しました。会場はマーチングの動きがよく見えるつくばカピオのアリーナとしました。



ブルーホークスは茨城県央、県北では演奏機会が多くありましたが、県南ではあまり演奏機会がないことから、今回の催しは多くの方々が参加することを想定し、運営方法の議論を重ねました。申し込み方法はWeb形式を中心に設定しつつ、ITにあまり詳しくない方も申し込めるようにはがき形式でも受け付けるなど工夫しました。実際、申込開始から1日かからず満席となるなど、これまで体験したことがないよう

な状況となり、参加者層も比較的若いファミリーの方々からご高齢の方々まで、幅広い年代の方にお申込を頂きました。当日運営では、会場確保の都合もあり、開場から開演までの時間がとても短かったため、当日の受付や入場対応も短時間ですみやかに済ませました。

集客に関しては、席数1000席のうち、一般客席として800席を準備しましたが、申し込み開始1日で全ての席が埋まる事態となり、大洗高校ブルーホークスの知名度の高さを実感しました。

また、今回の音楽祭では、間近でハイレベルな演奏に触れられる機会として、つくば市内の小・中学校の吹奏楽部および、茨城県南地区の中高吹奏楽部へも声をかけ、10校約200名の生徒、教員、保護者の皆様にご観覧頂きました。皆、ブルーホークスの素晴らしい演奏に感動しとても喜んでくれた事が、後のアンケートからも読み取れました。



運営側も筑波学院大の学生や市民ボランティアなど約30名の方々にサポートいただき、大きなトラブルもなく問題なく実施することができました。

(4)2018年 中長期を視野に入れた活動を模索

<2018年の活動>

BiVi コンサート 12回開催
 ランチタイムコンサート開始 12回開催
 音の宝箱つくば 2018

<音の宝箱・つくば 2018 基本情報>

【タイトル】 音の宝箱つくば 2018

【日時】 平成30年11月17日(土) 16:00~

【共催】 公益財団法人つくば文化振興財団

【後援】 つくば市、つくば市教育委員会、一般財団法人つくば都市交通センター、つくばセンター地区活性化協議会、一般財団法人研究学園都市コミュニティケーブルサービス

【協賛】 大和リース(株)、生活協同組合パルシステム茨城 栃木、筑波都市整備(株)、つくば市金融団、株式会社ライトオン、株式会社筑波学園ホテル、YAMAHA、株式会社幸和義肢研究所

【開催場所および内容】

会場：筑波学院大学 大教室

出演：水岡のぶゆきグループ、市内中学校の皆さん

(休憩含み、約2時間の演奏)

【参加者数】 182名

音の宝箱・つくば 2018
 スペシャルジャズライブ
 出演：水岡のぶゆきグループ
 水岡のぶゆき (PIANO)
 藤原 隆 (DRUMS)
 水岡 修 (BASS)
 石原 進一 (SAX)
 SHUNSUKE (VOCAL)
 CARMEL (VOCAL)

11/17(土) 開演 15:30
 開演 16:00
筑波学院大学 大講座室
入場無料 全席自由
 ※事前申し込みが必要です。詳しくは裏面に

会場のご案内
 つくば市内の中学生とのセッションあり！

主催：音の宝箱・つくば実行委員会
 共催：(財)つくば文化振興財団
 後援：つくば市・つくば市教育委員会、つくばセンター地区活性化協議会、(一財)つくば都市交通センター、協賛：筑波学院大学・株式会社学園ホテル

音の宝箱・つくばとは
 地域、ジャンル、年齢、性別を超えて音楽で人をつなぐ音楽祭です。市民ボランティアが主体となり、文化財団や地域企業と協力して開催しています。

出演者プロフィール
水岡のぶゆき
 東京都出身
 ジャズをほぼ独学で習得し、ファミリーバンドとして活躍する。
 ジャズ、ポップス、ロック、ソウル、ラテン、ブルース等幅広い音楽分野にてセッション活動を続ける。

申し込み方法(事前申し込み)
 ●Webでのお申し込み
 『音の宝箱』のフェイスブックからお申し込みください。
 (https://www.facebook.com/musicbox.tsukuba/)

申し込み先
 〒305-0811 つくば市常盤1-1-1
 (一財)つくば都市交通センター
 音の宝箱・つくば実行係

受付開始
 2018年10月1日(月)~
 ●受付～16:00まで
 ●受付はがき～11月1日(日)まで(最終の印刷締め)

スタッフ募集中
 音の宝箱・つくばでは、私たちと一緒にイベントを盛り上げてくださる方を募集しています。興味がある方は、下記お問い合わせまでご連絡ください。

協賛企業一覧

お問い合わせ
 音の宝箱・つくば実行委員会
 (TEL) 029-955-4331
 E-mail: musicbox@pal-system.co.jp

ポスター制作：筑波学院大学 学生

<2018年の概要>

音の宝箱つくばの知名度を上げたい、という目的でブルーホークスを招いた2017年でしたが、実際多くの方々にご参加いただき確かな手ごたえを感じていました。「ブルーホークスをつくばに呼べるのは音の宝箱」という認識を得て、知名度アップをさらに図りたいと考え、定期的に招く方法について検討を開始しました。ブルーホークスは、部活動でありながら年間100ステージをこなすもう一年半先までの予定が決まっているマーチングバンドです。市民団体が会場確保できる半年前からのタイミングではスケジュールを調整することは難しい状況でした。そこで私たちは、今後4年間の活動の中期計画（次ページに示します）を立案し、開催会場であるつくばカピオを管理しているつくば文化振興財団と交渉を行い、本件に関するつくば市からのカピオ等施設の優先予約も承認頂く事ができました。このおかげで次のステップへ向け一歩ずつ進めていけることになり、2019年以降はブルーホークスを3年にわたり招致することが決まり、その後はブルーホークスの演奏会をコアとした音楽イベントの拡大を目指していくという方針にしました。

中期計画の初年度はブルーホークス招致の準備期間として、スペシャルジャズライブと銘打ち、水岡のぶゆきグループによるジャズライブを企画しました。このジャズライブは音の宝箱のビジョンとして掲げる、「身近なところで、演奏者と観客が音楽を互いに楽しめる」音楽祭としていつか実現したい企画でもありました。

会場は筑波学院大学の大教室とし、今回の目玉として、プロのジャズミュージシャンと市内の中学校吹奏楽部との共演を考え、市内中学校に打診をし、3名の中学生が演奏することになりました。

前半の演奏はジャズスタンダードナンバーから、歌謡曲や洋楽のジャズアレンジなどとても気持ち良く乗りのよい演奏でした。

後半は練習を重ねた市内中学生とのジャズセッションを2曲披露し、プロのミュージシャンと同じステージで演奏するという機会を作ることができました。ラストは観客総立ちでの演奏で、大いに盛り上がり会場全体で音楽を楽しめた音の宝箱・つくばらしい演奏会となりました。



< 音の宝箱・つくば中期事業計画（2018年作成） >

	項目/年度	2018年度	2019年度
音楽祭の開催 (毎年秋に開催)	コンセプト	音楽ジャンルの拡充 大学・学生の巻き込み	大洗高校BHの定期・定着化 小中高生が音楽に親しむ接点作り ※音楽教育の要素を入れる
	内容	屋内での JAZZ ライブ	大洗高校BH演奏
	演者	Main: 水岡のぶゆきグループ ※市内中学生とのコラボ企画を実施	大洗高校マーチングバンド部
	開催場所	筑波学院大学 大講座室 (cap 500名)	カピオアリーナ (cap 1000名)
	日時、時期	2018年11月17日(土)	2019年秋 ※
	予算規模	50万円	50万円
	目標	400名	800名
	主催/共催	音の宝箱・つくば企画運営会議 / 文化振興財団	音の宝箱・つくば企画運営会議、 文化振興財団、つくば市
	後援(予定)	つくば市、つくば市教育委員会、つくば都市交通センター、活性化協議会、他	つくば市教育委員会、つくば都市交通センター、活性化協議会、他
	協賛	15団体(250,000円)	20団体(300,000円)
	協力	筑波学院大学、常リビ等メディア関係、 楽器・音楽教室関連など	筑波学院大学、常リビ等メディア関係、 楽器・音楽教室関連など
講演内容について	水岡のぶゆきグループの演奏中に市内中学校吹奏楽部の学生数名とのコラボレーション演奏を行う。	大洗高校と市内小中学校とが関わる企画を検討(AM中の練習を見学、パートごとに演奏に加わるなど)。 → 大洗高校としても県南地域への高校のPRとなるメリットがある ※一般向け演奏会は同日に別途開催	
他	HP等情報発信方法検討 企画段階から学生を巻き込みたい (チラシ、ポスターなど)	学生の巻き込み継続	
つなぐ取組み	BiViコン	毎月第2日曜日開催	毎月第2日曜日開催
	プラザ・パフォーマンス ギャラリー	ランチコンサートの開催を検討 (年数回を予定)	2018年度の状況を見て内容を検討
	新たな開催場所		新たな開催場所の模索 他団体とのコラボ模索

2020 年度	2021 年度	備考
大洗高校BHの定期・定着化 小中高生が音楽に親しむ接点作り	大洗高校BHの定期・定着化 小中高生が音楽に親しむ接点づくり センター地区の施設リソースをつないだ音楽 イベントづくり	2019、2020、2021 年の 3 年間を一 つの期間を考え、一貫した内容の 提供と規模の拡大を検討してゆく
大洗高校BH演奏+α	大洗高校BH演奏+α	
大洗高校マーチングバンド部+α	大洗高校マーチングバンド部+α	
カピオアリーナ(cap 1000 名) カピオホール	カピオアリーナ(cap 1000 名) ノバホール(cap 1000 名)	
2020 年秋 ※	2021 年秋 ※	2019-2021 は○月第▲土曜日のよ うに開催時期を固定→定着化へ
70 万円	100 万円	つくば文化振興財団様からの助成 配分を低減する方向で準備
800 名	1500 名	
音の宝箱・つくば企画運営会議、 文化振興財団、つくば市	音の宝箱・つくば企画運営会議、 文化振興財団、つくば市	
つくば市教育委員会、つくば都市交通センタ ー、活性化協議会、他	つくば市教育委員会、つくば都市交通センタ ー、活性化協議会、他	
25 団体(400,000 円)	30 団体(500,000 円)	
筑波学院大学、常リビ等メディア関係、 楽器・音楽教室関連など	筑波学院大学、常リビ等メディア関係、 楽器・音楽教室関連など	
大洗高校については前年度内容を継続しつ つ、より内容を深めて開催する。 大洗高校の演奏会をメインイベントとしつ つ、カピオホールやセンター地区の別の場 所でも演奏会などのイベントを企画する (例えば、カピオホールでのジャズ演奏会や センター広場での屋外演奏会など)	前年度同様、カピオでの大洗高校の演奏会 を中核とする。また、カピオ以外でのステー ジ開催も行う。ノバホールや周辺施設におい て、様々なジャンルの演奏会や、『音楽を楽 しむ』ことを念頭に置いたイベント(音楽を聴 くためのセミナーや音のサイエンスを知るセ ミナー、楽器の構造や仕組みを知る講座な ど)も企画する。	各年の開催にお地域の活性化も意 識する。 この 4 カ年で、「つくばセンター地 区」で拡がる音楽祭とするための基 盤をつくる。
毎月第 2 日曜日開催	毎月第 2 日曜日開催	※BiViつくばテナント会より 15,000 円/月の予算協力有り

(5)2019年 3カ年計画をスタートするも…

<2019年の活動>

BiVi コンサート 11回開催 (台風により1回中止)
 ランチタイムコンサート 10回開催
 音の宝箱つくば2019

<音の宝箱・つくば2019 基本情報>

【タイトル】 音の宝箱つくば2019
 【日時】 平成30年11月24日(日)
 【共催】 公益財団法人つくば文化振興財団
 【後援】 つくば市、つくば市教育委員会、一般財団法人つくば都市交通センター、つくばセンター地区活性化協議会、一般財団法人研究学園都市コミュニティケーブルサービス
 【協賛】 大和リース(株)、つくば市金融団、筑波都市整備(株)、株式会社筑波学園ホテル、YAMAHA、株式会社幸和義肢研究所、(株)つくばデザイン不動産、えふと、ぺあるど、(株)SocialVitamin
 【開催場所および内容】
 会場：つくばカピオ アリーナ
 出演：茨城県立大洗高等学校マーチングバンド部 BLUE HAWKS
 (午前 1時間、午後 休憩含み、約1時間半の演奏)
 【参加者数】 午前：約230名 午後：約740名



ポスター制作：筑波学院大学 学生



<2019年の概要>

前年度に4年間の中期計画を立案し、いよいよブルーホークス3年間連続招致の初年度を迎えました。つくば文化振興財団とのコミュニケーションを密にとり、会場であるつくばカピオの優先予約も済ませていましたので、開催日についても前年度に決定していました。1000人規模のイベントも2回目となり、かなり経験値も向上している実感がありました。昨年に引き続き筑波学院大学の学生にも協力頂き、準備や運営を行いました。これまでの経験から、申し込み方法はWeb形式とはがき形式を採用し、当日の受付や入場対応も短時間ですみやかに行えるようさらに工夫していきました。

本年の演奏会は午前と午後の2ステージとし、午前の公演は近隣学校向け、午後の公演は一般向けの演奏として企画をしました。近隣学校へ広く参加案内を実施し、多くの中学生に鑑賞してもらうことを期待していましたが、結果としては5校100名程度の参加となりました。反対に午後の一般向けが申込み多数となり、一般のお申し込みの方々の一部を午前の部に誘導するなど、申し込み手続きがやや煩雑となりましたが、2回公演とすることでより多くの方に



ご観覧頂くことができました。ブルーホークスを招いての演奏は2回目でしたが、今回も迫力あるハイレベルな演奏と、以前より数段レベルアップした歌声に、参加者の皆さんも感動しとても喜んでいた事が後のアンケートからも読み取ることができました。

運営ではこの年も筑波学院大の学生を中心に多くの市民ボランティアに参加頂き、スムーズに運営をする事ができ、申し込み方法や当日の運営などは確実に経験が積めてきていることが実感できました。



(6)2020年 コロナ禍による制限

<2020年の活動>

BiVi コンサート／BiVi コンサート・LiveBiVit 計7回開催

ランチタイムコンサート 3回開催

音の宝箱つくば2020

<音の宝箱・つくば2020 基本情報>

【タイトル】 音の宝箱つくば2020

【日時】 令和2年11月1日(日)

【共催】 つくばセンター地区活性化協議会

【後援】 つくば市、一般財団法人つくば都市交通センター、一般財団法人研究学園都市コミュニティケーブルサービス

【協賛】 大和リース㈱

【開催場所および内容】

会場：つくばセンター広場

出演：ぺあるど、真響、桜川ヴィレージリハーサルバンド、倉田沙紀、シエスタフラメンコ(5組の演奏、11:00~16:00まで)

【参加者数】 約200名



ポスター制作：外部デザイナーへ依頼

<2020年の概要>

2016年、2017年の実施経験をもとに、2018年から2021年までの4年間について中期計画を立案し、2019年より3年間大洗高校ブルーホークスの演奏会を誘致し集客ができるイベントを継続、さらに最終年度ではブルーホークスの演奏会をコアとした音楽イベントの拡大を目指していく予定で計画を進めてきました。しかし、2019年後半に発生した新型コロナウイルスの影響で、予定していたブルーホークスの演奏会は中止を余儀なくされ、BiViコンサートも「当面中止」となるなど、2020年の前半は、音の宝箱つくばの活動がほとんどできない状況となっていました。

そのような中、つくば市によりつくばセンター地区でのコロナ禍での活性化の取り組みとして、“ソトカフェ”という屋外にベンチを置きキッチンカーを配置したオープン空間での居場所づくりを開始したという情報を得て、ソトカフェの環境での屋外音楽イベントを開催できないかを検討、協議し、11月1日につくばセンター広場での屋外ライブを開催することができました。準備期間が僅か1か月という短時間での開催となりましたが、5組の演奏家たちによるライブで、天気にも恵まれ、200名ほどの方々に屋外という空間で安心して音楽を楽しんで頂く事ができました。



(7)2021年 ”やれる範囲で”地道な活動を

<2021年の活動>

BiVi コンサート／BiVi コンサート・LiveBiVit 計 18 回開催
 ランチタイムコンサート 7回開催
 音の宝箱つくば 2021 春
 音の宝箱つくば 2021 秋 音大生たちによるトーク&演奏会

<音の宝箱・つくば 2021 基本情報>

【タイトル】 音の宝箱つくば 2021 春	【タイトル】 音の宝箱つくば 2021 秋
<p>【日時】 令和3年5月23日(日)</p> <p>【共催】 つくばセンター地区活性化協議会</p> <p>【後援】 つくば市、一般財団法人つくば都市交通センター、一般財団法人研究学園都市コミュニティケーブルサービス</p> <p>【協賛】 大和リース(株)、ホテル日航つくば、つくば市金融団</p> <p>(公財) つくば文化振興財団活動支援事業</p> <p>【開催場所および内容】 会場：つくばセンター広場 出演：ぺあるど、ざ・にこーず、真響、トカケーニョス、桜川ヴィレヅリハーサルバンド(5組の演奏、11:00~16:00)</p> <p>【広報】 SNSにて広報を実施</p> <p>【参加者数】 約 250 名</p>	<p>【日時】 令和3年11月7日(日)</p> <p>【後援】 つくば市、つくば市教育委員会、一般財団法人つくば都市交通センター、一般財団法人研究学園都市コミュニティケーブルサービス、つくばセンター地区活性化協議会</p> <p>【協賛】 大和リース(株)、ホテル日航つくば、つくば市金融団</p> <p>【参加費】 一人 500 円</p> <p>(公財) つくば文化振興財団活動支援事業</p> <p>【開催場所および内容】 会場：ノバホール小ホール 出演：神立響子 (Pf)、田中真優佳 (Pf)、渡邊和哉 (Vn)、加藤美々稀 (Fl)</p> <p>【広報】 チラシ：1000 部印刷(交流センター、幼稚園・保育園、音楽イベントなどで配布) SNSにて広報を実施</p> <p>【参加者数】 47 名</p>



<2021年の概要>

2021年度に入っても、コロナ禍の影響は大きく、これまで秋に行っていたような大規模なイベントの開催は難しい状況でした。そこで、活動を見直し、毎月行う小さなイベントを活動の中核として考え、より地域に根差し、日常の中に音楽を提供できるような活動へとシフトしました。

音の宝箱・つくば 2021 春では、前年 11 月同様、当日は 5 組のアーティストが 1 組約 30 分の演奏で予定し 11 時からスタートしました。1 組目のエレクトーンの演奏時には、まだ参加者の数も少ない状況でしたが、2 組目、3 組目と進むにつれ、観客の数は増え、通りがかりで立ち止まって聞く参加者なども含めると 250 名ほどの方々が音楽を楽しんでいました。開催当日は早い梅雨入りが心配されたものの天気恵まれ、多くの参加者は、階段上や会場 2F わきの手すりなどの木陰で涼みながら鑑賞されていました。観覧されている方々は、音の宝箱の活動を知らない方がほとんどのように見えましたが、序盤から最後の演奏まで聞いて行かれる方も多くみられ、コロナ禍の中でのささやかな賑わいづくりに貢献できたと感じることができた春のイベントとなりました。



音の宝箱・つくば 2021 秋は、「音大生たちによるトーク&ライブ」と称し、本気で音楽家を目指す現役音大生たちを応援しつつ、彼らがどのように音楽を学び続けたのか、習い始めたきっかけは何か、音楽力を伸ばす親のあり方はあるのか、など、「これから音楽を学びたい、学ばせたい」と考えている方々に向けて、音の宝箱つくばのビジョンでもある「音楽で人をつなぐ」をコンセプトに置いた演奏会を企画しました。当日は、有料での企画にもかかわらず 47 名の方にご参加いただき、お子様を連れただご家族も 4 組参加していただきました。コロナ禍の中で感染に注意しながらの開催でしたが、参加者には演奏もトークも楽しんでいただけた様子



子でした。申し込むまで音の宝箱の活動を知らない方も多かったのですが、帰り際に「楽しかった」と、多くの方に声をかけて頂きました。感染対策で席数も半分とし開催したのですが、むしろ、ゆとりのある空間でゆったりと音楽を聴ける空間となり、人数的にも“ちょうどよい”印象があり、手ごたえが感じられるイベントとなりました。

(8)2022年 音楽が必要とされている事を実感

<2022年の活動>

<p>BiVi コンサート／BiVi コンサート・LiveBiVit 計 24 回開催</p> <p>ランチタイムコンサート 8回開催</p> <p>音の宝箱つくば 2022 春</p> <p>音の宝箱つくば 2022 秋スペシャル BiVi コンサート</p>

<音の宝箱・つくば 2022 基本情報>

【タイトル】 音の宝箱つくば 2022 春	【タイトル】 音の宝箱つくば 2022 秋
<p>【日時】 令和4年5月15日(日)</p> <p>【共催】 つくばセンター地区活性化協議会</p> <p>【後援】 つくば市、つくば市教育委員会、一般財団法人つくば都市交通センター、一般財団法人研究学園都市コミュニティケーブルサービス</p> <p>【協賛】 大和リース(株)、ホテル日航つくば、つくば市金融団 (公財) つくば文化振興財団活動支援事業</p> <p>【開催場所および内容】 会場：つくばセンター広場 出演：ぺあるど、真響、ピムキーン、桜川ヴィレッジリハーサルバンド(4組の演奏、11:00~16:00まで)</p> <p>【広報】 SNSにて広報を実施</p> <p>【参加者数】 約 250 名</p>	<p>【日時】 令和4年10月9日(日)</p> <p>【後援】 つくば市、つくば市教育委員会、一般財団法人つくば都市交通センター、一般財団法人研究学園都市コミュニティケーブルサービス、つくばセンター地区活性化協議会</p> <p>【協賛】 大和リース(株)、ホテル日航つくば、つくば市金融団 (公財) つくば文化振興財団活動支援事業</p> <p>【開催場所および内容】 会場：BiVi つくば 2F イベントスペース 出演：真響、NY Square、筑波大学 JAZZ 愛好会、ぺあるど、深川隆成&星野由美子、蒼き情熱プロジェクト、桜川ヴィレッジリハーサルバンド(7組の演奏、13:00~20:00まで)</p> <p>【広報】 チラシ：200部印刷 SNSにて広報を実施</p> <p>【参加者数】 約 250 名</p>



<2022年の概要>

音の宝箱つくば 2022 春は、昨年と同様につくばセンター広場での屋外ライブを開催しました。当初、5組のアーティストによる演奏を予定していましたが、1組がコロナ感染により不参加となりました。11時から1組約30分の演奏でスタートし、演奏が進むにつれ観客の数が増えることを期待しましたが、曇天と気温が低かったこともあり、参加者の数はあまり増えませんでした。それでも、通りがかりで立ち止まって聞く参加者などを数えると、150名ほどの方々に音楽を楽しんで頂くことができたのではと感じています。



音の宝箱つくば 2022 秋では、定期的に行っている BiVi つくばでのイベントの拡大版として実施し、午後から夜にかけて Jazz をテーマに7組の演奏家による演奏会を企画しました。



13時からイベントを開始し、19時30分過ぎまで演奏を行いました。途中17時ころから雨が降り始め、客足がかなり減りましたが、3組目の筑波大学 Jazz 研究会の演奏では80名近くの方にご参加頂き、途中、雨などにより参加者が減ったものの最後まで実施でき延べ250名ほどの方々に音楽を楽しんで頂くことができました。

また今回は会場である BiVi つくばに店舗を構える SAZA コーヒーさんにも協力頂き、会場でコーヒーの出張販売を頂きました。かねてから周辺の店舗や団体を巻き込みたいと考えてため、今回初めてコーヒーの出張販売という形で実現できたことは嬉しいことでした。

(9)2023年 継続は力というリアルな感触

<2023年の活動>

BiVi コンサート／BiVi コンサート・LiveBiVit 計 24 回開催
 ランチタイムコンサート 8 回開催
 音の宝箱つくば 2023 春 BiVi コンサート 100 回記念
 音の宝箱つくば 2023 秋

<音の宝箱・つくば 2023 基本情報>

【タイトル】 音の宝箱つくば 2023 春	【タイトル】 音の宝箱つくば 2023 秋
<p>【日時】 令和5年5月27日(土)</p> <p>【後援】 つくば市、つくば市教育委員会、一般財団法人つくば都市交通センター、一般財団法人研究学園都市コミュニティケーブルサービス、つくばセンター地区活性化協議会</p> <p>【協賛】 大和リース(株)、ホテル日航つくば、つくば市金融団</p> <p>(公財) つくば文化振興財団活動支援事業</p> <p>【開催場所および内容】 会場：BiVi つくば 2F イベントスペース 出演：土浦吹奏楽団クラリネットパート、ペあるど、NY Square、真響-MAYURA、ザ・チェスナッツ、中島孝弘、桜川ヴィレッジリハーサルバンド (7組の演奏、13:00~20:00 まで)</p> <p>【広報】 チラシ：200部 SNSにて広報を実施</p> <p>【参加者数】 約360名</p>	<p>【日時】 令和5年10月8日(日)</p> <p>【後援】 つくば市、つくば市教育委員会、一般財団法人つくば都市交通センター、一般財団法人研究学園都市コミュニティケーブルサービス、つくばセンター地区活性化協議会</p> <p>【協賛】 大和リース(株)、ホテル日航つくば、つくば市金融団</p> <p>(公財) つくば文化振興財団活動支援事業</p> <p>【開催場所および内容】 会場：BiVi つくば 2F イベントスペース 第一部 (13:00-15:00)：スペシャル JAM セッション セッションホスト 土田晴信 第二部 (15:30-19:00)：Special Jazz Live 出演：ペあるど、土田晴信、NY Square、桜川ヴィレッジリハーサルバンド</p> <p>【広報】 チラシ：200部 SNSにて広報を実施</p> <p>【参加者数】 約260名</p>



<2023 年の概要>

コロナ禍以降、BiVi コンサートを中心とした活動となり、春、秋開催の「音の宝箱つくば 2023」も BiVi コンサートの日程に予定合わせ、BiVi つくばを会場として開催しました。

音の宝箱つくば 2023 春は、ちょうど折よく BiVi コンサート 100 回記念の回となり、さまざまなジャンルのアーティストに演奏いただく「スペシャル BiVi コンサート」としました。当日はつくばセンター広場でパン祭りが開催されており、組目の土浦吹奏楽団の演奏 90 名近い方が参加いただくなどとても賑わいのある状態でスタートできました。その後、最後まで各演奏とも 40~50 名の方々に参加いただき、延べ 360 名ほどの方々に音楽を楽しんで頂くことができました。

音の宝箱つくば 2023 秋は、昨年度同様ジャズをテーマとして開催しました。前半はジャムセッション、後半は 4 組のアーティストによるステージと 2 段構成とし、前半のセッションでは、土田晴信氏によるセッションホストのもと、8 名の参加者によるセッション演奏を行いました。サクソやギターの他、ヴォーカルや横笛まで、幅広い楽器による演奏が行われ、参加者の皆さんはじめ、聴衆として参加していた方も思い思いに音楽を楽しんでいました。



後半の演奏では、4 組の演奏を実施。どの演奏も素晴らしいものでしたが、中でも今回のスペシャルゲストである土田晴信氏の Hammond オルガンによる演奏は大迫力でとても聞きごたえのあるもので、世界を股にかけるアーティストの演奏の素晴らしさを感じることができました。最終組の演奏では小雨がパラついてきましたが、なんとか盛況のうちに幕を閉じ、前後半で延べ 260 名ほどの方々に音楽を楽しんで頂くことができました。



(10)活動の記録:BiViコンサートについて

これまでのBiViコンサートの詳細について下記にまとめます。

BiViでのコンサートは2017年より開始しました。

	2017年	参加者	2018年	参加者	2019年	参加者
1月	ぺあるど	35名	ぺあるど	20名	谷田部善行 サックス	40名
2月	ぺあるど	70名	谷田部善行 サックス	50名	ぺあるど	40名
3月	フォルクローレ あしたば	40名	ぺあるど		真響-MAYURA-	40名
4月	ぺあるど	40名	ぺあるど	30名	ぺあるど	40名
5月	ぺあるど	25名	フォルクローレ あしたば	30名	ギター 稗田隼人	50名
6月	ぺあるど	50名	ぺあるど	50名	遊唄	70名
7月	遊唄	20名	アンサンブル・リオ(稗田)	30名	水岡のぶゆき	10名
8月	ぺあるど	60名	遊唄	50名	ぺあるど	60名
9月	土浦市吹奏楽団	90名	ぺあるど	40名	ギター 中島孝弘	60名
10月	ギター 稗田隼人	25名	フルートアンサンブル19	40名	中止(台風)	-
11月	バロック 恒見さん	50名	ぺあるど	50名	フルートアンサンブル19	60名
12月	ぺあるど	50名	バロック 恒見さん	50名	ぺあるど	70名

2020年6月からは月2回の開催となりました。2021年後半よりコロナ禍の影響を受け始め、中止となる事が増えています。

	2020年				2021年			
	BiVi コン		LiVeBiVit		BiVi コン		LiVeBiVit	
1月	バロック 恒見さん	50名	—	-	コロナにより中止	-	コロナにより中止	-
2月	ぺあるど	50名	—	-	コロナにより中止	-	コロナにより中止	-
3月	コロナにより中止	-	—	-	真響-MAYURA-	15名	コロナにより中止	-
4月	コロナにより中止	-	—	-	蒼き情熱PJ(VI)	45名	Jazz y Flamenco	10名
5月	コロナにより中止	-	—	-	ぺあるど	50名	ぺあるど	15名
6月	コロナにより中止	-	コロナにより中止	-	蒼き情熱PJ(フルート)	40名	ぺあるど	15名
7月	コロナにより中止	-	コロナにより中止	-	ぺあるど	30名	ギター 稗田隼人	15名
8月	コロナにより中止	-	コロナにより中止	-	水岡のぶゆき	10名	コロナにより中止	-
9月	コロナにより中止	-	コロナにより中止	-	コロナにより中止	-	コロナにより中止	-
10月	にこーず	20名	Jazz y Flamenco	20名	ぺあるど	40名	ぺあるど	30名
11月	ぺあるど	30名	海東美紀子・山口佐智子	30名	蒼き情熱PJ(7アゴット)	50名	にこーず	19名
12月	コロナにより中止	-	ぺあるど	20名	ぺあるど	35名	ぺあるど	50名

2022 年からはコロナ禍による中止はなくなり、会場の環境に配慮しながら、通常通りの開催となっています。

	2022 年				2023 年			
	BiVi コン		LiVeBiVit		BiVi コン		LiVeBiVit	
1 月	神立響子	60 名	ぺあるど	30 名	mami 音 TEL	30 名	海東美紀子・塚本英之	14 名
2 月	稗田隼人	25 名	真響-MAYURA-	50 名	守谷詩音	70 名	ぺあるど	30 名
3 月	ぺあるど	30 名	谷田部善行		蒼き情熱 PJ (Hr+Pf)	50 名	真響-MAYURA-	30 名
4 月	水岡のぶゆき	40 名	守谷詩音	35 名	真響-MAYURA-	30 名	筑波ジュニアオーケストラ	70 名
5 月	ぺあるど	40 名	海東美紀子・山口佐智子	50 名	谷田部善行	120 名	音の宝箱つく 2023 春	360 名
6 月	中島孝弘	60 名	筑波ジュニアオーケストラ	60 名	今井斐	40 名	井口大夢 (Pf)	25 名
7 月	ぺあるど	20 名	美濃部夏美	50 名	ぺあるど	35 名	蒼き情熱 PJ (Eup+Pf)	50 名
8 月	村田望	30 名	ぺあるど	30 名	水岡のぶゆき	25 名	中止 (まつりつくば)	-
9 月	蒼き情熱 PJ (Pf+Tp)	50 名	井口大夢トリオ	30 名	守谷詩音	25 名	ぺあるど	40 名
10 月	音の宝箱つく 2022 秋	250 名	蒼き情熱 PJ (Fg+Pf)	15 名	音の宝箱つくば 2023 秋	260 名	蒼き情熱 PJ (Fl+Pf)	45 名
11 月	外山安樹子	50 名	塚本澄夫カルテット	70 名	Okayan(Gt)	25 名	えぶと、ぺあるど	30 名
12 月	ぺあるど	10 名	ぺあるど	25 名	SDG	80 名	中島孝弘 (Gt)	35 名

(11)活動の記録:ランチタイムコンサート

ランチタイムコンサートは、平日のお昼に食事をしながら音楽を楽しめる演奏会として 2017 よりプラザ・パフォーマンス・ギャラリーを会場としてスタートしました。半屋外の空間のため、悪天候の場合は中止とし、真夏（8月）と真冬（2月）は避けた形で年間約 10 回開催しています。（2020～2021 年度はコロナ禍による緊急事態宣言等による中止あり）

年度	開催回数	主な出演
2017	12 回	ぺあるど、真響-MAYURA-他
2018	10 回	えぶと、ぺあるど他
2019	7 回	えぶと、ぎ・にこーず他
2020	3 回	えぶと、okayan
2021	7 回	えぶと、ぎ・にこーず他
2022	11 回	真響-MAYURA-、中島孝弘他
2023	8 回	ひらおかゆうすけ、ぺあるど他

(12)活動の記録:まとめ

2015年から2023年までの活動内容を一覧にしてまとめます

	2015年	2016年	2017年	2018年
トピックなど	音の宝箱・つくば発足 開催初年度	“音楽週間”実施 集客力の低さを痛感	集客を期待してブルーホークスを招致 市内中学校吹奏楽部にも声掛け	中期計画立案実施 中期計画1年目
音の宝箱つくば	音の宝箱つくば2015	音の宝箱つくば2016	音の宝箱つくば2017 ブルーホークスによる マーチングバンド演奏 つくばカピオで開催 市内中学校吹奏楽部〇〇校が参加	音の宝箱つくば2018 水岡のぶゆきグループによる スペシャルジャズコンサート、筑波学院大学 大講堂で開催 市内中学校吹奏楽部生徒との コラボステージを実現
BiVi コンサート	—	—	BiVi コンサート開始 月1回開催 年間合計12回開催	月1回 年間合計12回開催
ランチタイム コンサート	—	—	ランチタイム開始 12回開催	10回開催
その他	—	—	—	—
公演回数	1回	3回	25回	23回
参加演奏家延べ組数	16組	7組	25組	23組
延べ参加者の概数	800名	300名	1355名	622名
				

2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
<p>中期計画2年目 BH1年目 後半からコロナ禍突入</p>	<p>コロナ禍 イベント開催困難となり 中期計画継続を中止 屋外開催でイベント実施</p>	<p>コロナ禍 やり方工夫しながらイ ベント実施</p>	<p>コロナ禍鎮静化 徐々に通常開催へ 身近な小規模イベント中 心へシフト</p>	<p>BiVi 通算100回 継続を実感</p>
<p>音の宝箱つくば2019 ブルーホークスによる マーチングバンド演奏 つくばカピオで開催 市内中学校吹奏楽部〇〇 校が参加</p>	<p>音の宝箱つくば2020 ブルーホークス演奏会を 企画するもコロナ禍によ り中止 屋外でソーシャルディス タンスに配慮したイベン トを実施、5組のアーテ ィストによる屋外ステー ジ、つくばセンター広場 モニュメントステージで 開催</p>	<p>音の宝箱つくば2021春 5組のアーティストによ る屋外ステージ、つくば センター広場モニュメン トステージで開催 音の宝箱つくば2021秋 音楽家を目指す音大生に よる演奏会、ノバホール 小ホールでの開催</p>	<p>音の宝箱つくば2022春 5組のアーティストによ る演奏、つくばセンター 広場モニュメントステー ジで開催 音の宝箱つくば2022秋 7組のアーティストによ るJazzLive、BiViイベ ントスペースでの開催</p>	<p>音の宝箱つくば2023春 BiViコンサート100回 記念、7組のアーティ ストによる演奏、BiViイ ベントスペースでの開催 音の宝箱つくば2023秋 一般参加者と募っての JAMセッションと4組 のアーティストによる JazzLive、BiViイベ ントスペースでの開催</p>
<p>月1回 台風により1回中止 年間合計11回開催</p>	<p>6月よりLiveBiVit開始 月2回開催へ コロナ禍により度々中止 となる。 年間合計7回開催</p>	<p>月2回開催 コロナ禍により度々中止 となる。 年間合計17回開催</p>	<p>月2回開催 年間合計24回開催 (うち1回は音の宝箱つ くば2022秋)</p>	<p>月2回開催 年間合計24回開催 (うち2回は音の宝箱つ くば2023春/秋)</p>
<p>7回開催</p>	<p>3回開催</p>	<p>7回開催</p>	<p>11回開催</p>	<p>8回開催</p>
<p>—</p>	<p>—</p>	<p>—</p>	<p>ブランチ守谷：5回開催 レコードの会：4回開催</p>	<p>—</p>
<p>19回</p>	<p>11回</p>	<p>26回</p>	<p>45回</p>	<p>32回</p>
<p>19組</p>	<p>16組</p>	<p>30組</p>	<p>50組</p>	
<p>1510名</p>	<p>420名</p>	<p>769名</p>	<p>1360名</p>	<p>1519名</p>
				

3. 「音の宝箱・つくば」についての考察と今後に向けて

(1) 「音の宝箱・つくば」についての考察

ここでは、音の宝箱・つくばがこれまで行ってきた具体的な活動の成果について改めてまとめつつ、音の宝箱・つくばの“成果”と“課題”、また、「持続的な音楽祭の在り方」とはどのようなものかについて考察してみたいと思います。

○音の宝箱・つくばの成果

「音楽で人をつなぐ」をビジョンとし2015年より開始した「音の宝箱・つくば」の活動成果としては大きくは下記の4点があげられると考えます。

①地域とのつながりができた

地域の協力を得ながら（支援金・協賛金）の自立運営による8年間の活動継続

②音楽活動の定着

公演回数 196回、延べ出演者組数 228組、延べ参加者数 8655名の実績

開始当初の年1回の大規模イベント開催から、地域でのミニコンサートなどの定期的な音楽イベントの定着

③新しい企画への積極的なチャレンジの実施

スポットでのイベントや、音楽週間としてのセンター地区全体での音楽祭、レコードを聴く会など新たなアイデアによる企画を積極的に実施できた

④双方向の取組みの実践

音楽のジャンルを幅広く設定し、色々な形での音楽を提供することで演奏者も、観客も楽しめる双方向の音楽祭を開催できた

プロとして活動している音楽家のみならず、音楽家を目指す学生や若手演奏家の出演機会の創出

一つ一つの活動は小さなものですが、継続的活動してきたことで地域とのつながりや、まちの賑わいづくりの一助にはなれたのではと感じています。しかしながら、長く解決できていない課題もたくさんあるため、今後も現在の活動を継続しながら、さらにステップアップできるように他団体や地域資源との協働を進めていきたいと思っています。

○音の宝箱・つくばの課題

課題については、反省点も含めさまざまありますが、これまでの活動を振り返り下記にまとめます。

①運営の中核メンバーは開催初期から徐々に減少し、組織運営の構築が進んでいない

②開催のための資金は現状調達できているが、今後は不透明で脆弱。また事務局運営の活動資金には充当できていない

③参加者を巻き込んだ「市民参加型」を目指し地域に根差した活動を心掛けているが、周辺店舗などとの協働はまだまだ少ないと言える

謝辞

本冊子の発刊にあたっては、筑波大学の谷口守教授にインタビューにご対応頂くとともに、都市活動実態調査のデータ収集においては、下記の関係機関の皆さまにご協力を頂きました。また、「音の宝箱・つくば」の活動の歩みのとりまとめについて、市民団体「音の宝箱・つくば」の事務局長である奈良間英樹氏にご協力いただきました。

この場を借りて深く感謝申し上げます。

(都市活動実態調査データ協力機関)

- ・つくば市
- ・茨城県立つくば美術館
- ・関東鉄道株式会社
- ・株式会社日本エスコン
- ・大和リース株式会社
- ・ホテル日航つくば
- ・ダイワロイネットホテルつくば
- ・株式会社東京アスレティッククラブ (旧 洞峰わくわく創造グループ)
- ・つくば国際会議場

(敬称略 順不同)

TUTC Library 50

発行日 令和6年3月
発行所 一般財団法人 つくば都市交通センター
〒305-0031
茨城県つくば市吾妻1-5-1
TEL 029-855-7211

TUTC Library

Tsukuba Urban Transportation Center

TUTC Library 50号

発行日 令和6年3月

発行所 一般財団法人 つくば都市交通センター

〒305-0031

茨城県つくば市吾妻1-5-1

Tel. 029-855-7211